

教 育 要 覧

令 和 6 年 度

(2 0 2 4)



新小学校校章デザイン制作者表彰式（令和6年12月12日実施）

大町市教育委員会



市 章

制定：昭和29年12月21日

「大町市」の頭文字「大」の字を図案化したもの。中央の山型は当市が北アルプスの玄関口であり、山岳観光都市であることを披歴し、さらに将来の発展と繁栄を燕が上昇する姿に託しています。

大町市民憲章

- 1 厳しい風雪に耐えてたくましく
心優しく生きる市民です
- 2 麗しい風土と歴史をもち
土の香り高い文化を築く市民です
- 3 豊かな自然と環境を守り育て
教養と創造を重んじる市民です
- 4 つねに自治に励み
役割と責任を持ち合う市民です
- 5 郷土を愛し自己をみがき
未来をつくる幸せを喜び合う市民です

昭和52年7月2日



目 次

I	概 要	1
1	大町市の沿革.....	2
2	位置と地勢.....	3
3	人口と世帯数.....	4
4	教育委員、理事者.....	6
5	関係委員会等.....	7
6	教育委員会の組織.....	9
7	教育委員会の事務分掌.....	10
8	教育予算.....	13
9	教育行政のあゆみ.....	15
II	学 校 教 育	29
1	市内小中学校.....	32
2	学校施設.....	40
3	学校別児童生徒及び学級数.....	41
4	小中学校教職員数.....	43
5	外国語指導助手.....	44
6	通学区.....	44
7	小規模特認校制度.....	45
8	山村留学生受け入れ状況.....	45
9	就学援助.....	46
10	中学校卒業後の状況.....	48
11	奨学金.....	50
12	私学振興.....	52
13	教員住宅.....	52
14	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動.....	53
15	教育支援委員会.....	55
16	特別支援教育.....	55
17	キャリア教育.....	57
18	中間教室.....	58
19	不登校・いじめの状況.....	59
20	いじめ防止対策.....	60
21	児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み.....	63

22	通学の安全確保に関する取り組み	64
23	学校給食	66
Ⅲ	生涯学習推進と社会教育	68
1	生涯学習・社会教育	70
2	青少年	72
3	文化財	74
4	人権教育	88
5	公民館	94
6	図書館	98
7	山岳博物館	104
8	民俗資料館	109
9	文化会館	111
10	女性未来館ピュア	113
11	文化財センター	114
12	重要文化財旧中村家住宅	114
13	社会教育施設一覧表	114
Ⅳ	社会体育	115
1	社会体育	116

I 概 要



1 大町市の沿革

今から約900年前、伊勢の内宮御陵として仁科御厨（みくりや）が設定されたとき、この地方に定着していた仁科氏は、この御厨を預かって神宮への神役を果たしつつ勢力を得、周辺地域の開発にも力を入れて領地を拡大し、皇室御陵仁科庄として支配するようになった。

仁科氏は社の館之内に居を構えていたが、鎌倉時代に入ってから大町に居館を移して広く糸魚川方面にまで勢力を張るに至った。この地方が仁科と呼ばれるようになったのは、このような歴史があつてのことである。仁科氏は早くから京都や伊勢と深いつながりをもっていた関係で、中央の進んだ文化を取り入れて、この地方の開発に力を注ぎ、仁科神明宮本殿及び中門（国宝）に代表される優れた文化財を残している。

しかし今から400年前、戦国時代の終わり近くに至って、武田信玄のためその家系を絶たれた。信玄はその子盛信を遣わして仁科の名跡を継がせたが、天正10年高遠城で敗死してからまもなく松本城を回復した小笠原氏の勢力下に入ることになり、この地方の支配関係に一大変革をきたすこととなった。江戸時代、松本藩では北安曇地域に大町・池田・松川の3組を置いて治めており、大町平（大町村・高根新田村および平地区9か村）と八郷（社地区8か村）とが大町組に、常盤地区5か村が松川組に、現社地区山ノ寺村が池田組に属していた。

仁科氏が領有していた時代から、この地域には、日本海と松本方面を結ぶ糸魚川街道が通じており、海産物をはじめ多くの物資が流通し、信州における経済的交通路の一つとして重視されていた。それらの物資の集散地であつた大町は、宿駅的性格を基に商業都市として栄えた。

明治維新後、大町市域は一時松本県に属したが、明治4年筑摩県が成立するに及んでその管下に入り、同9年筑摩県が長野県の管下に移ることになった。同8年、村々の合併の議が進み、大町村と高根新田町が合併して大町村、社地区の9か村が社村、平地区の9か村が平村、常盤地区5か村が常盤村となった。同22年には町村制が実施され、昭和29年7月1日、町村合併促進法により、1町3か村の合併が成立し大町市が誕生した。

平成に入り旧合併特例法の期限が平成17年3月31日と定められたのに伴い、平成18年1月1日、大町市、八坂村、美麻村の1市2村が合併し、新「大町市」が誕生した。

2 位置と地勢

位置	東経 137° 51' 3"	北緯 36° 30' 10"
面積	565.15 k m ²	
海拔	726 m	

(測点 大町市役所)

大町市は長野県の北西部、松本平の北側に位置している。

当市一帯の地形は、東西両山地とその間に挟まれた帯状の中央低地（安曇平）で構成され、糸魚川静岡地質構造線に沿って何回か繰り返された垂直的断層によって形成された。現在の地形の原型は洪積世（約 100 万年前）に起こった陥没によって形成され、このとき木崎湖・中綱湖・青木湖のいわゆる仁科三湖も形成されたものと考えられている。

通称中山山地と呼ばれる東部山地は、第三期の水成岩（約 3,000 万年前）を基盤として、造られ、鷹狩山・霊松寺山のようになだらかな起伏を持っている。

西部山地（北アルプス一帯）は、古生代の水成岩（約 3 億年前）を基盤とした険しい地形で、槍ヶ岳をはじめとして、鹿島槍ヶ岳・針の木岳など 2,800m 以上の高峰が連なっている。日本には断層地形が非常に多いといわれているが、北アルプスはその中でも最高最大の断層地形が展開しており、市街地からこれらの雄大な地形を望むことができる。

中央低地は旺盛な堆積作用を持った高瀬川の沖積地を主体として、鹿島川・籠川・乳川などによって形成された扇状地と結合して形成された複合扇状地で、古くから活発な土地利用が行われ、市街地を含めた宅地・農地などはこの中央低地に集中している。

中央低地を流れる高瀬川の左岸には段丘や中山山地の崩土崖錐層（社方面）が発達し、これらの台地は西部山地と平野部の接点で起こった活発な堆積作用により東偏して流れる高瀬川によって区画されている。

右岸は、自然堤防となった河岸で保護され、安定した砂れきの沖積地（常盤方面）は農地・宅地などに利用されている。

これらの中央低地に挟んだ東西両山地は地形・地質のうえで対照的であり、地質時代のごく最近までは相当の地質変動があったと考えられ、現在も緩慢な地殻運動が続けられている。

3 人口と世帯数

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
昭和5年	3,884	19,073	9,302	9,771
10	4,163	21,457	11,133	10,324
15	4,567	23,711	11,669	12,042
20	5,492	28,827	13,253	15,574
25	5,749	30,508	14,118	16,390
30	6,229	30,722	14,715	16,007
35	7,508	35,151	17,745	17,406
40	7,700	32,085	15,143	16,942
45	8,122	31,899	15,181	16,718
50	8,983	33,844	16,518	17,326
55	9,605	32,966	15,981	16,985
60	9,565	32,451	15,647	16,804
平成2年	9,710	31,597	15,223	16,374
7	9,941	31,020	15,068	15,952
12	10,403	31,016	15,068	15,948
13	10,452	30,949	14,993	15,956
14	10,422	30,661	14,860	15,801
15	10,425	30,439	14,720	15,719
16	10,596	30,198	14,678	15,520
17	10,970	30,324	14,668	15,656
18	11,812	32,227	15,574	16,653
19	11,871	31,860	15,409	16,451
20	11,909	31,488	15,225	16,263
21	11,927	31,148	15,049	16,099
22	11,966	30,737	14,870	15,867
23	12,007	30,456	14,737	15,719
24	11,820	30,021	14,535	15,486
25	11,790	29,606	14,347	15,259
26	11,825	29,328	14,204	15,124
27	11,828	28,962	14,033	14,929
28	11,844	28,517	13,861	14,656

各年10月1日現在

年次	世帯数	人口	男	女
平成29年	11,871	28,124	13,691	14,433
30	11,910	27,741	13,478	14,263
令和元年	11,893	27,356	13,289	14,067
2年	10,905	25,978	12,608	13,370
3年	10,907	25,576	12,408	13,168
4年	10,805	25,277	12,239	13,038
5年	10,852	24,926	12,058	12,868
6年	10,838	24,500	11,877	12,623

4 教育委員会、理事者

(1) 教育委員会

(令和6年4月1日現在)

役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
教育長	中村 一郎	令5.4.1	大町市大町（大原町）	
同職務代理者	中山 晴隆	平29.5.17 再任 令3.1.1	大町市常盤（清水）	教育長職務代理者就任 平30.2.6
委員	下川 清志	令元.8.13 再任 令5.8.13	大町市社（宮本）	
委員	森 しのぶ	令4.1.1	大町市大町（三日町）	
委員	北澤 明美	令4.9.26	大町市八坂（大平）	

(2) 理事者

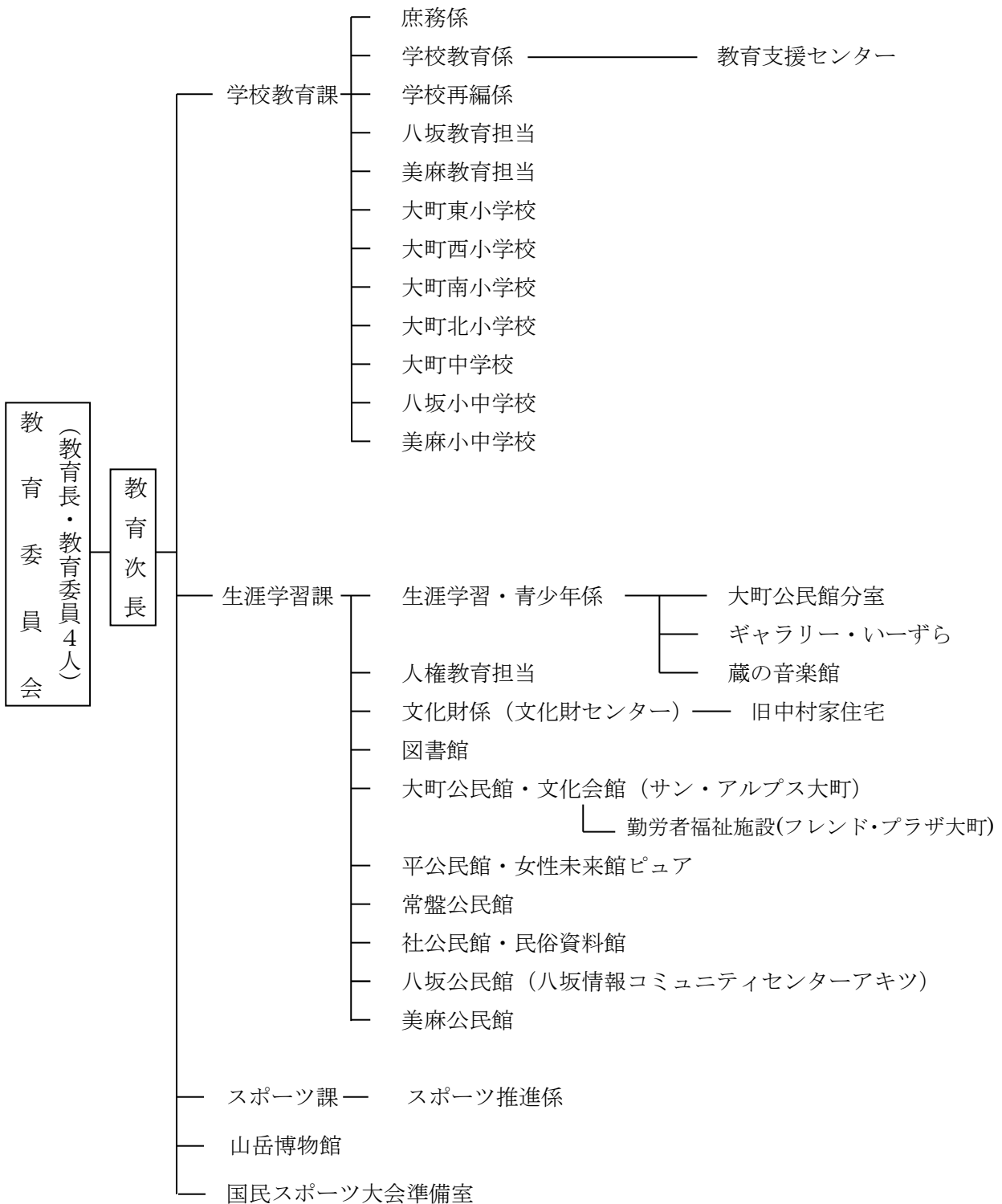
役職名	氏名	就任年月日	住所	備考
市長	牛越 徹	平18.7.14	大町市常盤（泉）	
副市長	矢花 久則	令2.4.1	大町市大町（南原町）	

5 関係委員会等

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
教 育 支 援 委 員 会	大町市教育支援委員会設置条例	22 以内	2
キャリア教育推進協議会	大町市キャリア教育推進協議会設置要綱	20 "	2
情報教育推進委員会	大町市情報教育推進委員会設置要綱	10 "	1
通学路安全推進会議	大町市児童生徒の通学における安全推進 会議設置要綱		1
学 校 運 営 協 議 会	大町市学校運営協議会規則	15 以内	3
いじめ問題対策連絡協議会	大町市いじめ問題対策連絡協議会設置要綱	12 "	2
社 会 教 育 委 員	大町市社会教育委員設置条例	10 "	2
大町公民館運営審議会	大町市公民館条例	10 "	2
平公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
常盤公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
社公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
八坂公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
美麻公民館運営審議会	大町市公民館条例	7 "	2
図 書 館 協 議 会	市立大町図書館設置及び管理に関する条例	7 "	2
山 岳 博 物 館 協 議 会	市立大町山岳博物館条例	15 "	2
文化会館運営委員会	大町市文化会館条例	10 "	2
女 性 未 来 館 ピ ュ ア 運 営 委 員 会	大町市女性未来館ピュア設置及び管理に関する条例	8 "	2
文 化 財 保 護 審 議 会	大町市文化財保護条例	7 "	2
青 少 年 問 題 協 議 会	大町市青少年問題協議会条例	若干名	2
青少年補導委員協議会	大町市青少年補導委員協議会会則		2
子ども会育成連絡協議会	大町市子ども会育成連絡協議会規約		1
青少年育成市民会議	大町市青少年育成市民会議規約		2
人権教育推進協議会	大町市人権教育推進協議会規約	30 以内	2
学校人権教育研究委員会	大町市学校人権教育研究委員会設置要綱	各校1名	1
企業人権教育推進協議会	大町市企業人権教育推進協議会会則		1

名 称	根 拠 条 例 等	委員定数	委員任期
人権・同和教育推進懇談会	大町市人権・同和教育推進懇談会設置要綱	10 以内	2
生涯学習のまちづくり 推 進 本 部	大町市生涯学習のまちづくり推進本部設置要綱		2
文化芸術振興審議会	大町市附属機関に関する条例	18 以内	2
科 学 振 興 会	大町市科学振興会規約		
八坂、美麻山村留学 推 進 協 議 会	大町市八坂・美麻山村留学推進協議会規約		2
ス ポ ー ツ 推 進 審 議 会	大町市スポーツ推進審議会条例	10 "	2
ス ポ ー ツ 推 進 委 員	大町市スポーツ推進委員に関する規則	20 "	2
学校施設開放運営協議会	大町市立学校の施設の開放に関する規則	15 以内	

6 教育委員会の組織



7 教育委員会の事務分掌

課	係	事 務 分 掌
学校教育課	庶務係	1. 公印の管守 2. 教育委員会の会議 3. 教育委員会規則等 4. 公告式 5. 請願及び陳情 6. 寄付採納 7. 栄典 8. 教育財産（整理簿） 9. 教育委員会職員の人事等 10. 公務災害 11. 県費負担教職員の人事内申等 12. 学校医等 13. 教職員の健康診断等 14. 児童生徒の就学援助 15. 特別支援教育就学奨励費 16. 奨学金 17. 文書の受付及び発送 18. 公文書の公開 19. 個人情報の保護 20. 私学助成 21. 教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価 22. 児童生徒の就学 23. 教科書事務 24. 学校業務改善 25. 学校給食費の徴収管理
	学校教育係	1. 学校の組織編制 2. 通学区域（通学路） 3. 学校施設の整備及び維持管理 4. 教育支援委員会 5. キャリア教育 6. コミュニティスクール 7. 情報教育 8. 学校運営協議会（学校運営委員会） 9. いじめ問題 10. 教育課程等 11. 教科書選定及び教材備品 12. 学校災害共済 13. 学校事故報告 14. スクールバス 15. 学校給食 16. 教員住宅 17. 中間教室 18. 教育相談 19. 学校保健、児童生徒の健康診断 20. 外国語教育
	学校再編係	1. 学校再編 2. 小中一貫教育の推進
	八坂教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 八坂地区小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理
	美麻教育担当	1. 各種申請書の受付及び連絡調整 2. 美麻小中学校との連絡調整 3. 通学対策 4. 学校給食 5. 山村留学 6. 体育施設、社会教育施設の利用受付及び維持管理

課	係	事 務 分 掌
生涯学習課	生涯学習 ・青少年係	1. 生涯学習推進（推進プラン） 2. 生涯学習のまちづくり推進本部 3. 社会教育委員 4. 社会教育関係施設・係の連絡調整 5. 社会教育関係団体の指導助言 6. コミュニティ施設整備支援 7. 大町公民館分室 8. 蔵の音楽館 9. 文化・芸術の振興 10. 文化芸術振興審議会 11. ギャラリー・いーずら 12. 二十歳の門出 13. 科学振興 14. 信濃木崎夏期大学 15. エネルギー博物館 16. リーダーバンク 17. 青少年問題協議会 18. 青少年センター 19. 青少年補導委員協議会 20. 青少年育成市民会議 21. 子ども会育成連絡協議会 22. 青少年関係団体
	人権教育担当	1. 人権教育の総合的な計画及び推進 2. 人権教育関係機関、団体との連絡調整 3. 学校及び地域への人権教育 4. 解放子ども会 5. 人権・同和教育推進懇談会 6. 企業内の人権教育 7. 人権教育推進協議会 8. 人権問題についての対応
	文化財係	1. 文化財 2. 文化財保護審議会 3. 埋蔵文化財発掘調査 4. 文化財センター 5. 旧中村家住宅
社会教育施設	公民館	1. 公民館運営審議会 2. 分館の運営活動の援助及び指導 3. 社会教育団体の連絡調整 4. 公民館講座の推進 5. 地区別体育事業 6. 館報の発刊 7. 文化祭 8. 視聴覚教室 9. 生活改善 10. 人権教育 11. 分館長会 12. 生涯教育 13. 活動団体の育成 14. 地域学校協働活動
	図書館	1. 閲覧および貸出し 2. 資料の受入れ整理 3. 図書館協議会 4. 大北図書館協会 5. 関係グループの育成等 6. 調査相談（レファレンス） 7. 園文庫 8. 障がい者サービス 9. 広報 10. 読書推進
	文化会館	1. 自主事業 2. 文化会館運営委員会 3. 文化会館ホールアシスタント 4. 芸術文化団体の育成 5. 施設の貸し出し 6. 文化事業の共催および後援
	勤労者福祉施設	1. 運営、管理
	女性未来館 ピュア	1. 女性未来館ピュア運営委員会 2. 職能講座 3. 家庭生活講座 4. 婦人問題講演会 5. 余暇活動の援助 6. 女性団体・サークルの育成 7. 職業・家庭生活等の相談 8. 託児業務
	民俗資料館	1. 案内窓口 2. 常設展示 3. 資料の受入れ 4. 特別展示

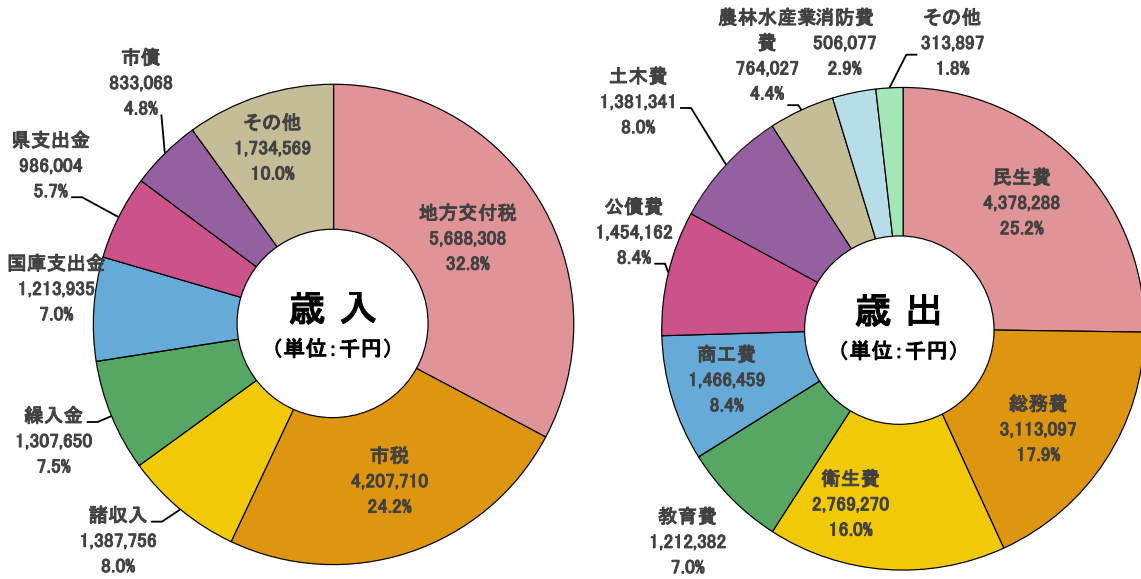
課	係	事 務 分 掌
社会教育施設	八坂情報コミュニティセンターアキツ	1. 運営、管理
スポーツ課	スポーツ推進係	1. 社会体育総合計画 2. 社会体育施設の整備および維持管理 3. 社会体育施設および学校施設の開放 4. 学校施設開放運営協議会 5. スポーツ大会等の計画、運営 6. スポーツ推進委員 7. 市民の保健、体力づくり 8. B&G海洋センター 9. スポーツ大会等の奨励および指導 10. 体育関係団体 11. スポーツ傷害保険
山岳博物館		1. 博物館資料の収集・整理・保管 2. 調査研究 3. 教育普及 4. 案内窓口・展示レファレンス活動 5. 展示業務（常設展示・企画展示・特別展示） 6. 動植物飼育栽培繁殖 7. 山岳図書資料館の管理 8. インターネット・ウェブサイトの運営 9. 「山と博物館」等の情報発信 10. 資料の受贈・受託及び貸出 11. 年報・紀要の発行 12. 山岳博物館協議会 13. 大町博物館連絡会との連携 14. 信州大学山岳科学研究所等との研究協力 15. 友の会等関係団体との提携 16. アートライン連絡会との連携 17. 長野県山岳総合センターとの連携
国体スポーツ準備室		1. 第 82 回国民スポーツ大会及び第 27 回障害者スポーツ大会の開催 2. 第 82 回国民スポーツ大会及び第 27 回障害者スポーツ大会の競技施設整備

8 教育予算

(1) 令和6年度一般会計当初予算

歳入 18,538,000千円

歳出 18,538,000千円



(単位 千円)

歳 入				歳 出			
区 分	予 算 額	構 成 比		区 分	予 算 額	構 成 比	
1 市 税	4,223,913	22.8 %		1 議 会 費	166,511	0.9 %	
2 地 方 譲 与 税	223,272	1.2		2 総 務 費	3,966,201	21.4	
3 利 子 割 交 付 金	1,140	0.0		3 民 生 費	4,612,781	24.9	
4 配 当 割 交 付 金	13,600	0.1		4 衛 生 費	2,484,003	13.4	
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	9,900	0.1		5 労 働 費	120,952	0.7	
6 法 人 事 業 税 交 付 金	59,000	0.3		6 農 林 水 産 業 費	819,468	4.4	
7 地 方 消 費 税 交 付 金	720,000	3.9		7 商 工 費	1,185,799	6.4	
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	1,700	0.0		8 土 木 費	1,353,326	7.3	
9 環 境 性 能 割 交 付 金	12,900	0.1		9 消 防 費	537,876	2.9	
10 地 方 特 例 交 付 金	119,521	0.6		10 教 育 費	1,817,812	9.8	
11 地 方 交 付 税	5,641,583	30.4		11 災 害 復 旧 費	1	0.0	
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,000	0.0		12 公 債 費	1,448,270	7.8	
13 分 担 金 及 び 負 担 金	69,351	0.4		13 予 備 費	25,000	0.1	
14 使 用 料 及 び 手 数 料	246,082	1.3					
15 国 庫 支 出 金	1,691,575	9.1					
16 県 支 出 金	1,053,292	5.7					
17 財 産 収 入	17,304	0.1					
18 寄 付 金	126,001	0.7					
19 繰 入 金	1,427,596	7.7					
20 繰 越 金	200,000	1.1					
21 諸 収 入	1,357,063	7.3					
22 市 債	1,320,207	7.1					
歳 入 合 計	18,538,000	100.0		歳 出 合 計	18,538,000	100.0	

(2) 令和5年度教育費当初予算 (歳出)

(単位 千円)

項	目	本年度予算額
1 教育総務費		155,441
	1 教育委員会費	4,429
	2 事務局費	151,012
2 小学校費		698,275
	1 小学校管理費	109,575
	2 小学校教育振興費	160,956
	3 学校再編環境整備費	427,744
3 中学校費		95,786
	1 中学校管理費	49,784
	2 中学校教育振興費	46,002
4 社会教育費		456,142
	1 社会教育総務費	84,189
	2 青少年育成費	4,448
	3 生涯学習推進費	66,964
	4 図書館費	38,299
	5 文化会館費	254,526
	6 文化財保護費	7,716
5 保健体育費		346,367
	1 体育振興費	65,750
	2 体育施設費	86,943
	3 学校給食費	193,674
6 山岳博物館費		65,801
教育費合計		1,817,812
5 労働費		5,054
1 労働諸費	2 労働施設費	5,054

9 教育行政のあゆみ

- 昭和 29. 5.24 大町、平村、常盤村および社村が合併の調印
7. 1 市制施行
教育委員に西沢録四郎、平林悦夫、遠藤嘉久、平林忠雄、宮田清の各氏就任
8. 8-9 市民登山(白馬岳 34 人)。第 1 回町民登山(鹿島槍ヶ岳 17 人)以来毎年実施
- 11.24 図書館内に PTA 母親文庫北安曇配本所開設
30. 3.25 教育委員に清水敬一郎、平林悦夫、中村勝則、阿部西与、原又雄の各氏就任
- 5.27 「大町市中学校制度確立に関する意見書」を市議会で議決
- 10.15 小中学校の完全給食を実施
31. 6.18 常盤中学校の普通教室・管理棟が新築落成(工事費 1,425 万円)
8. 8 菅沢幸雄、阿部西与、平林悦夫、中村勝則、竹内周也の各氏教育委員に任命
- 8.15 市公民館、文部省から準優良公民館として表彰される
11. 8 第 1 回市文化祭
32. 1.22 大町中学校制度審議会が大町市中学校制度に関して答申
- 3.27 山岳博物館指導の大映映画「白い山脈」(動物記録映画)完成。文部省特選
8. 8 三沢巖氏教育委員に任命
11. 1 山岳博物館第二期建物、東山樋沢の現在地に落成開館(工事費 360 万円)
33. 1.13 大町市中学校制度推進特別委員会は大町地区に 1 校新設することの必要を市議会議へ報告、市議会これを了承
- 8.11 幡野茂道氏教育委員に任命
- 12.11 子ども劇場(民間)を開設
34. 2.23 中学校の4校を統合し、第一中学校(新設)・第二中学校・第三中学校とすることを市議会で議決
- 3.12 上原遺跡を買収、復元に着手
4. 1 市立第一中学校・第二中学校・第三中学校となる。第一中学校は校舎が新築されるまで旧平中学校と第二中学校で学習する
- 6.10 針ノ木岳周辺総合学術調査報告書を山岳博物館で出版、針ノ木自然園の基礎計画ができる
- 7.10 天然記念物の「噴湯丘」が湯俣沢の増水で流失したことを発見
8. 8 一志五郎氏教育委員に任命
- 8.30 国宝仁科神明宮の防災工事完成(工事費 180 万円)
9. 9-13 第 12 回県美術展(大町公民館)
- 10.30 国宝仁科神明宮の式年造営(工事費 120 万円)
35. 3.31 第一中学校普通教室の北校舎西側が完成
総合グラウンドの野球場完成(工事費 2,800 万円)
- 8.22 片倉甫氏教育委員に任命

- 10.15 総合グラウンドのテニスコート・バレーコート完成(工事費 105 万円、皇太子殿下ご成婚記念)
- 36. 3.10 上原遺跡の堅穴保存工事完成(工事費 5 万円)
第一中学校北校舎東側完成
- 3.27 皇太子殿下山岳博物館などご視察
- 3.29 第一中学校普通教室・特別教室・管理棟落成(工事費 6,140 万円)
- 4. 1 第一中学校新校舎に移転し、実質統合中学校となる
山岳博物館が高山植物コマクサの低地栽培に成功
- 6.15 秩父宮妃と高松宮ご夫妻が山岳博物館にご見学
- 12. 1 第一中学校体育館落成(工事費 2,288 万円)、(第一中学校建設工事が完了)
- 37. 4. 5 山岳博物館の北ア動物生態グループがライチョウの生態研究結果を学会に発表
- 4.10 皇居外苑保存会からコブハクチョウ一羽が贈られ、木崎湖畔に「白鳥の池」を造って放鳥
- 6. 8 第 3 回全日本学生ワルデルング(鹿島大谷原)
- 11. 1 山岳博物館の裏山にカモシカ園を造り、カモシカ「岳子」を放し飼い
- 38. 1.25 矢口亨氏教育委員に任命
- 2.12 山岳博物館が北アルプス爺ヶ岳で冬期ライチョウ調査
- 5.14 内川金市氏教育委員に任命
- 6.10 針ノ木自然園総合学術調査(黒部の観光開発と並行して、学術的資料を整備)
- 39. 1. 第三中学校給食室完成
- 5.13 木崎湖「白鳥の池」でコブハクチョウがふ化
- 10.19 西山千明氏、荒井録良氏教育委員に任命
- 40. 3. 1 山岳博物館が秩父宮記念学術賞受賞
- 4. 1 仁科台中学校発足。仁科台中学校大町部校、同常盤部校となる
- 9. 1 山下利彦氏教育委員に任命
- 41. 4.15 山岳博物館にカモシカ放養園が完成
- 8.22 矢口けさ江氏教育委員に任命
- 42. 3.31 仁科台中学校完成(工事費 2 億 7,500 万円)
- 4. 2 中学校 2 校制に伴う新学区による第一中学校の開校式
- 4. 3 仁科台中学校新校舎で開校式
- 7.27 仁科台中学校体育館完成
- 8.10 五十嵐水卯氏教育委員に任命
- 43. 9.24 大町小学校校舎1棟全焼
- 12.22 第一中学校技術棟完成
- 44. 3. 7 百瀬渉氏教育委員に任命
- 11.11 松本明氏教育委員に任命
- 12.10 文化財審議委員会発足
- 45. 1.31 大町小学校校舎 2 棟完成(工事費 4,980 万円)
- 3.22 平小学校の野口分校(明治 5 年開設)、源汲分校(明治 8 年開設)閉校

- 8. 1 三日町来見原地籍「かしわくずれ1号墳」の埋蔵文化財発掘
- 10.12 大町図書館落成開館(工事費 2,484 万円)
- 11. 2 第一中学校開校 10 周年記念式典
- 46. 8. 4 第一中学校プール完成
- 10 大北地域広域市町村圏事務組合発足
- 10.26 大町小学校開校 100 周年記念式典
- 47. 5. 公民館運営審議会に諮り同和教育事業推進のための年次計画を決定
市内小中学校へ同和教育研究委員を委嘱、学校同和教育の取り組みに着手
- 6.26 同和対策審議会発足
- 8.24 小学校制度審議会「小学校制度」について答申
- 11.20 富山県氷見市と姉妹都市の調印
- 48. 3. 常盤小学校松林の間伐を行い、遊歩道を設けて「健康の森」とする
- 3.25 山岳博物館のニホンカモシカ「太郎」と「辰子」を中国へ贈る
- 3.31 宮下正治氏、横沢監物氏教育委員に任命
- 4. 1 同和対策課を設置、大町市小学校同和教育計画を作成
- 7.30 市民プール完成(工事費約 2,000 万円)
- 49. 1. 5 運動公園建設着工
- 4. 1 教育委員会事務局に社会体育係設置
- 6. 2 常盤小学校東校舎焼失
- 8.22 西山正氏教育委員に任命
- 9. 同和教育推進協議会を設立
- 50. 1. 4 教育委員会内に同和教育係を設置、同和教育指導員 2 名を配置
- 4. 1 大北視聴覚ライブラリー開設
- 7. 1 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明施設完成
- 8.10 鈴木忠博氏教育委員に任命
- 10. 1-2 第 24 回長野県公民館大会(大町小学校)
- 12. 1 常盤小学校校舎 5 教室完成
- 51. 2.14 第 1 回部落解放市民大会
- 3.31 第一中学校技術棟 2 階増築完成
- 4. 1 少年育成補導センターを教育委員会事務局内に設置
美麻南・北小学校統合により美麻小学校
- 6. 第 1 回同和教育指導者養成講座(常盤地区)
- 7.16 上條為人氏、横沢茂氏教育委員に任命
- 10.31 仁科台中学校開校 10 周年記念式典
- 52. 3.22 平小学校閉校
- 3.31 清水利和氏教育委員に任命
- 4. 1 県からの派遣社会教育主事(スポーツ担当)として花岡実教諭着任(3 年間)
美麻南・北中学校統合により美麻中学校(小中併設校)
- 4. 4 北小学校開校
- 5.13 山岳博物館のニホンカモシカ「岳子」永眠(飼育 21 年 3 か月)

- 6. 企業同和教育連絡協議会設立
- 7. 2 市民憲章を制定
- 7.21 新市庁舎が完成(総工費 11 億 8,000 万円)
- 7.30-31 国体リハーサル大会の全国選抜少年団サッカー大会
- 11. 解放子ども会設置
- 53. 1.23 常盤小学校で毎週月曜日、弁当持参による米飯給食開始
- 3. 小中学校同和教育計画書を改訂
- 3.10 北小学校校歌・校旗できる
- 4. 同和教育推進教員を配置、市内 6 校を同和教育指定校に指定
- 4. 1 学校体育施設の一般開放始まる
- 部落解放都市宣言
- 大町総合病院に院内学級開設
- 青少年育成会連絡協議会を設置
- 6. 第 1 回市内教職員同和教育研究会
- 7. 9 運動公園陸上競技場(第 3 種公認)完成
- 8. 2 市公民館平支館、旧平小学校へ移転
- 8.15 成人式を夏に変更
- 9.24 遠藤正賢氏教育委員に任命
- 10. 隣組同和教育講座を開設
- 10.15-20 第 33 回国民体育大会やまびこ国体
- 10.16 やまびこ国体サッカー競技大会
- 10.19 常陸宮両殿下サッカー競技ご観覧
- 11. 5 第 1 回全国健康マラソン大会
- 54. 4. 1 同和教育集会所開設
- 6.20 図書館 2 階へ学習室・収蔵庫を増築完成
- 7. 常盤小学校第 1 グラウンドの高低差 90cm をなくす工事を行う
- 7.23 常盤小学校プール完成
- 9.26 西公園グラウンド夜間照明点灯式
- 11. 9 市史編纂(さん)室設置
- 11.16-18 仁科神明宮遷宮祭
- 11.29 B&G 財団大町海洋センターオープン
- 55. 4. 市内学校同和教育研究委員会に高校も参加、幼・保・小・中・高一貫の学校同和教育を推進
- 7.25 平グラウンドの夜間照明点灯
- 10. 1 市公民館常盤支館、旧第三中学校へ移転
- 10.31 第一中学校開校 20 周年記念式典
- 56. 2.13 B&G 大町海洋センター武道館完成
- 3.31 社小学校閉校
- 4. 1 一志開平氏教育委員に任命
- 4. 4 東小学校開校

- 4.22-5.5 パンダ「ランラン」のはく製を山岳博物館で公開(貸し出し第1号)
- 12.20 北小学校給食棟完成
- 57. 2. 1 砂田繁雄氏教育委員に任命
 - 3.13 東小学校校歌発表会
 - 3.16 仮称大町西小学校プレイルーム・特別教室完成
 - 4. 1 常盤小学校プレハブ校舎特別教室分新設
 - 4.28 (財)大町エネルギー博物館開館(工事費 3 億 2,000 万円)
 - 6. 5 山岳博物館第三期建物落成開館(工事費 4 億 9,300 万円)
 - 7. 9 B&G 大町海洋センター多目的広場完成(旧社小跡地)
 - 7.13 児童生徒健全育成推進モデル地区に指定
 - 8.18 仮称大町西小学校高学年棟完成
- 58. 3. 小中学校同和教育指導書を作成
 - 4. 企業同和教育推進連絡協議会を企業同和教育推進協議会に改称
 - 4. 1 市役所出張所(平・常盤・社)を廃止、平・常盤・社に独立公民館を設置
 - 5.17 春の花壇コンクールで、第一中学校、文部大臣賞受賞
 - 6.25 仮称大町西小学校管理棟完成
 - 8.12 北小学校 2 教室増築工事完成
 - 8.17 仮称大町西小学校給食棟完成
- 11. 6 第1回常盤少年駅伝大会
- 59. 3.18 仁科台中学校、花壇コンクールで、文部大臣奨励賞受賞
 - 4. 1 平公民館・働く婦人の家(複合施設)開館(工事費 3 億 500 万円)
 - 西小学校開校
 - 図書館に障がい者用便所を増築、完成
 - 5. 2 運動公園に全天候テニスコート開設
 - 6.28 常盤小学校第 2 グラウンドに夜間照明灯増設
 - 7. 1 市制 30 周年記念式典
 - 市史第 1 巻・第 5 巻刊行
 - 7. 9 西小学校プール完成
 - 9.26 第一中学校大規模改修工事(校舎)終了
 - 10.10 第 1 回大町健康シティーマラソン
 - 10.26 ニホンカモシカ 2 頭、オーストリア・インスブルック市のアルペン動物園を通じて、ウィーン市のシェーンブルン宮殿動物園へ贈る
 - 11.30 国宝仁科神明宮の防災設備が完成(工事費 1,359 万円)
 - 12.27 仮称大町南小学校プレイルーム棟完成
- 60. 2.15 シェーンブルン動物園へ贈った雌カモシカの死亡により、再び雌1頭贈る
 - 2.18 大町市とインスブルック市、山岳博物館とアルペン動物園が友好提携の調印
 - 3.22 仮称大町南小学校普通教室棟完成
 - 4. 1 教育委員会事務局に課制を敷き、学校教育課と社会教育課が発足
 - 民俗資料館が開館(工事費 1 億 3,000 万円)

- 4. 1 解放子ども会指導委員会を解放子ども会運営委員会に統合
青少年センターを教育委員会事務局内に設置(旧少年育成補導センター)
少年教育電話相談開設
- 4.27 アルプスマーモットふたつがいがインスブルック市から山岳博物館に到着、一般公
開始まる
- 7. 3 青少年育成市民会議発足
- 8.10 B&G 財団大町海洋センターが市へ無償譲渡される
- 8.17 第一中学校大規模改修工事終了(配線工事ほか)
- 8.19 仮称大町南小学校給食棟・特別教室棟が完成、使用開始
- 9. 1 市史第 2 巻・第 4 巻刊行
- 11. 1 長野建設労働者研修福祉センター・愛称「サン・アルプス大町」開館(工事費 3 億
5,000 万円)
- 61. 1.20 仮称大町南小学校管理棟完成
- 3. 1 市史第 3 巻刊行(全 5 巻完結)
- 3.15 市制 30 周年記念「大町ーきのう、きょう、あした」、県自作教育ビデオ最優秀賞
- 3.24 オオライチョウ 1 つがいがインスブルック市から山岳博物館に到着(雌は輸送中に
死亡)
- 4. 1 働く婦人の家、長野建設労働者研修センター補助執行
- 4.20 運動公園野球場落成記念・高等学校招待野球
- 5.10 オオライチョウの卵(5 個)をインスブルック市アルペン動物園長持参(ふ化せず)
- 5.28 大町公民館・文化会館(複合施設)開館(総事業費 16 億 8,800 万円)
- 7.25-27 第 7 回北信越国民体育大会・山岳競技の部
- 8.10 夏期巡回 NHK ラジオ体操会
- 8.29-31 第 7 回北信越国民体育大会・サッカー競技
- 9.26 西山謙次氏教育委員に任命
- 9.27 仮称大町南小学校体育館完成(工事費 1 億 8,900 万円)
- 11. 1 北小学校開校 10 周年記念式典
- 11. 2 仁科台中学校開校 20 周年記念式典
- 12.30 重要文化財若一王子神社本殿防災施設完成(工事費 1,291 万円)
- 62. 1.14 仮称大町南小学校屋外環境整備等完成(工事費 3,439 万円)
- 2.11 第 1 回綱引きトーナメント
- 3.20 運動公園弓道場・相撲場完成(工事費 1,860 万円)
- 3.27 南小学校開校祝賀式(総工事費 11 億 2,600 万円)
- 3.30 家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.1 発刊
- 4. 3 南小学校開校・入学式
- 4. 6 加藤寿々子氏、著名作家書簡等を市へ寄贈
- 4.20 運動公園多目的広場完成(工事費 5,710 万円)
- 5. 5 オオライチョウの卵(9 個)アルペン動物園長持参、30 日ふ化(雌雄各 2)
- 8.13 藤沢彌五衛氏教育委員に任命
- 8.28 第一中学校校舎、体育館大規模改修完了(工事費 4,015 万円)

- 9.20-30 アルペン動物園開設 25 周年記念行事に市民訪問団参加(13 人)
11. 3 加藤朝鳥・寿々子両氏にかかわる「著名作家書簡展」文化会館で開く
63. 3.30 第一中学校玄関ポーチ、校名板設置(工事費 98 万円)
「市内遺跡分布調査報告書」発刊
家庭教育指針「子どもとともにあゆむ」No.2 発刊
- 3.31 「社会教育計画」発刊
「来見原遺跡調査報告書」発刊
4. 南小学校、体力づくり推進校として文部省指定(3 年)
- 4.25 同和教育相談員(4 人)設置
- 7.23 チョモランマ／サガルマタ友好登山記念講演会(文化会館)
8. 1 外国青年英語指導助手招致、アラン・ラインステイン氏(米)発令(3.3.31 まで)
- 9.28 運動公園マレットゴルフ南コース完成
- 10.25 県宝若一王子神社三重塔防災施設完成
11. 6 運動公園総合体育館完成(工事費 9 億 8,448 万円)
- 12.20 北小学校みどりの少年団結団式
- 平成元 1.21 総合体育館落成記念全日本バレーボール男女選抜リーグ大町大会
- 1.28-30 運動公園を主会場に「大町雪と氷の博覧会」が開かれる(延べ 6 万 7,000 万人が来場)
- 1.31 「大町市の文化財」発刊
- 3.31 「小海戸発掘調査報告書」発刊
4. 1 教育委員会事務局に体育課、文化財係設置
勤労青少年ホームを補助執行
4. 2 矢口格氏教育委員に任命
- 5.13 附属資料館完成により、夏期大学の再建終わる(総事業費 3 億 4,000 万円)
- 5.17 金田國武氏教育委員に任命
- 5.25 北小学校、春の花壇コンクールで環境庁長官賞受賞
7. 山岳博物館で英文パンフレット製作
- 7.15 大町高校初の学校開放講座(書道に 37 人受講)
- 9.13 仁科台中学校大規模改造工事終了
- 9.28-29 文化会館、北小学校を会場に県公民館大会開催
10. 1 共同福祉施設「フレンド・プラザ大町」開館 教育委員会が補助執行
- 10.29 常盤小学校(南小学校)開校 100 周年記念式典
- 12.22 美術博物館構想懇話会が、美術館・歴史民俗博物館構想を市長に報告
2. 2. 6 石曾根佐和江氏教育委員に任命
3. 2 重要文化財盛蓮寺観音堂防災施設完成(総事業費 1,081 万円)
3. 8 シャモア(アルプス・カモシカ)3 頭がインスブルック市から山岳博物館に到着(雄 1、雌 2)
- 3.15 市科学振興賞 第 1 回授与式
- 3.31 「海の口・一津遺跡調査報告書」発刊
- 7.30 文化公園完成(2 億 300 万円)

- 10. 8 仁科台中学校大規模改造(体育館ほか)終了
- 10.19-20 県視聴覚放送教育研究大会(第一中ほか)750人
- 10.21 県PTA連合会研究大会大北大会(文化会館)
- 10.28 東小学校開校10周年記念式典
- 11. 2 第一中学校開校30周年記念式典
- 12. 1 生涯教育リーダーバンク設立
- 3. 3.25 保健センター・大町公民館分室完成(5億900万円)
東京・立川市と姉妹都市提携
- 4. 1 子どものための郷土冊子発刊、4~6年生に配布
仁科台中学校運動部活動研究推進校として文部省指定(3年間)
- 6.15 IOC総会で長野が1998年冬期五輪開催都市に決まる
- 6.19 暴力追放市民協議会設立総会
- 8. 1 外国人英語指導助手にジョン・クーパー氏(英)発令(5.7.31まで)
- 9.30 仁科台中学校大規模改造工事(技術・家庭科棟)終了
- 10.19 北小学校5年3組、『いいとこカルタ』の作成などで地域づくり大賞を受賞
- 11. 1 山岳博物館開館40周年。記念式典、特別展など実施。インスブルック・アルペン動物園からオオヤマネコ1つがい贈られる
- 4. 2.14 市婦人団体連絡協議会発足
- 3.31 「中城原・南入日向・西の原遺跡調査書」発刊
- 4.28 エネルギー博物館開館10周年
- 7.14 常盤公民館竣工式(工事費3億4,600万円)
- 7.26-8.25 大町野外美術展「'92夏 アルプス wa ミュージアム」、大町スキー場で開催
- 8. 1 山本茂實文化講演会および「葺」の仲間作品展
- 9. 1 学校週5日制スタート(月1回第2土曜日)
- 9. 7 紀宮清子親王山岳博物館ご来館
- 9.16 皇太子殿下(徳仁親王) "
- 9.22 仁科台中学校大規模改造工事(理科・廊下棟)終了
- 12.15 中学校コンピューター導入
- 5. 2.26 山岳博物館展示改修完成(改修費5,489万円)
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」発刊
- 3.31 第2期「社会教育計画」策定、発刊
郷土学習冊子改訂
- 4. 1 大町市子ども会育成連絡協議会を設置(旧青少年育成会連絡協議会)
- 4. 2 牛越充氏教育委員に任命
- 5.17 佐々木敬次氏教育委員に任命
- 6. 2 カモシカ2頭をオーストリアのシェーンブルン動物園へ贈呈
- 7.19 外国人英語指導助手プリンデーキャサリン・トムシ氏(加)発令
- 9. 3 長野県女と男ふれあいフェスティバル開催
- 9.14 仁科台中学校大規模改造工事(管理棟)終了

- 10. 8 長野県社会教育委員研修会開催
- 10.26 生涯学習推進の基本的な考え方、体制について社会教育委員が答申
- 6. 2.24 「山岳博物館総合案内書」発刊
- 3.10 「5,000 年前のムラ跡の調査概要報告書(後山・大行原遺跡)」発刊
- 3.22 「中世・須沼氏居館跡調査概要報告書」No.2 発刊
- 「1,700 年前のムラ跡の調査概要報告書(中城原遺跡)」発刊
- 3.24 西小学校体育館竣工式(事業費 4 億 700 万円)(起工 5.6.21・竣工 6.2.25)
- 4. 1 社会教育課を生涯学習課に、社会教育係を生涯学習係、同和教育係を同和推進係に改称(同和対策を補助執行)
- 大町公民館分室に社会教育指導員設置
- 7.18 生涯学習推進プラン策定委員会発足(17 名、委員長に菅沢徹夫氏)
- 9.20 女性行動計画策定委員会発足(10 名、委員長に牛越充教育長)
- 9.26 西澤徳市氏教育委員に任命
- 10. 1 市民意識調査「女性プランにあなたの声を」を実施
- 10.15 第 1 回生涯学習推進フォーラム開催(サン・アルプス、岡本包治氏講演)
- 10.29 アルプスマーモット 1 つがいがアルペン動物園から山岳博物館に到着
- 11.11 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 12.27 運動公園屋内体育館完成
- 7. 3.10 「5,500 年前の耳飾り製作ムラ跡の調査概要報告書(藪沢 I・II 遺跡)」発刊
- 3.15 「居谷里湿原保存調査報告書」発刊
- 3.18 「中城原 II(中城原遺跡報告書)」発刊
- 3.23-30 市制 40 周年記念国際交流事業大町市少年少女合唱団インスブルック訪問
- 3.31 大町市生涯学習推進プラン「いきいき学習エンジョイライフ大町」策定、発刊
- おおまち女性プラン「ともに生きる喜びめざして」策定、発刊
- 4. 1 教育次長および青少年女性係を新設
- 6.23 生涯学習のまちづくり推進本部発足
- 6.28 女性問題懇話会発足
- 8. 生涯学習のまちづくり出張講座開設
- 8.13 遠藤正人氏教育委員に任命
- 9.23-24 第1回ロマン街道「塩の道」産業と文化フェスティバル開催
- 10.23 大町市文化会館開館 10 周年記念式典
- 11. 生涯学習リーダーバンク開設
- 11.20 山岳博物館イヌワシ舎竣工(1,066 万円)
- 11.26 第 1 回男女共生フォーラム開催
- 8. 3. 6 「大町市指定文化財調査書第 2 版大町市の文化財」発刊
- 4. 1 学校教育指導員を配置
- 9.30 「大町市の絵馬」発刊
- 11. 2 大町北小開校 20 周年記念式典
- 9. 1.14 大町南小児童クラブ開所(常盤公民館)

- 4. 2 荒井和比古氏教育委員に任命
- 4. 7 「ギャラリー・いーずら」オープン
- 10. 3. 「郷土学習冊子」新訂版発行
 - 3. 新図書館竣工
 - 5. 学社融合推進委員会設置
- 10. 4 第3期「大町市社会教育計画」策定
- 11. 3 幸町教員住宅竣工(12戸)
- 11. 4. 平成14年度から実施の総合的な学習の時間の試行事業として、大町市公民館が企画運営する学社融合事業を北小学校5年で1年間授業として実施
 - 8. 大町市と坂北村の子ども会交流会を坂北村で開催(翌年は平公民館で開催)
- 11.10. 1 新図書館オープン
 - 人権擁護審議会設置
- 12. 1. 大町市人権教育のための国連10年推進本部設置
 - 5. 人権と暮らしに関する意識調査実施
 - 8.31 第1回ライチョウ会議
- 13. 4. 2 丸山一由氏教育委員に任命
 - 4.22 平運動場整備竣工式。記念ソフトボール大会
 - 5.17 中山弘幸氏教育委員に任命
 - 7. 1 市内全小中学校に学校評議員会設置
 - 8. 6 宇宙飛行士(若田光一氏)講演会(文化会館)
 - 9.24 山岳博物館創立50周年記念登山。爺ヶ岳
 - 9.28-30 第15回全日本シニアソフトボール大会開催(48チーム)
 - 10. 「第2次大町市生涯学習推進プラン」発刊
 - 10.13 山岳博物館50周年記念式典、シンポジウム(文化会館)
 - 10.28 チルドレンズミュージアム開催(サンアルプス)
 - 11.20 長野県青少年育成県民大会開催(文化会館)
- 14. 2. 6 横澤幸子氏教育委員に任命
 - 3.15 山岳文化都市宣言
 - 3.16 山岳博物館展示改修完成(改修費3,980万円)
 - 4. 6 こども体験学習号(バス)運行開始
 - 5.24-27 第20回全国シニアソフトボール大会開催(96チーム)
 - 6. 同和対策「特別措置法」失効に伴い、関係する市条例、規則等を改正
 - 9.26 眞嶋強志氏教育委員に任命
- 15. 3. . 「人権教育のための大町市行動計画」策定
 - 4. 第4期「大町市社会教育計画」発刊
 - 8.13 矢口博文氏教育委員に任命
- 16. 4. 1 働く婦人の家を「女性未来館ピュア」に名称変更する
 - 4. 4 大町市蔵の音楽館竣工
 - 5.15 大町市文化会館スケートボードパーク竣工
 - 7. 6 第一中学校全面改築工事起工式

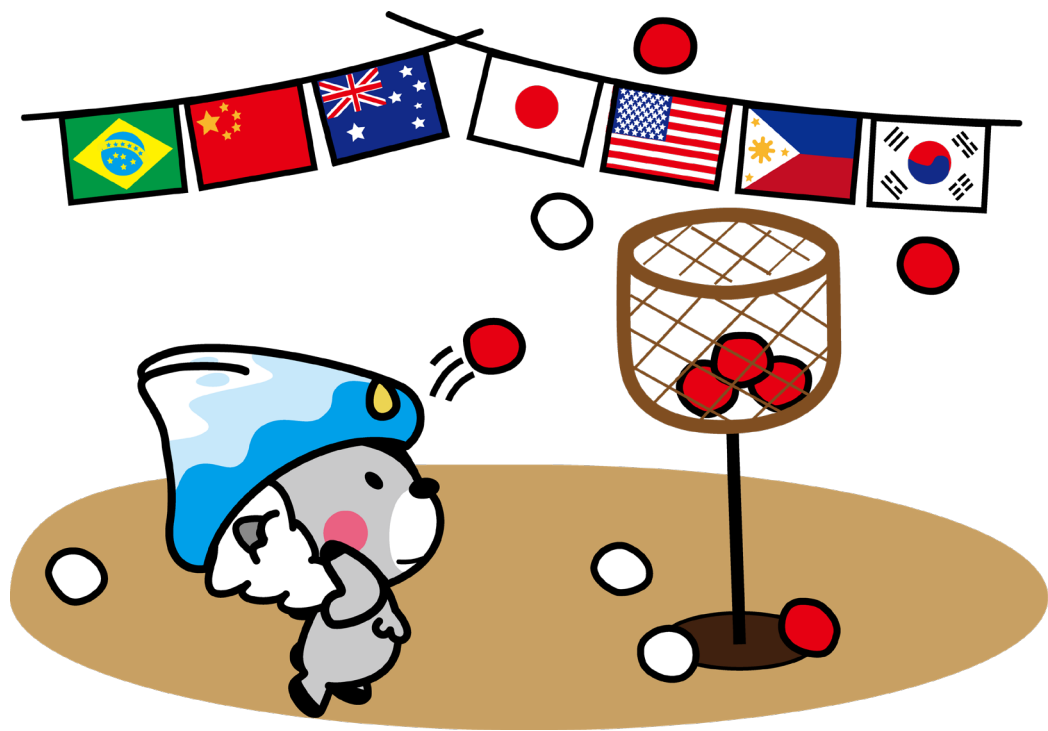
- 7.26 外国人英語指導助手ウィリアム・ハビントン、タミー・クライトン(加)発令
- 10.16 市制施行 50 周年記念式典
- 17.11.25 第一中学校新校舎開き
- 18. 1. 1 大町市・八坂村・美麻村合併 新大町市誕生
 - 1.24 大町高校と大町北高校の存続を守り育てる市民会議設立
 - 2.11 合併記念式典(文化会館)
 - 2.22 県立高校の発展と存続を願う会県庁包囲行動(県庁)
 - 3.24 青色パトロール車出発式
 - 3.27 新児童センター完成
 - 5.27 第 30 回長野県知事杯争奪選手権マレットゴルフ大会(運動公園)
- 6.10-11 第 44 回北信越壮年ソフトボール大会
 - 第 10 回北信越シニアソフトボール大会
- 10.28 大町北小学校 30 周年記念式典
- 11.10 仁科台中学校 40 周年記念式典
- 11.25 八坂中学校 60 周年記念式典
- 11.26 美麻小中学校 30 周年記念式典
- 12.22 第一中学校竣工式
- 19. 3 「第 3 次大町市生涯学習プラン」発刊
 - 4 第 5 期「大町市社会教育計画」発刊
- 19.12.25 美麻公民館移転
- 20. 3.30 「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」策定
 - 8. 5 仁科台中学校全面改築工事起工式
- 21. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命
 - 4. 文部科学省人権教育総合推進地域事業指定(3年間)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命
 - 7.27 外国人英語指導助手ソン ティリム発令
 - 8. 3 // チェロ アントニー発令
- 11. 6 大町南小 120 周年記念式典(新型インフルエンザ流行のため印刷物等の配布)
- 12.18 仁科台中学校新校舎開き
- 22. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命
 - 9.26 布施知子氏教育委員に任命
 - 12.14 仁科台中学校完成式
- 23. 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命
 - 11.3 山岳博物館 60 周年記念式典(JAホール アプロード)
- 24. 3. 第 6 期「大町市社会教育計画」発刊
 - 4.20 山岳図書資料館開館
- 25. 4. 1 荒井今朝一氏教育委員に任命(再任)
 - 5.17 川上茂代氏教育委員に任命(再任)
 - 7.29 外国人英語指導助手クリーバ ブリトニー発令
- 26. 2. 6 藤井一男氏教育委員に任命(再任)

- 3.29 山岳博物館リニューアルオープン
- 26. 3 「第4次大町市生涯学習プラン」発刊
「大町市スポーツ推進計画」策定
- 26. 4. 1 美麻小学校及び美麻中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化、小中一貫教育導入)
- 8. 3 外国人英語指導助手マッケイ クリストファー発令
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命
- 10.11 大町市制施行60周年・合併10年記念『未来を担う子どもたちの芸術交流事業』
(小学校児童絵画展、中学生吹奏楽演奏、和太鼓演奏)実施
- 27. 3 「ふるさと・きのう・きょう・あした 私たちの大町」新訂第4版発行
- 27. 4. 1 八坂小学校及び八坂中学校に学校運営協議会設置
(コミュニティスクール化)
八坂小学校、美麻小学校、八坂中学校、美麻中学校で小規模特認校制度開始
- 7. 4 山岳博物館ライチョウ舎竣工式
- 7.18-19 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 黒田幸雄氏教育委員に任命(再任)
- 10.31 大町東小学校 35周年記念式典
- 11.17 第1回大町市総合教育会議
- 28. 1.25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 28. 3 常盤公民館太陽光発電設備設置
- 3.31 長野県大町高等学校及び長野県大町北高等学校閉校
- 28. 4. 1 長野県大町岳陽高等学校開校
大町南小学校及び大町北小学校に学校運営委員会設置
(コミュニティスクール化)
- 28. 4 生涯学習リーダーバンク制度改定
- 6.21 乗鞍岳よりニホンライチョウの卵を山岳博物館にて受入れ、飼育開始
- 7.16-17 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.19 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、リオデジャネイロ五輪バドミントン女子シングルス銅メダル獲得
- 8.29 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
(祝賀パレード、銅メダルをお祝いする会開催)
- 9.30-10.1 美麻小中学校 40周年記念梨の木祭
- 10. 1 仁科台中学校 50周年記念式典
- 10.15 ライチョウ会議長野大会開催(於:大町市文化会館)
- 10.21 大町北小学校 40周年記念音楽会
- 28. 10 長野県信濃美術館移動展開催(ギャラリー・いーずら)
- 12. 8 美麻小中学校「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞
- 12.10 ニホンライチョウ2羽逸出(うち1羽についてはその日のうちに捕獲)
- 12.11 大町市文化会館開館 30周年記念式典
- 12.28-29 第3回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施

- 29. 3 第7期大町市社会教育計画策定
- 29.3.31 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪(氷河)調査団活動終結(26～28年度)
- 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
外国人英語指導助手 カマゼルト ショーン氏任命(派遣)
- 5.17 中山晴隆氏教育委員に任命
- 7.2 ニホンライチョウ第2世代(大町産卵)雛誕生
- 7.14 ニホンライチョウ第2世代(上野産卵)雛誕生
- 7.22-23 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.1 外国人英語指導助手 赤羽 タミー氏任命
- 8.27 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、第23回世界バドミントン大会女子シングルス金メダル獲得
- 9.29 大町市運動公園 第二屋内運動場竣工
- 9.30 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、大町市特別栄誉賞受賞
- 12.29 第4回第2の奥原希望発掘プロジェクト実施
- 30.1.1 鹿島槍ヶ岳カクネ里雪溪が正式に氷河として認められる。
- 1.5-8 第1回 北アルプスバドミントンオープン2018開催
- 2.6 甘利道子氏教育委員に任命
- 3.12 山岳博物館付属園 新ライチョウ舎竣工
- 4.1 外国人英語指導助手 グレニー ケビン氏任命(派遣)
- 4.15 山岳博物館友の会創立40周年記念パーティー開催
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:立川市)
- 8.6 外国人英語指導助手 リム ファミン氏任命
- 9.26 仲原直美氏教育委員に任命(再任)
- 31.3.1 校務支援システム全校稼働
- 4.1 学校給食費公会計運用開始
- 令和元 7.13-15 北アルプスバドミントンオープン2019～国際ジュニアオープン大会 in 大町～開催
- 8.13 下川清志氏教育委員に任命
- 8.19-25 大町市出身(南小、仁科台中卒業)奥原希望選手、世界バドミントン選手権大会2019女子シングルス銀メダル獲得
- 4.21-10.19 大町市出身(西小、仁科台中卒業)上田瑠偉選手、スカイランナーワールドシリーズでアジア人・日本人初となる年間総合優勝
- 10.5 図書館開館20周年記念事業
- 11.9-17 国宝仁科神明宮式年造替に併せて仁科氏歴史文化展を宮本公民館で開催
- 11.15-17 国宝仁科神明宮遷宮祭
- 2.3～5月 新型コロナウイルス感染防止のため市内全小中学校臨時休業
- 4.1 荒井今朝一氏教育長に任命(再任)
- 6.26 大町市立学校通学区域再編審議会発足
- 10.27 大町市立学校通学区域再編に関わる市民説明会
- 10.31 第一中学校60周年記念式典
- 3.1.1 中山晴隆氏教育委員に任命(再任)

- 2.25 八坂学校協働隊が文部科学大臣表彰受賞
- 3.19 大町市立学校通学区域再編審議会が通学区域などについて答申
- 4.2 東京 2020 オリンピック聖火リレーが市内で実施
- 9.3 大町市学校再編基本計画策定
- 11.28 大町山岳博物館創立 70 周年記念式典・講演会
- 4.1.1 森しのぶ氏教育委員に任命
- 1.10 新型コロナウイルス感染対策により延期していた令和 2 年度並びに令和 3 年度「成人式」開催
- 3.10 第 5 次大町市生涯学習推進プラン策定
- 4.20 山岳図書資料館開館 10 周年
- 5.9 北京オリンピックモーグル杉本幸祐選手が表敬訪問
- 7.30-8.21 特別企画展「鉄拳展」in 大町 2022 夏
- 8.15 令和 4 年度二十歳の門出
- 9.26 北澤明美氏教育委員に任命
- 9.29 第一中学校・仁科台中学校閉校記念行事「奥原希望さん講演会」
- 10.24 大町・平地区「新小学校」校地として第一中学校選定
- 11.12 大町西小学校開校 150 周年記念植樹
- 5.3.16 第一中学校・仁科台中学校閉校式
八坂小学校・八坂中学校で最後の卒業式
- 4.1 中村一郎氏教育長に任命
国民スポーツ大会準備室設置
- 4.7 大町中学校・八坂小中学校開校式
- 5.31 チャレンジデー実施
- 7.15-16 大町市・立川市姉妹都市交流中学生サミット開催(於:大町市)
- 8.13 下川清志氏教育委員に任命(再任)
- 8.23 体操選手の坂口彩夏選手が牛越市長を表敬訪問
- 12. 1 新小学校の校名が「大町北部小学校」と「大町南部小学校」に決定
- 6.10. 1 第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 大町市準備委員会
設立総会・第 1 回総会
- 11.21 「大町北部小学校」と「大町南部小学校」の校章が決定

II 学 校 教 育



大町市が進めている学校教育

新しい時代に必要な資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

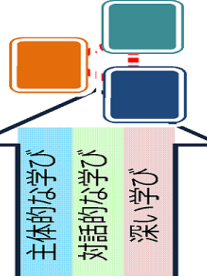
学習内容の削減は行わない

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の観点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる
資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い
理解を図るための学習過程
の質的改善



「生きる力」の習得と3本の柱への対応

1 「なにかができるようになるか」 - 生きる力 -

① 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得

・何を理解し、何ができるようになるか

② 課題解決のための思考力・判断力・表現力等の育成

・経験したことがない未知の状況にも対応できる総合的な力量の習得

③ 主体的に学習に向かう態度・多様な人々と協働する人間性等の涵養

・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送れるか
2 「どのように学ぶか」

—「主体的・対話的で深い学び」の実現—

① 児童・生徒が主体的に見通しを立て、振り返り、自らの学びを自覚する

② 児童・生徒相互の対話により学びを広げ、深める

③ 深い学びのために児童・生徒の思考と教師の指導を組
み立てる

実現のために

「カリキュラム・マネジメント」の具体化

※カリキュラム・マネジメントとは、教育目標を達成するために教育課程を、組織的かつ計画的に編成・実施・評価し、教育の質を向上すること

大町市の学校教育の質的向上を図るための具体的実践

教育課題：より良い学校教育を通してより良い地域を創出する

- ・持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を育成する学校となる
- ・地域住民の生涯学習の場としての学校となる

- ① 教育基本計画に基づき学校教育基本方針を示し、年度当初の校長会で確認
- ② 義務教育学校と連携型小中学校で一貫教育の実施を支援
- ③ 学校運営協議会制度を活用した学校運営（コミュニティ・スクール）への地域住民の参画、及び地域との協働による学校づくり（地域学校協働活動）の推進
- ④ 各校における協働の学びによる授業改善に向けたガイドラインの作成支援（毎年度改訂）
- ⑤ 学力向上・授業改善等の課題に対応するカリキュラム・マネジメント推進委員会の設置と活動支援
- ⑥ 教育委員会学校教育指導主事や外部講師による「協働の学び」の実践に向けた研修の実施
- ⑦ 第三者評価を含めた学校評価の実施と評価結果による学校運営の改善への支援
- ⑧ 教職員の働き方改革の推進
- ⑨ 学校部活動等の地域展開の推進
- ⑩ 授業ツールとしての ICT 機器の活用、情報化社会に対応した ICT 教育の推進
- ⑪ 児童生徒が自らの成長を確認し自己有用感を高めるキャリア・パスポートの有効活用支援
- ⑫ 学校・保護者・地域の連携協働によるキャリア教育の推進

1 市内小中学校

(1) 小学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町東小学校	昭和56年4月1日	大町市社6700番地	たか やま とし ひろ 高 山 俊 彦	TEL. 22-0611 FAX. 23-3174 有線 22-0611
大町西小学校	昭和59年4月1日	大町市大町4773番地3	い ぐち ひろ し 井 口 博 司	TEL. 22-0019 FAX. 22-1133 有線 22-0019
大町南小学校	昭和62年4月1日	大町市常盤3543番地1	おお の たくみ 大 野 技	TEL. 22-0521 FAX. 22-0647 有線 22-0521
大町北小学校	昭和52年4月1日	大町市大町5806番地8	いぬい ゆ り 乾 ゆ り	TEL. 23-0190 FAX. 22-0740 有線 23-0190

(2) 中学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X 有 線
大町中学校	令和5年4月1日	大町市大町3759番地	つか だ しげる 塚 田 秀	TEL. 22-1817 FAX. 22-0290 有線 22-1817

(3) 義務教育学校

学 校 名	開設年月日	所 在 地	校 長 名	T E L F A X
八坂小中学校 (前期)	昭和61年4月1日	大町市八坂1090番地	なが た おさむ 永 田 治	TEL. 26-2010 FAX. 26-2144
八坂小中学校 (後期)	昭和22年4月1日	大町市八坂11648番地		TEL. 26-2020 FAX. 26-2022
美麻小中学校	平成29年4月1日	大町市美麻27503番地	なか ほら きとし 中 原 敏	TEL. 29-2004 FAX. 29-2667

(4) 教育支援センター

名称	開設年月日	所在地	適応指導員	T E L
大町市 アルプスの家	平成6年6月20日	大町市大町4710番地	北 澤 猛 史 柳 澤 希世美	TEL. 23-6418

学校教育目標『きたえる』『思いやる』『求める』『求める』

教育理念...一人ひとりを大切に作る学校

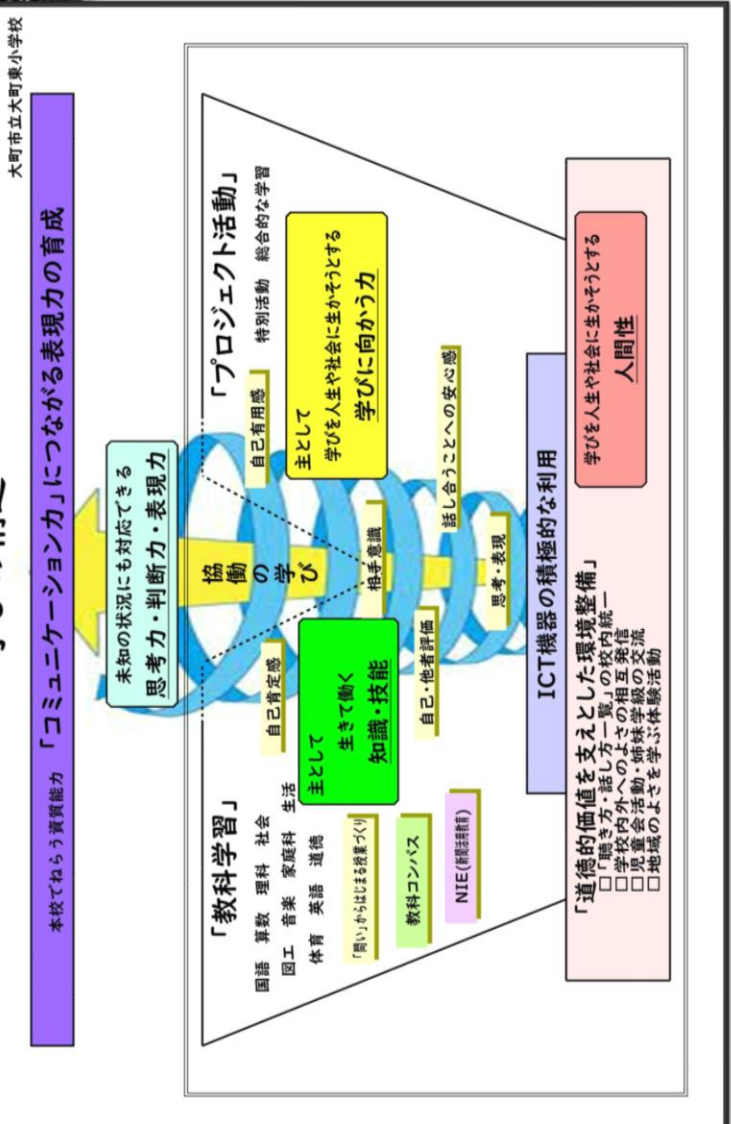
～自分の可能性をのばすために、学びつづける子どももの育成をめざして～

○役に立つ喜びを知る子ども(誠実)○自分の考えを表現したいと思える子ども(自己表現)



「学びづくり」と「集団づくり」

学びの構造



「健康づくり」

- 豊かな運動経験を通して成長し合おう
『東の子マラソン』『東小ギネス』『大縄ギネス』等
- 大町東小ならではの体育的行事を楽しもう
『運動会プロジェクト』『スキー・スノーボード教室』
- 健康的な生活習慣を身につけよう
『元氣調べ』『お昼の献立放送』『メディア講演会』

保護者・地域とともに育つ学校づくり

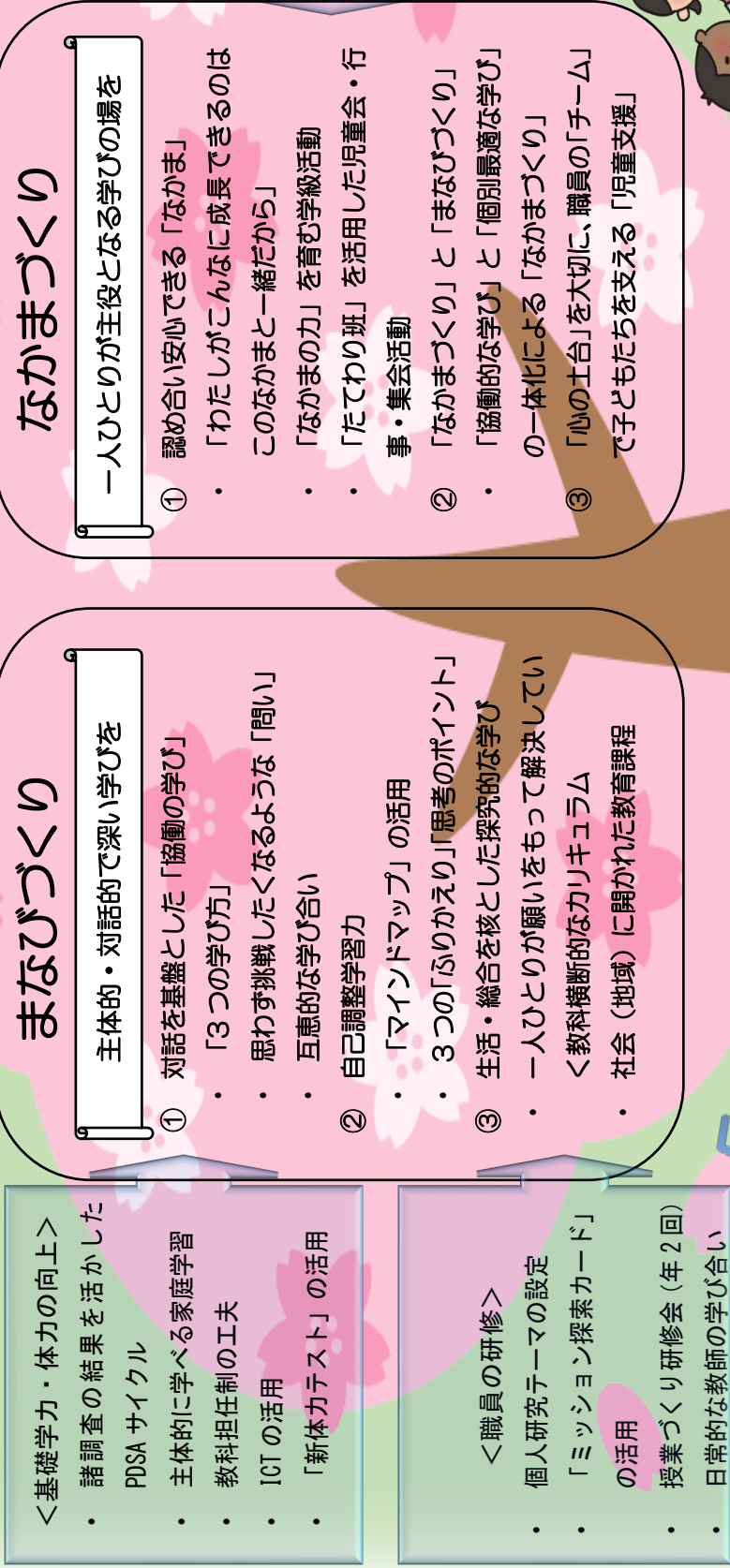
- 学校運営協議会と地域学校医共同活動の充実
『放課後子ども教室』『読み聞かせ』『大町東小プロジェクトサポーター』
(地域遠足のサポート、登下校時の見守りなど)
- 保護者・地域の方と行う学びや安全の充実
『米作り・収穫祭』『焼いも会』『地域遠足のサポート』『交通安全指導』等
- ともに高め合う「ふり回り」の実施
『職員ふり回りの会』『学校自己評価』及び『学校関係者評価』等

自ら学び 友と学び 仁科の里に学び

学校教育目標

めざす子ども像 ～よりよく生きるために学び続ける～

明日を楽しみに進んで学ぶ子ども 安心して学び合い 高め合う子ども ふるさとに愛着をもち大切にすると子ども



子どもたちを支える『ユニバーサルデザイン』

教育課題 自己調整学習力・自己有用感の育成

教育理念 一人ひとりの輝きを認め合う学校

子どもに寄り添いともに学び教師 授業を根幹とする学校

めざす学校像
なりたい自分に出会える学校

教育理念
「みて きいて」一人ひとりを大切にする学校づくり

《学校づくりのねらい》

「みて きいて」を根幹とした一人ひとりを大切にする学校づくりのもと、「協働の学び」を軸とした教育活動を通して、「よくまなぶ子」を育成する。

学校教育目標
よくまなぶ子

めざす子ども像
進んであいさつする子ども
自他を大切にする子ども
学びつづける子ども

めざす教師像
子どもの姿をみつめ
子どもの声をきき
子どもと共に学びつづける教師

教育課題
行動力の育成・互恵的な学びの実現

(重点1 学びづくり)
質の高い「問い」を設定し、「きく・つなぐ・もどす」を意識した授業展開により、協働の学びの充実を図る。

(重点2 関係づくり)
肯定的な見方や声かけ、日常的な対話活動を通して、一人ひとりが安心して自己表現できる集団の構築をめざす。

教育システム

学び続ける子どもへと導く学習システム (三つのカリキュラム・マネジメント)

- ◇本校と大町中学校とを連続的な学びでつなぐ「協働の学び」
- ◇教科横断的な視点に立つ学年教科カリキュラム
- ◇コミュニティ・スクールによる地域連携カリキュラム

学び続ける教師へと導く研修システム

- ◇自己課題に応じたグループ内研修
- ◇外部指導者を招聘した授業づくり研修

地域との協働システム

- ◇学校、家庭、地域の総意で進める学校づくり
- ◇コミュニティ・スクールの充実 (地域に学ぶ・地域の方と創る)

教育目標 かしこく なかよく たくましく 学び続ける子ども

【教育理念】

「その子らしく育つ学校」

めざす教師像：その子の可能性を信じ 愛語を贈る教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

その子とその子らしく育つ学校づくりと
子どもが自分や対象に深く向き合い対話する「協働の学び」を軸とした授業を通して
対話の質を高め 学び続ける子を育成する。

「協働の学び」で大切にすることの三つの学び方

わからないということ 友だちの声に耳をかたむけること なっとくするまであきらめないこと
(協働の学びとは「聴く、問う」から始まる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと)

めざす子ども像

- ・自分で決めて 自分でできる子
- ・自他を大切にすること子
- ・学びを楽しむ子

《 教育課題と重点 》

教育課題
対話の質を高める

(重点1・学びづくり)

子どもの自発的な対話を促し、その子らしい外化が生まれる「問い」を開発する。

(重点2・関係づくり)

一人一人が主役となる協働活動を通して、「わたしたちの活動」となる特別活動をつくる。

《 教育システム 》

○学習システム

- ・大町中学校と市内4小学校と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ・人・もの・こと等対象に自分から深くかかわる活動や体験を実現する教科等横断的なカリキュラム(総合的な学習の時間他)

○地域との協働システム

- ・学校運営協議会制度をもとにした学校づくり(職員との合同研修会)
- ・北小カフェを活用した地域学校協働活動の推進(先生との北小カフェ 子どもの参画)

○職員の研修システム

- ・共有及び自己課題に応じたLCによる授業づくり・学びの個性を見とる研修
- ・個々の「ミッション」「ビジョン」を明らかにし互いにつなぐ「北小タイム」

教育目標・自立した学び手となる

【教育理念】

「聴く学校」

めざす教師像：生徒の存在を丸ごと受け入れ、生徒の声や心の声に耳を傾け、共に歩む教師

めざす学校像：生徒が生きることと学ぶことを統合する学校

《 学校づくりのねらい 》

「聴く学校」を合言葉とする学校づくりと、互いの考えを比べながら聴き合う「協働の学び」の授業を通して考える力を高め、『自立した学び手』を育成する

「協働の学び」の授業における三つの学び方
わからないと言うこと・友だちの声に耳を傾けること・自分のわからなさを追究すること
(協働の学びとは、「聴く、問う」からはじまる対話活動を基盤として、課題について少人数で互恵的に語り合うこと)

めざす生徒像

- ・筋道立てて考え、自分の考えを適切に伝える生徒
- ・吟味と検討を繰り返しながら学ぶ生徒
- ・自分のよさを生かして、人の役に立とうとする生徒

《 教育課題と重点 》

教育課題

対話の質を高める

(重点1・学びづくり)

生徒の自発的な対話を促し、思わず挑戦したくなるような「問い」を開発する。

(重点2・関係づくり)

考えを聴き合うことを通して、互いの尊厳を守る関係を構築する

《 教育システム 》

○自立した学習者が育つ学習システム

- ・論理的思考力が高まる教科等横断的な教育課程を編成する。

○地域との協働システム (CS：コミュニティ・スクール)

- ・学校職員と運営協議会委員の合同研修を企画し、学校運営協議会制度に基づく学校づくりのあり方について理解を深める。

○職員の研修システム

- ・ミッション探索カードを活用する教頭との懇談を通して、職員が本校における使命と課題を明らかにする。
- ・LC (ラーニング・コミュニティ) による授業づくりの研修を重ねる。

【義務教育9年間で目指す姿】 自己有用感の育成

「自分が好き」と言える子ども

【教育理念】

「広げ、深め、高め合う」学校

※「合う」・・・子ども、保護者・地域、教職員が相互に結び合う関係

- 「対話的な学び」を根幹とする学校（学びをつくる）
- 「多様性・個性」を包みこむ学校（関係をつくる）

経営概要

【八坂小中学校 義務教育9年間のねらい】

「広げ、深め、高め合う」学校づくりと、対話を基盤として多様性・個性を認め合い、子どもが「問い」をもって学ぶ授業実践を通して、生涯にわたって協働しながら新たな価値を創り続ける力を養い、「自分が好き」と言える子どもを育成する。

【学校教育目標】

「問い」をもって学ぶ八坂の子

～体験や人間力の豊かさを基盤としたICTの有効活用（教育課題）～

※人間力・・・創造性・発想性・愛情などの人間でなければ持ち得ない力

【重点1】学びづくり

子どもが問題意識（「問い」や「願い」）をもち、クエスチョン（W）型や、**結論の根拠や理由を問う等の学習問題を積極的に設定し**、見方や考え方の「ちがい・ズレ」及び共通点を共有することを通して、対話の質を高める。

【重点2】関係づくり

地域の方との協働、異学年との交流活動、自律的・対話的に学び合う授業を通して、**聴き合う関係・「助けて」と言える関係**を構築し、多様性・個性を認め合う。

【重点1・2】を支える教育システム

① 義務教育9年間学習システム

全ての教科領域で9年間を見通したカリキュラムを作成する。また、教育課程を前・後期課程で編成し、前期課程の学習指導も一部教科担任制で行い、後期課程では複数担任により生徒一人ひとりの個性・多様性に応じた支援を行う。

② 地域協働システム ～「学び合いの里 八坂」と共に歩む～

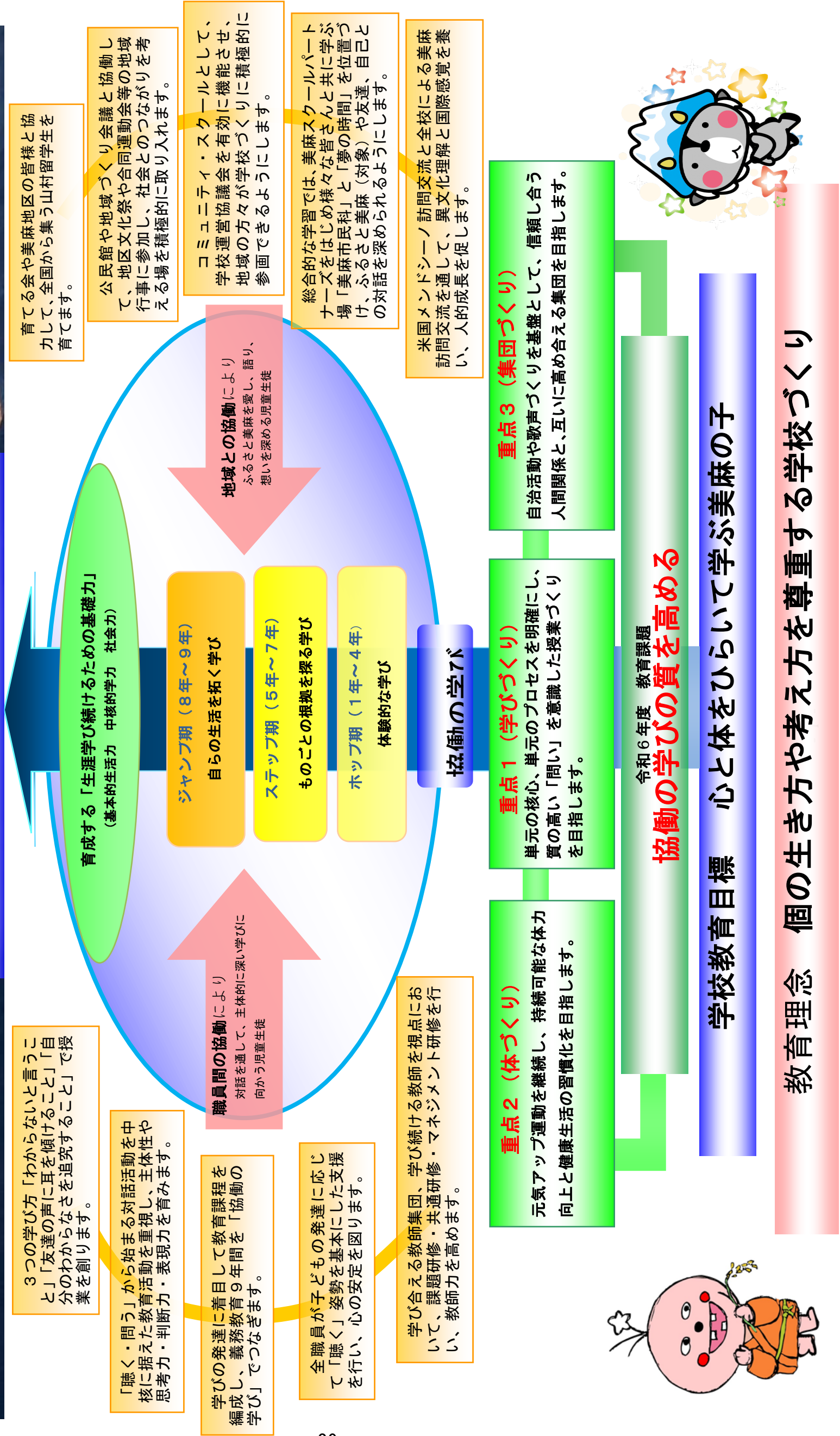
学校運営協議会との協働により「地域に開かれた教育課程」を編成し、地域と共に生きる八坂の子どもを育成する。

③ 教職員研修システム

前期・後期課程の教職員が授業を相互に参観し、**子どもの学びを語り合う**ことを通して、授業力の向上を図る。 ※「村瀬公胤先生（麻布教育研究所長）授業クリニック」



自律した学習者



3つの学び方「わからないと言うこと」「友達の声に耳を傾けること」「自分のわからないなさを追究すること」で授業を創ります。

「聴く・問う」から始まる対話活動を中核に据えた教育活動を重視し、主体性や思考力・判断力・表現力を育みます。

学びの発達に着目して教育課程を編成し、義務教育9年間を「協働の学び」でつなぎます。

全職員が子ども達の発達に応じて「聴く」姿勢を基本にした支援を行い、心の安定を図ります。

学び合える教師集団、学び続ける教師を視点において、課題研修・共通研修・マネジメント研修を行い、教師力を高めます。

育てる会や美麻地区の皆様と協力して、全国から集う山村留学生を育てます。

公民館や地域づくり会議と協働して、地区文化祭や合同運動会等の地域行事に参加し、社会とのつながりを考える場を積極的に取り入れます。

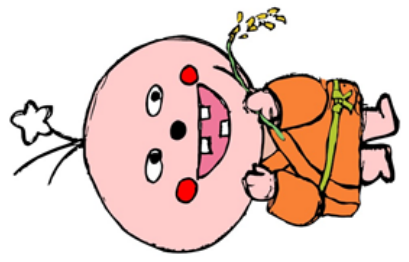
コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会を有効に機能させ、地域の方々が学校づくりに積極的に参加できるようにします。

総合的な学習では、美麻スクールパートナーズをはじめ様々な皆さんと共に学ぶ場「美麻市民科」と「夢の時間」を位置づけ、ふるさとと美麻(対象)や友達、自己との対話を深められるようにします。

米国メンドシノー訪問交流と全校による美麻訪問交流を通して、異文化理解と国際感覚を養い、人的成長を促します。

地域との協働によりふるさとと美麻を愛し、語り、想いを深める児童生徒

職員間の協働により対話を通して、主体的に深い学びに向かう児童生徒



2 学校施設

(令和6年4月1日現在)

学 校 名	校 舎		給 食 棟 他		屋 内 運 動 場		校			地
	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	保有面積 m ²	構 造	校舎敷地 m ²	屋外運動場敷地 m ²	そ の 他 m ²	
小 学 校	5,899	鉄筋 鉄骨	404	鉄筋 鉄骨	1,002	鉄筋	17,107	13,715	2,605	33,427
	7,360	鉄筋 鉄骨	409	鉄筋 鉄骨	1,218	鉄筋	21,626	13,169	1,138	35,933
	5,812	鉄筋 鉄骨	375	鉄筋 鉄骨	1,092	鉄筋	19,207	9,275	7,028	35,510
	6,609	鉄筋 鉄骨	347	鉄筋 鉄骨	1,051	鉄筋 鉄骨	17,158	11,750	3,439	32,347
計	25,680	鉄筋 鉄骨	1,535	鉄筋 鉄骨	5,390	鉄筋 鉄骨	75,098	47,909	14,210	137,217
中 学 校	6,983	鉄筋 鉄骨	420	鉄筋 鉄骨	2,511	鉄筋	16,926	17,331	—	34,257
義 務 教 育 学 校	3,361	鉄筋 鉄骨	504	鉄筋 鉄骨	1,227	鉄骨	10,809	12,948	2,567	26,324
	2,861	鉄筋 鉄骨	255	鉄筋	1,027	鉄筋	7,040	8,190	13,385	28,615
	2,167	鉄筋 鉄骨 木造	216	鉄骨	1,198	鉄筋	6,781	9,388	—	16,169
	8,389	鉄筋 鉄骨 木造	975	鉄筋 鉄骨	3,452	鉄筋 鉄骨	24,630	30,526	15,952	71,108

(2) 中学校

学校名	1学年		2学年		3学年		計		教職員数	特別支援学級の生徒数				
	男女	計	男女	計	男女	計	男女	計		学年	1	2	3	計
大町中	男	85 (13)	159 (16)	80 (8)	156 (11)	87 (8)	161 (12)	252 (29)	35 28	知的障害	5	2	2	9
	女	74 (3)		76 (3)		74 (4)		224 (10)			26 14	情緒障害	11	9
八坂後期	男	4 (0)	8 (0)	5 (1)	7 (1)	2 (0)	2 (0)	11 (1)	/	知的障害	0	0	0	0
	女	4 (0)		2 (0)		0 (0)		6 (0)			1 (1)	情緒障害	0	1
美麻後期	男	10 (5)	13 (5)	4 (2)	5 (2)	6 (2)	16 (4)	20 (9)	/	知的障害	0	0	1	1
	女	3 (0)		1 (0)		10 (2)		14 (2)			1 (1)	情緒障害	5	2
合計	男	99 (18)	180 (21)	89 (11)	168 (14)	95 (10)	179 (16)	283 (39)	35 28 26 14	計	21	14	16	51
	女	81 (3)		79 (3)		84 (6)		244 (12)			527 (51)	21 14 16 51		

※ 児童・生徒数の()内の数字は、特別支援学級の数を内数で表す
 ※ 八坂小中学校、美麻小中学校の教職員数は、前期課程に全員を計上する

4 小中学校教職員数

(令和6年5月1日現在)

学校名	県										市										費			合計	
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	養護助教諭	講師	事務職員	栄養職員	計		教員	学サポ 校ノ業タ 務ノ	図書館事務員	栄養職員	給食調理員	校務員	A	計		男	女	計		
										男	女								男	女					
大町東小学校	1	0	1	8	1	0	5	1	0	8	9	17	2	0	1	1	3	1	0	2	6	8	10	15	25
大町西小学校	1	0	1	16	1	0	2	1	2	11	13	24	3	1	1	4	1	0	2	8	10	13	21	34	
大町南小学校	1	0	1	15	1	0	3	1	0	11	11	22	3	0	1	4	1	0	2	7	9	13	18	31	
大町北小学校	1	0	1	14	1	0	4	1	1	10	13	23	3	0	1	4	1	0	2	7	9	12	20	32	
計	4	0	4	53	4	0	14	4	3	40	46	86	11	1	4	15	4	0	8	28	36	48	74	122	
大町中学校	1	0	1	32	1	0	7	2	0	30	14	44	6	1	1	6	1	2	5	13	18	35	27	62	
八坂小学校	1	1	1	15	0	0	2	2	2	12	12	24	2	0	0	1	0	1	3	3	6	15	15	30	
美麻小中学校	1	1	0	18	1	0	4	1	0	16	10	26	1	1	1	3	1	1	3	6	9	19	16	35	
計	2	2	1	33	1	0	6	3	2	28	22	50	3	1	1	3	3	2	6	9	15				
合計	7	2	6	118	6	0	27	9	5	98	82	180	20	3	6	24	8	4	19	50	69	117	132	249	

※ () は会計年度任用職員を内数で表す
 ※ 育児休業代替者を含む
 ※ 兼務職員は本務校に計上
 ※ A L T のうち2名は派遣

5 外国人英語指導助手（中学校配置）

氏 名	出 身	契約期間
カマゼルト ショーン エベン KAMMERZELT SHAWN EVAN	アメリカ	平成29年4月1日～令和7年3月31日 (派遣)
アカハネ タミー レベッカ AKAHANE TAMMY REBECCA	オーストラリア	平成29年8月1日～令和7年3月31日 (市雇用会計年度任用職員)
グレンニー ケビン GLENNIE KEVIN	イギリス	平成30年4月1日～令和7年3月31日 (派遣)

6 通学区

(1) 小学校

学 校 名	通 学 区 域
大町東小学校	社の全区域および大町のうち八日町、神栄町、五日町、旭町、日の出町、仁科町、光明町、東町、下白塩町、昭電アパート
大町西小学校	大町のうち大黒町、相生町、九日町、六九町、上仲町、下仲町、名店街、高見町、南原町、堀六日町、白塩町、山田町、北山田町、宮田町、幸町、北原町、十日町、桜田町、若宮町、東若宮町、西若宮町、高根町、大新田町、和町
大町南小学校	常盤の全区域
大町北小学校	平の全区域および大町のうち居谷里、三日町、俵町、不二塚町、大原町、大原2号団地、中原町、東中原町、栄町、若原町

(2) 中学校

学 校 名	通 学 区 域
大町中学校	大町、平、社、常盤の全区域

(3) 義務教育学校

八坂小中学校	八坂の全区域
美麻小中学校	美麻の全区域

7 小規模特認校制度

大町市では、平成27年4月から、八坂小中学校前期課程、八坂小中学校後期課程及び美麻小中学校は、市内全域から通学できる小規模特認校となりました。小規模学校ならではの特色を生かして、地域と連携した学校づくりに取り組んでいます。

☆令和5年度実績

	八坂前期・八坂後期			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小1		1	1	3	1	4
小2			0	1	1	2
小3			0	5	1	6
小4	3		3	1	2	3
小5			0	2	1	3
小6	1	1	2	1		1
中1（7年）			0	2		2
中2（8年）	1		1	2	3	5
中3（9年）		2	2	4	1	5
合計	5	4	9	21	10	31

8 山村留学生受け入れ状況

☆令和5年度実績

	八坂前期・八坂後期			美麻小中		
	男	女	合計	男	女	合計
小3			0	1		1
小4		1	1		2	2
小5	3	2	5		1	1
小6	3	2	5	2	3	5
中1（7年）	3		3		1	1
中2（8年）	1		1	1	1	2
中3（9年）		1	1		2	2
合計	10	6	16	4	10	14

9 就学援助

(1) 要保護および準要保護児童生徒援助費

(令和5年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費・通学用品費	120人	1,544,137円	72人	1,722,326円
体育実技用具費	0	0	0	0
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	110	149,272	28	68,580
校外活動費(宿泊を伴うもの)	7	20,111	12	48,540
新入学児童生徒学用品費等	30	1,773,780	28	264,000
修学旅行費	15	506,984	3	248,966
医療費	0	0	0	0
学校給食費	119	5,885,804	64	3,468,654
計	128	9,880,088	72	5,821,066

※平成29年度から新入学児童生徒学用品費等の入学前支給を実施している。数値には、新入学児童生徒分を含む。

(2) 特別支援教育就学奨励費

(令和5年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 員	金 額	人 員	金 額
学用品購入費	70	407,400円	31人	352,470円
校外活動費(宿泊を伴うもの)	6	7,875	7	12,377
新入学児童生徒学用品費等	5	127,775	8	222,271
修学旅行費	14	151,060	1	28,860
校外活動費 (宿泊を伴わないもの)	67	50,190	8	9,240
体育実技用具費	0	0	0	0
学校給食費	69	1,809,307	30	747,084
計	70	2,553,607	31	1,372,302

(3) 遠距離通学費補助

スクールバスの運行状況

(令和5年度)

	利用者数	委託金額
東小スクールバス	16	7,981,050
北小スクールバス	26	10,154,100
北小・大町中西回りAコース(源汲)スクールバス	21	7,907,625
北小・大町中西回りBコース(高瀬入)スクールバス	29	8,767,938
大町中社コーススクールバス	20	8,733,175
八坂小中スクールバス	28	4,486,350
美麻小中スクールバス	100	20,284,676
計		68,314,914

遠距離通学扶助の状況

(令和5年度)

	金額
小学校遠距離通学扶助費	547,800
中学校遠距離通学扶助費	4,868,100
計	5,415,900

10 中学校卒業後の状況

(1) 年度別状況

年度	卒業者			進学者			就職者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
平成 27	127人	118人	245人	126人	118人	244人	99.6%	0人	0人	0人	0.0%	1人	0人	1人	0.4%
28	122	140	262	122	140	262	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
29	118	133	251	115	133	248	98.8	2	0	2	0.8	1	0	1	0.4
30	118	134	252	118	133	251	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4
令和 元	115	109	224	115	108	223	99.6	0	0	0	0.0	0	1	1	0.4
2	91	113	204	91	113	204	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
3	117	89	206	115	89	204	99.0	0	0	0	0.0	2	0	2	1.0
4	115	96	211	113	96	209	99.1	0	0	0	0.0	4	0	4	1.9
5	101	97	198	99	97	196	99.0	0	0	0	0.0	2	0	2	1.0

(2) 学校別状況

	卒業者			進学者			就職者			その他の					
	男	女	計	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率
大町中学校	95人	86人	181人	94人	86人	180人	99.4%	0人	0人	0人	0.0%	1人	0人	1人	0.6%
八坂小中学校 (後期)	1	5	6	1	5	6	100.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
美麻小中学校 (後期)	5	6	11	4	6	10	90.9	0	0	0	0.0	1	0	1	9.1
計	101	97	198	99	97	196	99.0	0	0	0	0.0	2	0	2	1.0

※進学者には就職進学者を含む

(3) 進学の様況

(令和5年3月卒業)

学校名	進学者数	高校(公立)		高校(私立)		高専	その他	地域別			
		全日制	定時制	全日制	定時制			市内	郡内	県内	県外
大町中学校	180人	133人	3人	23人	0人	4人	17人	66人	20人	93人	1人
八坂小中学校 (後期)	6	3	0	1	0	0	2	2	0	3	1
美麻小中学校 (後期)	11	6	0	3	0	1	1	1	2	5	2
計	197	142	3	27	0	5	20	69	22	101	4

(4) 就職の様況

(令和5年3月卒業)

学校名	就職者数	就職地域別			産業別		
		市内	郡内	県内	第1次産業	第2次産業	第3次産業
大町中学校	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
八坂小中学校 (後期)	0	0	0	0	0	0	0
美麻小中学校 (後期)	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0

1 1 奨 学 金

(1) 奨学金の種類

ア 対象者

(ア) 一般奨学金（貸与型）

高等学校（高等専門学校等課程及び専修学校高等課程を含み、通信制の課程を除く）又は大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 成績が優秀であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと

(イ) 特別奨学金（給付・償還免除型）

大学（短期大学、高等専門学校専門課程及び専修学校専門課程を含み、大学院及び通信制の課程を除く）に在学する者で次の要件に該当する者に貸与を行う。なお、出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する場合は、償還を免除（給付）する。

- ① 市内に居住する者又は生活の根拠を有する者
- ② 前年度の学業成績証明書において5段階評価で、平均4.0以上であること
- ③ 品行方正であること
- ④ 経済的理由により修学が特に困難と認められること
- ⑤ 独立行政法人日本学生支援機構、県その他の団体から別に償還を要しない学資等の給付を受けていないこと
- ⑥ 出願者が卒業後6か月後から起算して貸与期間の倍の期間、市内に居住する予定であること

イ 貸付金額

高校生	月額	15,000円以内
大学生	月額	30,000円以内

ウ 返済方法

卒業後6か月後から貸付期間の倍の期間以内に返済する。ただし、特別奨学金については、要件を満たしている場合、返還を要しない。

(2) 貸付数

(人)

年度 対象区分	平成 13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
高校生	4	3	6	5	4	1	0	1	3	3
大学生	14	13	15	15	7	7	5	2	2	4
計	18	16	21	20	11	8	5	3	5	7

(人)

年度 対象区分	23	24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2
高校生	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学生(貸付)	2	2	1	1	2	2	1	2	1	2
大学生(給付)	—	—	—	—	—	—	0	2	2	2
計	4	2	1	1	2	2	1	4	3	4

年度 対象区分	3	4	5	6
高校生	0	0	0	0
大学生(貸付)	0	0	0	0
大学生(給付)	0	0	0	0
計	0	0	0	0

1 2 私学振興

(1) 私学に対する父母負担の軽減

(令和5年度)

補助対象者	基準人数	補助単価	補助人数	補助金額	備考
朝鮮学園在籍者	1人	9,000円	—	—	学園に補助
私立高校在籍者	1人	22,000円	85人	1,870,000円	保護者に補助

1 3 教員住宅

(令和6年5月1日現在)

住宅名	所在地	建設年度	床面積 (m^2)	戸数	使用料 円
幸町教員住宅	大町市大町4692-1ほか	平成10年	33.7	6	19,000
			78.3	6	29,000
館の内教員住宅	大町市社5610-2	昭和47年	43.6	6	8,000
俵町教員住宅	大町市大町5722-5	昭和60年	80.7	2	21,000
		昭和62年	80.7	2	21,000
		平成元年	45.6	2	14,000
桜田町教員住宅	大町市大町3841-1	昭和63年	80.7	1	23,000
旭町教員アパート (借上)	大町市大町2952-2ほか	平成14年	31.2	6	26,000
			50.2	6	29,000
大平教員住宅	大町市八坂1008-イ3	昭和53年	66.0	1	4,000
	大町市八坂1112	昭和56年	66.0	1	4,000
明野教員住宅	大町市八坂701-1	平成7年	56.0	4	20,000
北原教員住宅	大町市美麻11568	昭和54年	45.5	2	3,200
前田教員住宅	大町市美麻11727-1	昭和55年	45.5	2	3,200

14 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

(1) コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域の方が参画できる仕組みです。コミュニティ・スクールには、保護者や地域住民などから構成される「学校運営協議会」が設置され、校長が作成する学校運営の「基本方針の承認」を通して、学校や地域、子どもたちが抱える課題に対して関係者が当事者意識を持ち、「役割分担をもって連携・協働による取組」が行われています。学校運営協議会の主な機能として、

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ・学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができる
- ・教職員の任用に関して、教育委員会規則で定めた事項について、教育委員会に意見を述べるができる

の3つがあります。大町市では、この他に学校の自己評価に対して、「学校関係者評価」を行う役割を担っています。これらを通じて、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営に反映させることができ、学校と地域が一体となって「地域と共にある学校づくり」の実現に向けて取り組んでいます。

令和2年度から市内すべての小中学校・義務教育学校が「学校運営協議会」を設置し、「地域と共にある学校づくり」を推進しています。

(2) 地域学校協働活動とは

地域学校協働活動とは、地域の皆さん、保護者、地域の団体など幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互のパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

大町市では、全ての学校に設置されている地域の方や保護者の方で構成されている学校支援ボランティア代表者が、地域学校協働活動の拠点となり、子どもたちの学びや活動を支える取り組みを行っています。各学校に配置されている地域コーディネーター（8名）が、学校と地域をつなぐコーディネーターとして、学校への様々な支援活動や協力活動の取組を展開しています。読み聞かせや授業支援（家庭科のミシン指導、着付け指導、習字指導など）、学校の環境整備（落ち葉拾い、花壇定植）、登下校の見守りなどの支援活動の他に郷土学習や職場体験学習を連携して取り組んだり、放課後子ども教室を開設したりして、学校と地域が一体となって子どもたちの学びや体験の充実を図っています。

地域・保護者の方による学校との協働活動の様子



放課後子ども教室



花壇づくり



七夕人形づくり



ガードレール磨き

1 5 教育支援委員会

教育支援委員会は、大町市教育委員会の諮問に応じて、次の事項について調査審議する機関です。

- (1) 病弱、発育不完全その他やむを得ない事由による児童生徒の就学義務猶予又は免除等の判断に関すること。
- (2) 知的障がいその他心身に障がいのある者で、障がいの状況に応じたふさわしい教育を行うことが適当であると認められる者の判断に関すること。
- (3) その他、適切な教育支援に関し、教育委員会が必要と認める事項のこと。

☆相談件数

(令和5年度)

区 分	取扱件数	相 談 結 果					
		通常学級	通級指導	特別支援学級	特別支援学校	就学猶予	その他
在 籍 者	43	4	(60)	37	2	0	0
来 入 児	45	18		21	6	0	0
計	88	22	(63)	58	8	0	0

※通級指導教室は外数

1 6 特別支援教育

(1) 市内小中学校における特別支援学級の児童生徒数の状況 (R5. 9. 1現在)

学校名	児童生徒数			学級数		
	総数	知障	自・情障	総数	知障	自・情障
大町東小学校	131	1	18	10	1	3
大町西小学校	258	3	20	14	1	3
大町南小学校	242	8	20	13	1	3
大町北小学校	247	3	26	15	1	4
八坂小中学校(前期)	52	0	3	7	0	1
美麻小中学校(前期)	65	2	6	8	1	1
小学校計	995	17	93	67	5	15
大町中学校	498	11	26	8	1	5
八坂小中学校(後期)	15	0	3	4	0	1
美麻小中学校(後期)	34	1	8	5	1	1
中学校計	547	12	37	17	2	7

(2) 市内から特別支援学校へ通っている児童生徒数の状況 (R5. 5. 1現在)

学校名	小学部	中学部	高等部本校	高等部分室等	合計
安曇養護学校	7	4	13	5	29
松本盲学校					0
花田養護学校					0
松本ろう学校					0
松本養護学校 信濃学園分室		1			1
合計	7	5	13	5	30

(3) 市内小中学校児童生徒の発達障がいに係る状況 (R5.9.1現在)

区 分	小学校	中学校	全体
発達障害診断を受けた児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	150名 (15.1%)	85名 (15.5%)	235名 (15.2%)
障害判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる児童生徒数 (全児童生徒に対する割合)	調査なし		
合計 (全児童生徒に対する割合)	150名 (15.1%)	85名 (15.5%)	235名 (15.2%)

(4) 障がい区分別児童生徒数の状況 (R5.9.1現在)

【小学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学習障がい(LD)	通常学級	0	0	0	1	1	0	2
	特支学級	0	0	1	2	0	2	5
	合計	0	0	1	3	1	2	7
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	0	0	2	1	1	3	7
	特支学級	2	0	1	3	1	3	10
	合計	2	0	3	4	2	6	17
自閉症スペクトラム障がい(ASD)※広汎性発達障害(PDD)、高機能自閉症(HFPDD)アスペルガー症候群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	4	11	4	4	5	2	30
	特支学級	3	13	8	5	5	4	38
	合計	7	24	12	9	10	6	68
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、複数の診断・判定	通常学級	1	4	0	3	4	3	15
	特支学級	2	5	11	8	8	10	44
	合計	3	9	11	11	12	13	59
障がい判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる児童数		※	※	※	※	※	※	※

※調査なし

【中学校】

診断・判定名	学級種	1年	2年	3年	合計
学習障がい(LD)	通常学級	3	2	0	5
	特支学級	1	1	1	3
	合計	4	3	1	8
注意欠陥・多動性障がい(ADHD)	通常学級	7	9	5	21
	特支学級	0	1	1	2
	合計	7	10	6	23
自閉症スペクトラム障がい(ASD)※広汎性発達障害(PDD)、高機能自閉症(HFPDD)アスペルガー症候群、CD(行為障がい)を含む	通常学級	6	5	4	15
	特支学級	4	5	6	15
	合計	10	10	10	30
その他 ※反抗挑戦性障がい(ODD)、複数の診断・判定	通常学級	3	0	1	4
	特支学級	6	9	5	20
	合計	9	9	6	24
障がい判定は受けていないが特別な支援が必要と思われる生徒数		※	※	※	※

※調査なし

17 キャリア教育

大町市では市内の幼稚園及び保育園、小学校及び中学校並びに高等学校が連携して行うキャリア教育を推進するため、大町市キャリア教育推進協議会を設置して子どもたち一人ひとりの社会的及び職業的自立に向けた取組を支援しています。また、市独自に教育委員会内にキャリア教育指導員を配置して、中学校卒業後、高校を中退したり、家にひきこもったりしている若者、家庭への支援（就職や進学相談・支援）を行っています。

(1) 活動の重点

- ア 児童生徒の自己有用感を高めるキャリア・パスポート活用の推進
 - 指導資料の利用を促す
- イ 小学生の職場見学及び中学生の職場体験学習の充実
 - 生徒の希望を叶える職場体験学習の実施
 - 職場見学、社会見学を実施
- ウ キャリア教育指導員による若者支援の充実
 - 高校生指導担当者との情報交換の実施
 - 市内教頭会で卒業生の動向や不登校等の児童生徒の状況等の情報交換
 - 就労や進学支援のために、該当する各種機関と随時連携して取り組む
 - 不登校の児童生徒やひきこもり者への支援研修会の実施

(2) 活動内容

- 令和6年度大北地区高等学校生徒指導担当者とのキャリア支援懇談会（年2回実施）
- 市内中学校・高等学校キャリア教育担当者会議（年1回実施）
- 高等学校生徒指導及び学級担当とのキャリア支援のための懇談会（1学期中に各校へ訪問）
 - ・エクセラン高校、むつみ高校、つくば開成高校、KTC高校、筑摩高校、松本国際高等学校
 - ・大町岳陽高校、白馬高校、池田工業高校（定時制含）
- 市内中学生の職場体験学習への支援
- 令和5年度大町市キャリア教育研修会開催
- 令和5年度大町市キャリア教育推進協議会開催

18 教育支援センター

教育支援センター（アルプスの家）では、学校と家庭の連携を密にしながら、児童生徒一人ひとりの状況に応じた支援を行います。それぞれの子ども状態を見ながら、一日の日課や活動内容を工夫し、集団活動や学ぶことの楽しさ、充実感が実感できるよう支援しています。

(1) アルプスの家

- 設置場所 大町市大町4710番地
- 電話番号 0261-23-6418
- 開所時間 月曜日～金曜日 9時から15時30分
- 令和5年度利用者数（在籍数）

	男	女	計
小学校	3人	5人	8人
中学校	4人	13人	17人
合計	7人	18人	25人

19 不登校・いじめの状況

(1) 不登校児童生徒の状況

【小学校】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成30年度	1	1	2	1	3	6	14
令和元年度	0	1	3	5	3	4	16
令和2年度	0	0	1	3	3	6	13
令和3年度	1	0	0	6	6	8	21
令和4年度	2	2	0	1	4	7	16
令和5年度	1	5	7	5	3	6	27

【中学校】

年度	中1	中2	中3	合計
平成30年度	4	11	16	31
令和元年度	3	9	9	21
令和2年度	7	8	4	19
令和3年度	8	13	5	26
令和4年度	14	22	19	55
令和5年度	15	21	30	66

(2) いじめの認知件数

【小学校】

年度	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
平成30年度	41	26	13	31	20	15	146
令和元年度	32	20	23	10	19	21	125
令和2年度	9	15	11	8	11	10	64
令和3年度	21	8	8	8	18	28	91
令和4年度	52	37	10	12	10	38	159
令和5年度	42	59	34	46	28	24	233

【中学校】

年度	中1	中2	中3	合計
平成30年度	8	8	2	18
令和元年度	10	11	6	27
令和2年度	8	6	1	15
令和3年度	15	3	2	20
令和4年度	12	8	3	23
令和5年度	2	1	2	5

20 いじめ防止等の基本方針

学校におけるいじめの問題は、これまでは生徒指導と人権教育の両面を中心として、その防止に取り組んで来たが、平成24年度の大津市での事件を受けて、いじめ防止に向けた一層の取り組みが求められている。そこで大津市では、「いじめ防止対策推進法」と「国の基本方針」及び「長野県いじめ防止等のための基本方針」を踏まえ、「大津市いじめ防止等の基本方針」を平成27年に定め、これに基づいて子どもたちのいじめ防止に取り組んできた現状と成果課題に対応し、平成31年に改定しました。

(1) いじめ防止等の基本的な方向

いじめは、全ての児童生徒に関係する問題である。いじめ防止等の対策は、すべての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにすることが第一である。いじめによって子どもが辛く悲しい思いをすることがないようにするため、学校において、いじめ問題を一人の教職員が抱え込むことなく、学校が一丸となって組織的に対応することが必要です。

○いじめの認知

いじめられた児童生徒の気持ちに寄り添い、ささいなけんかやトラブルであっても軽視せず、いじめの可能性のある事象について広く認知の対象とすることが必要です。

○いじめ理解

いじめは、どの児童生徒にも、どの学校でも起こりうるものです。「暴力を伴わないいじめ」であっても、繰り返されたり、多くの者から集中的に行われたりすることで、生命や身体に重大な危険を生じる場合もあります。集団全体にいじめを許さない雰囲気形成されるようにすることが必要です。

(2) いじめ防止等に関する基本的な考え方

○いじめを未然に防止するために

全ての児童生徒を対象としたいじめの未然防止の視点に力を置くことが重要です。保護者や地域では、学校の取組を理解し、日常的な家庭教育や地域の健全育成の取組を通じて子ども達を見守り、関わっていくことが大切です。

○いじめの早期発見のために

いじめの早期発見は、いじめへの迅速な対処が前提であり、学校、保護者、地域の大人が連携し、児童生徒のささいな変化に気づくことが必要です。

○いじめに適切に対応するために

教職員が一人で抱え込まず、速やかに組織として対応することが不可欠です。

(3) いじめ防止等に向けた取り組み

◇市教育委員会の取組

未然防止	早期発見・早期対応	いじめの対応
○学校教育活動充実に対する支援 ・市学校人権教育推進校の指定 ・いじめ防止等の研修の実施 ・児童生徒に対する情報モラル教育の推進 ○関係機関との連携推進 ○広報・啓発活動	○早期発見・早期対応の取組への支援・助言 ・学校の教育相談、生徒指導体制への支援・助言 ・学校のいじめを含む生徒指導上の諸問題を日常的・定期的に把握 ○相談体制整備 ・電話いじめ相談ホットラインの設置 ・外部指導者を活用し、専門的な助言や問題解決に向けた支援	・いじめの現状把握と適切な指導・助言 ・いじめ報告を受けた時、学校への支援・措置・調査の実施

- ・学校のいじめ防止等の対策の実施状況を学校評価の評価項目への位置づけを指導・助言
- ・教職員が児童生徒と向き合う時間の確保のための学校マネジメント体制づくりへの支援
- ・学校の教育活動や学校運営への保護者や住民の参画機会の促進

◇学校の取組

未然防止	早期発見・早期対応	いじめの対応
○いじめの起きにくい学校・学級づくり ・日々の授業の充実 「主体的・対話的で深い学び」 道徳教育の充実 ・児童生徒が主体的に取り組む活動の充実 ・体験活動の充実 ・教職員の研修 ・「いじめを許さない」姿勢の周知 ・児童生徒のいじめ防止等のための主体的活動の支援	○ささいな兆候であっても、早い段階から複数の教職員で関わり、積極的に認知 ・日常活動の中で児童生徒の様子に目配り ・生活記録を通して児童生徒の悩み等の把握 ・安心して相談できる窓口の工夫と周知 ・教育相談日や相談時間の設置 ・定期的なアンケート調査等を活用 ・校内の組織を中心に情報共有	○教職員が一人で抱え込むことなく全職員が組織的に対応 ・いじめの発見・通報を受けた時の対応 ・いじめの事実確認と報告 ・いじめられた児童生徒、その保護者への支援 ・いじめた児童生徒への指導と保護者支援 ・SNS上のいじめ対応

・いじめが解消している状態の要件について

- ① いじめに係る行為が少なくとも3ヶ月を目安として止んでいること
- ② 被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないこと
 - ・教職員が児童生徒と向き合う時間を確保するため、校務の効率化に努める。
 - ・学校いじめ防止基本方針において、いじめ防止等のための取組に係る達成目標を設定し、取組の実施状況を学校評価の評価項目に位置づけ、評価結果を踏まえ、PD SAサイクル(Sはスタディー)で取組を改善する。

◇学校と家庭、地域、関係機関・関係団体が連携したいじめ防止等の取組

・保護者の役割

保護者は、子どもの教育について第一義的責任を有することを認識し、子どもが安心して生活できる環境を整え、温かな人間関係の中で、思いやりの心や規範意識、正義感を育む。

・地域や関係機関・関係団体との連携

学校基本方針等について地域や保護者の理解を得ることで、地域や家庭に対して、いじめ問題の重要性の認識を広めるとともに、学校運営委員会・学校運営協議会を活用するなどして、学校と家庭、地域が連携・協働する体制を整える。

4 重大事態への対応

いじめの重大事態については、本基本方針及び「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン（平成29年3月文部科学省）」「不登校重大事態に係る調査の指針（平成28年3月文部科学省）」に基づき、適切に対応することが必要

学校の対応	市・教育委員会及び学校の対応	市長の対応
<p>○学校は、「疑い」が生じた段階で調査を開始</p> <p>○不登校重大事態の場合、年間30日の目安にかかわらず市教育委員会に報告・相談するとともに、迅速に調査に着手</p> <p>・速やかに「学校におけるいじめ防止等の対策のための組織」を中核に、対応チームを組織</p> <p>・関係児童生徒への事実確認と関係児童生徒の保護者への迅速な連絡、連携した支援・指導</p> <p>・関係機関への支援を要請し、連携体制を構築</p> <p>・いじめられた児童生徒の安心・安全を確保</p> <p>・いじめた児童生徒への適切な指導</p>	<p>・重大事態発生の場合、学校は速やかに市教育委員会に報告、教育委員会は市長に報告</p> <p>・市教育委員会は調査の主体を判断し、市教育委員会又は学校の下に、速やかに組織を設け、事実関係を調査</p> <p>・調査組織 市教委主体…重大事態に関する調査委員会を設置 学校主体…学校いじめ防止等対策委員会」を母体に、必要に応じて専門家を加える。市教育委員会は、調査組織設置について指導・助言</p> <p>・調査方針及び調査結果の提供及び報告</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[市教委・学校] -- "調査方針・結果提供・報告" --> B(保護者) </pre> </div> <p>・調査結果を踏まえた措置</p>	<p>○次の場合、再調査を検討する（判断基準）</p> <p>・調査等により、調査時には知り得なかった新しい事実が判明した場合、又は新しい重要な事実が判明したものの十分な調査が尽くされていない場合</p> <p>・事前に被害児童生徒・保護者と確認した調査事項について、十分な調査が尽くされていない場合</p> <p>・市教育委員会及び学校の対応について十分な調査が尽くされていない場合</p> <p>・調査委員の人選の公平性・中立性について疑義がある場合</p> <p>○再調査は、再調査委員会が実施</p> <p>・委員は、公平性・中立性・客観性を確保</p>

2 1 児童・生徒の家庭における生活習慣への取り組み

今日の情報化社会や多様化社会と呼ばれるような社会システムの大きな変化は、児童・生徒を取り巻く環境にも様々な影響を及ぼしてきています。

特に、多機能性を持つメディア機器であるスマートフォン等の急速な普及に伴い、無料通話アプリやSNS、オンラインゲーム等のいわゆるソーシャルメディアにより高い利便性が得られる一方、長時間利用による生活習慣の乱れや、不適正な利用による青少年の犯罪被害、いじめやプライバシー上の問題等につながるケースも見られることから、青少年がこのようなリスクや対応策を理解した上で、スマートフォン等を正しく利活用できる環境を整えることが、従来にも増して重要となっています。

この様な背景から、家庭における規則正しい生活の確立とテレビやゲーム、携帯電話等の使用をはじめとする生活習慣の改善について、その解決を家庭だけに委ねるのではなく、学校、家庭、そして地域と行政が一体となって取り組むため、「家庭における児童・生徒の生活習慣改善検討委員会」を平成25年度に設置し、「児童・生徒の家庭生活習慣の確立とメディア漬け危機への対策」への取り組みを、大町市青少年育成市民会議、大町市子ども会育成連絡協議会、大町市PTA連合会、大町市教育委員会と連携、協働して展開しています。

○「きらり おおまち サンプラン」

児童・生徒の生活習慣や情報機器の利用状況等の実態調査を基に、望ましい生活習慣の確立を促すため、親子でより良い生活習慣づくりに取り組む指針として「きらり おおまち サンプラン」を作成し、市内全戸に配布するとともに、機会あるごとに周知活動に取り組んでいます。

【こころづくり・からだづくり・リズムづくりの3つのプラン（サンプラン）をキャッチフレーズに取り組みを進めています】

○「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」

スマートフォン等を正しく利用するための家庭におけるルールづくりを推奨するため「インターネットの安全な利用に関するリーフレット」を作成し、幼稚園、保育園、小中学校において、全児童・生徒に配布しています。

2.2 通学の安全確保に関する取り組み

(1) 子どもの安全を守る地域連絡会

平成17年に小学校区ごとに、地域の関係諸団体に参画いただき発足。

(2) 安心安全マップの作成・公開

ア 学区内の交通安全上の危険・注意箇所等の情報を地図上に「安全マップ」として作成し、各家庭に配布して注意喚起を図る。

イ 「安全マップ」の情報を集約し、GIS（地理情報システム）を活用した「おおまち子ども安心・安全マップ」を平成23年に構築、インターネット上に公開し、情報を学校や地域間等で共有し、さらなる児童生徒の安全確保の徹底を図る。

○安心・安全マップ掲載箇所数

学校名	交通に気をつけるところ	水路に気をつけるところ	冬季に気をつけるところ	その他の危険に気をつけるところ	計
東小学校	37	21	8	6	72
西小学校	52	8	8	5	73
南小学校	16	38	7	2	63
北小学校	52	29	9	10	100
美麻小・中学校	4	2	6	1	13
旧第一中学校	13	7	9	2	31
大町中学校	10	1	1	0	12
八坂小中学校	14	16	1	10	41
計	198	122	49	36	405

(3) 緊急合同点検の実施

ア 平成24年に、小学校、教育委員会、大町警察署、交通安全の関係機関、道路管理者が緊急合同点検を実施。

各小学校から40項目に及ぶ危険箇所の報告を受け、見通しの悪い交差点や、歩道がなく狭い道路で交通量の多い場所、道路脇に大きな水路がある場所などの現地調査を行い、関係機関や地域と連携し、計画的に危険箇所の改善に取り組み、40箇所中32箇所について対策を実施。

イ 平成26年度に、再度各小学校区の合同点検を実施し、現在危険箇所の改善を進めている。

ウ 平成30年度より交通安全に加え、防犯の観点による合同点検も実施し、児童生徒の通学全般の安全確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進している。

○対策状況（令和6年3月現在）

学校名	危険箇所総数	対策済み箇所数	一部対策済及び対策予定箇所数	対策未定箇所
東小学校	30	26	3	1
西小学校	28	23	5	0
南小学校	19	16	3	0
北小学校	35	27	7	1
八坂小中学校	10	7	3	0
美麻中小学校	9	7	2	1
総数	131	94	27	10

※対策予定箇所には、複数年にわたって計画的に整備するものも含む。

（４）大町市通学路交通安全プログラムの策定（H27.3策定）

【通学路の交通安全の確保に向けた取組みの基本的方針】

- 学校及び保護者、道路管理者、警察署等の関係者が連携して、児童及び生徒の通学路における交通安全の確保を図り、着実かつ効果的な取組みを推進するため、大町市通学路安全推進会議を平成26年設置。
- 委員構成
長野国道事務所、大町建設事務所、大町警察署、長野工業高等専門学校、大町市PTA連合会、大町西小学校学校運営協議会、大町市校長会及び庁内関係部署（学校教育課、市民課、建設課、子育て支援課、危機管理課）から選出された13名で構成。
- 今後の取組み
小学校区ごとに継続的に合同点検を実施し、対策実施後の効果把握、対策の改善・充実に図るため、PDCAサイクルによる取組みを実施。

【通学路の安全確保のためのPDCAサイクル】



2 3 学校給食

(1) 学校給食の基本方針

児童生徒に安全で安心な学校給食を安定的に提供するため次のとおり基本方針を定める。

- 児童生徒の健康の増進、体位の向上及び正しい食習慣の形成を図る。
- 栄養管理や望ましい食生活形成に関する家庭の教育力の活性化を図る。
- 食についての衛生管理を体験させる。
- 食や栄養に関する正しい知識を身につけ、自らの食生活を判断する能力を習得させる。
- 地域の水や農作物などの豊かな資源や自然環境、地域内循環について知り、自然の恵みや生産に係る人々へ感謝する心を育む。
- 地産地消の推進及び郷土食などを通じて、地域の食材や食文化を理解し郷土愛を育む。
- 児童生徒に集団生活を体得させ、協働・協調の精神を身につけさせるとともに、児童生徒間や教師と児童生徒の心の触れ合いを育む。

(2) 学校給食の重点施策

上記の基本方針を実現するため次の施策を行う。

- 当面の間、市立学校では「自校直営方式」(平成18年市村合併による八坂共同調理場を除く)とする。
- 施設状況を調査し、効率的で計画的な施設整備を行う。
- 「大町市食育推進計画」を基本とした食育の推進に努める。
- 衛生管理については、調理員、栄養士を対象とした講習会、研修会を開催のほか食品管理、作業管理、事故発生時の適切な対応等についてマニュアル化を進めている。
- アレルギー児童生徒の対応については、令和3年度に「大町市立学校給食における食物アレルギー対応基本方針」を定め、食物アレルギーを有する児童・生徒にも給食を提供するため、安全性を最優先に考え、原因食物の除去対応を原則とした対応を行っている。また、校内での食物アレルギー対応委員会等の設置や医療機関との連携など組織的な対応に努める。
- 地産地消については、地域の生産者や生産組合等と連携を図り、積極的に取り組む。

(3) 学校給食の実施状況

令和6年5月現在

学校名・施設名	給食提供数 (教職員分を除く)	一食当たり給食費
大町東小学校	117食	275円
大町西小学校	250食	275円
大町南小学校	229食	275円
大町北小学校	238食	275円
八坂小中学校	前期 49食	前期 275円
	後期 17食	後期 305円
美麻小中学校	前期 63食	前期 275円
	後期 34食	後期 305円
大町中学校	476食	305円

※平成31年4月から学校給食費を公費化。市教育委員会事務局で徴収管理。

Ⅲ 生涯学習推進と

社会教育



いきいき学習 エンジョイライフ 大町

生涯学習推進と社会教育

基本方針

社会教育とは、教育基本法第12条で「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」とされており、社会教育法第2条で「学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）」と規定されています。

また、生涯学習とは、一人ひとりが健康で豊かな生活を営むことや、仕事や生活に役立つ知識や技術を身につけ、生きがいのある人生を送るために、自発的意思に基づき、自分に適した方法を選んで生涯を通じて行う学習とされています。

生涯学習と社会教育は相互に関連性が深く、とりわけ生涯学習は社会教育をはじめとした教育諸活動をすべて包括した概念です。

生涯学習にはあらゆる学習活動が含まれています。学校や社会の中で行われている意図的・組織的なものから、趣味、資格取得、企業内研修、スポーツ活動、レクリエーション活動、芸術・文化活動、ボランティア活動、自然体験活動、地域づくり活動、世代間交流活動など幅広いものがあります。

学習の方法には、読書、テレビ、通信教育、インターネットなどを利用して行う個人の学習もあれば、学校や公民館、民間機関などで行われるものもあります。したがって私たちは分野や程度の違いはあるとしても、だれでも既に生涯学習をしており「学び」続けているといえます。

「学び」を楽しみながら続けることで、個人の達成感や仲間との充実感、一体感などが私たちの生活の支えになり、いきいきとした豊かな人生が育まれます。また、「学び」の成果を地域で生かすことは地域社会の活性化やまちづくりの大きな力になります。

今後、人々が充実した人生を築くためには、生涯にわたる自主的な「学び」を通し、その成果を生かすことのできる生涯学習社会の実現が求められています。こうした社会を実現するための重要な機能として、家庭教育、学校教育、社会教育が相互に連携・協力していく必要があります。

生涯にわたって、主体的に、かつ快適に学び、その成果を生かせる生涯学習社会の実現に向け、7期まで策定された大町市社会教育計画を包含した新たなプランとして、第5次大町市生涯学習推進プランを策定し3つの基本方針を掲げ、全市的に取り組んでいます。

- 市民一人ひとりに対応した「学び」の基盤と環境の整備
- 生涯をつうじライフステージに応じた継続的な学びの支援
- 未来に向けたコミュニティの再生と活性化

1 生涯学習・社会教育

高度情報化や少子高齢化による社会構造や家庭生活の変化、価値観の多様化、そして自然災害等で急激な変化を遂げている社会環境において、生涯学習社会の実現とともに、地域コミュニティの再生という面からも社会教育の力が従来以上に必要となっています。

学習ニーズを的確に把握し、自主的かつ快適な活動推進の積極的支援とともに、「教育」や「学び」により「生きる」力を身に付け、生涯学習の理念である「一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かることができる社会の実現」を図ります。

1 主要な施策の実施状況【令和5年度】 ※文化財・公民館・図書館事業については別途掲載

事業名及び内容	事業効果、成果
「二十歳の門出」の開催	8月15日開催、参加者191人
北アルプス雪形まつり児童生徒作品表彰式	6月10日開催、参加者12人
ギャラリー・いーずらの企画展運営	開館日数64日、入館者数2,176人
大町公民館分室の運営・管理	開館日数293日、利用者数14,628人
蔵の音楽館の運営・管理	開館日数293日、利用者数223人
エネルギー博物館運営補助	入館者数6,789人
公民館分館整備助成	3件
子どもセンター事業「がったつうしん」発行	4回

2 第5次大町市生涯学習推進プラン

(1) 計画期間 令和4年度～令和8年度

(2) 基本テーマ ～人を想い、まちを創る～「学び」で自ら切り拓（ひら）くしあわせな未来

(3) プラン体系 次ページ参照

プラン体系図

基本テーマ

「学び」で自ら切り拓(ひら)くしあわせな未来
 ～人を想い、まちを創る～

推進の基本方針

市民一人ひとりに対応した「学び」の基盤と環境の整備

生涯をつうじ
 ライフステージに応じた継続的な学びの支援

未来に向けた
 地域コミュニティの再生と活性化

基本計画

- 1-1 多様な社会教育の充実と促進
- 1-2 指導者・推進役の養成
- 1-3 学習情報提供体制の充実
- 1-4 生涯学習関連施設の機能強化

2-1 ライフステージに応じた学習活動の支援

- 3-1 人権意識の向上と地域で育む学びの推進
- 3-2 生涯学習成果の活用
- 3-3 住民の手による地域づくりの推進
- 3-4 交流活動の推進
- 3-5 SDGsの推進(持続可能な地域づくり)

具体的な方策

- ①社会・地域情勢の変化に応じた学習の推進
- ②文化芸術活動の充実
- ③山岳文化の振興
- ④文化財の保護・活用と伝統文化の保存継承
- ⑤読書活動の充実
- ⑥スポーツの推進・体制の充実
- ⑦産業・就業・勤労に関する学習活動と労働環境の充実
- ①指導者の発掘・養成
- ②ボランティアの育成・活用と市民活動支援
- ①多様な学習情報の提供
- ②学習相談の充実
- ①施設の整備・充実
- ②施設運営の向上
- ③学習の総合的推進拠点
- ①乳幼児期<生活習慣の確立>
- ②少年期<さまざまな体験の場、体験の機会>
- ③青年期<知識や教養を身に着ける機会>
- ④成人期<社会活動への参加>
- ⑤高齢期<生きがいづくり>
- ①人権教育・啓発の推進
- ②道徳教育の推進・モラルの向上
- ③青少年学習活動の充実
- ④少子高齢化に対応した学習機会の充実
- ⑤コミュニティ・スクール、地域学校協働活動本部の推進
- ①学習成果の発表
- ②学習成果の活用
- ①地域が連携したまちづくりの推進
- ②まちづくりに関する学習活動の推進
- ③少子高齢社会への地域支援の推進
- ①国内交流の推進
- ②国際交流の推進
- ③国際理解を深める学習活動の充実
- ①SDGsに関する学習の推進
- ②郷土の自然に関する学習機会の充実
- ③環境保全に関する学習の推進

2 青少年

次代を担う青少年の健全育成を図ることを、社会全体の課題としてとらえ、家庭、学校、地域社会が一体となった市民ぐるみの取り組みとして根付くよう努め、青少年育成市民会議、子ども会育成会活動の活性化、青少年センターにおける活動等の充実を図ります。

(1) 重点施策

ア 青少年の健全育成

「地域の子どもは 地域で育てる」を基調として、市民の理解と協力を得ながら、総合的かつ効果的な取り組みを推進します。

- (ア) 青少年育成市民会議を通じた市民ぐるみの運動の推進
- (イ) 子ども会育成会等関係団体との連携、組織強化と活性化
- (ウ) 青少年センターによる相談業務、補導活動、あいさつ運動等の充実
- (エ) 青少年リーダーの育成

イ 市民の連帯意識の高揚

明るくおもしろいのある心を育て連帯の気風を高めるため、市民総参加による「あいさつ運動」を進めます。

(2) 主な事業

ア 青少年の健全育成

○青少年関係

- (ア) 地域子育てセミナーや家庭教育懇談会の開催
- (イ) ジュニア・ユースリーダー研修会の開催
- (ウ) 青少年リーダーの育成
- (エ) 全国子ども会安全共済会への加入
- (オ) 青少年育成啓発事業推進
- (カ) 小・中・高生徒指導連絡会開催
- (キ) 高等学校への学校訪問の実施
- (ク) 子どもセンター事業の展開による、情報収集・情報提供及び、相談業務

○補導関係

- (ア) 街頭補導の実施
- (イ) 地域における青少年の健全育成と非行防止
- (ウ) 環境浄化活動の実施
- (エ) 関係機関との懇談会、連絡会開催
- (オ) 電話相談、面接相談の実施
- (カ) 青少年センターだよりなどの広報啓発活動

イ 市民の連帯意識の高揚

自治会・学校・企業などの協力を得ながら、市民総参加による「あいさつ運動」の推進

(3) 主要な施策の実施状況【令和5年度】

事業名及び内容	事業効果、成果
補導委員街頭補導活動	活動回数 56 回、延べ参加人数 343 人
青少年育成市民大会の開催	全体会・講演会を実施 参加人数 154 名
ジュニア・ユースリーダー研修事業	年 8 回実施 登録者(ジュニア 40 名、ユース 12 名)
子ども体験学習号運行業務	運行回数 11 回、利用者数 295 人

3 文化財

当市は、県下でも国宝・重要文化財をはじめ、県や市指定の文化財を数多く有する文化財の宝庫であり、この貴重な文化財を保護し、後世に伝えていくことは市民の責務です。そのために、広く市民の理解を求め、意識の高揚を図るとともに、新しい地域文化の創造のため、大町市文化財センターを中心に、積極的な活用を図ります。

(1) 重点目標

ア 文化財の保存

- ・文化財の保存修理及び環境整備の推進
- ・文化財保護補助事業の促進

イ 文化財保護意識の高揚・活用

- ・文化財の見学会や講演会の実施
- ・文化財・自然等の学習活動支援題材提供
- ・文化財センター・民俗資料館・旧中村家住宅を活用した文化財保護意識の啓発

ウ 文化財の調査

- ・遺跡緊急発掘調査（遺跡の記録保存）、学術発掘調査の実施
- ・市内の文化財・古文書調査の充実
- ・関係機関と連携しての文化財調査の推進

(2) 実施事業（令和5年度）

ア 文化財の保存、環境整備

- ① 文化財の指定 長野県宝指定 1件
 - ・山の神遺跡出土品 有形文化財 考古資料
令和5年11月30日指定 押型文土器ほか4点 異形部分磨製石器41点 計45点
- ② 指定文化財保護補助事業 4件
 - ・若一王子神社流鏝馬行事
 - ・若一王子神社三重塔修理
 - ・若一王子神社社叢危険木伐採・剪定
 - ・盛蓮寺防火水槽（ポンプ庫）屋根塗裝修繕
- ③ 指定文化財保全・環境整備事業 7か所
 - ・居谷里湿原
 - ・旧中村家住宅
 - ・大塩のイヌザクラ
 - ・上原遺跡
 - ・新郷1号古墳
 - ・千見山城跡
 - ・藤尾覚音寺
- ④ 県文化財パトロール 4月～10月 7回実施 13か所（国・県指定24件）

イ 文化財保護意識の高揚・活用

- ① 文化財講座 5月～11月 7回開催 参加者209人
- ② 観察会 居谷里湿原自然観察会 5月3～5日 参加者54人（湿原来訪者241人）
- ③ 文化財防火デー消防訓練 1月28日
八坂・金熊惣社 関係者約100人参加（八坂地区初実施）
- ④ 国重要文化財旧中村家住宅の公開 4月～11月 有料入館者462人
- ⑤ 市内文化祭文化財展の実施 美麻地区・大町市文化祭
- ⑥ 文化財関係団体等の活動支援 木舟城研究会、塩の道ちょうじや ほか
- ⑦ 地域観光の振興 観光協会穴場ツアー「木舟城見学ツアー」の開催
- ⑧ 指定文化財の管理状況の把握と所有者への助言等
- ⑨ 県埋文センター企画「縄文カード」第2弾の作成・配布
- ⑩ 絵地図のデジタルアーカイブ化
- ⑪ 文化財センター来館者・保管資料見学・閲覧利用者 360人
- ⑫ 職員出張講座参加者 364人（市外等含む）

ウ 文化財の調査

- ① 開発事業に伴う遺跡発掘調査 高根遺跡
- ② 開発事業に伴う試掘調査 なし
- ③ 未指定文化財建造物調査 信州大学工学部梅干野研究室 本通り周辺歴史的建造物調査
- ④ 市内土蔵収蔵物等調査 古文書、民俗資料等



第2回文化財講座「黒部ダム竣工60周年記念 立山芦峯寺のうば尊と西正院大姥堂の大姥尊伝承」
（平公民館共催／大町市プロモーション委員会後援）



第5回文化財講座「仙人岩はどこから来たか」（平公民館共催）



第7回文化財講座「八坂の天空の城 ふたつの「じょうがみね」に登る」（八坂公民館共催）

(3) 指定文化財

ア 国指定文化財

注：重文＝重要文化財 天記＝天然記念物 (令和6年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
仁科神明宮 本殿・中門（前殿） S28. 3. 31	国宝	2棟	仁科神明宮 社1159 （宮本）	本殿は桁行3間、梁間2間、神明造、檜皮葺。 中門は四脚門、切妻造、檜皮葺。古式を 遺す。釣屋附属指定。
もくぞうむなふだ 木造棟札 S25. 8. 29	重文	27枚	仁科神明宮 社1159 （宮本）	仁科神明宮にある20年に一度の式年遷宮 の際の棟札。永和2年（1376）から安政3年 （1856）までの27枚が指定。
みしょうたい 御正体 S36. 12. 17	重文	5面	仁科神明宮 社1159 （宮本）	銅製円盤に神明宮の本地仏大日如来等を取り 付けた懸仏。11面が附属指定。裏面に年代銘 のあるものもあり。
じょうれんじ 盛蓮寺観音堂 S24. 5. 30	重文	1棟	盛蓮寺 社2937-1 （曾根原）	桁行3間、梁間3間の寄棟造で、松本平最古の 木造建築物。室町時代の建立。もとは山寺 地籍にあった堂を移築したものと伝わる。
てつわにぐち 鉄鰐口 S32. 2. 19	重文	1口	木舟集落 社4886-2（木舟） 保管は山岳博物館	鉄製で年代の明らかな鰐口としては、わが国 最古のもの。面径24cm。表面に安貞2年 （1228）の陽刻銘あり。
にふくいち 若一王子神社本殿 S30. 2. 12	重文	1棟	若一王子神社 大町2097 （俵町）	一見、豪壮華麗な桃山風を思わせる。 一間社、隅木入春日造、檜皮葺。承応3年 （1654）の棟札1枚が附属指定。地方としては 大社の風格を備える。
高瀬溪谷の噴湯丘と 球状石灰石 T11. 10. 12	天記		国（農林水産省） 平 湯俣	温泉沈殿物が河床に堆積して火山形の噴湯丘 になり、中央の湧き口に白い小豆粒大の球状 方解石（球状石灰石）ができる。
木造千手観音立像 S25. 8. 29	重文	1軀	覚音寺 八坂1625 （藤尾）	檜材、寄木造、像高168.2cm、造像年代が 平安末期である。木像の胎内には、願主・ 仏師などの名前や治承3年（1179）3月と年代 など造像事情を記した墨書木札、白銅製 菊花双雀文鏡、紙本千手観音摺仏が納入 され、白銅鏡は附属指定。
木造持国天立像・ 木造多聞天立像 S25. 8. 29	重文	2軀 （各1軀）	覚音寺 八坂1625 （藤尾）	2軀は覚音寺千手観音立像の脇持で、檜材、 寄木造。像高は持国天161.5cm、多聞天 157.6cm。像の背面には、持国天・建久5年 （1194）、多聞天・建久6年（1195）と 年号の陰刻銘が刻まれており、これが造像 年代と考えられる。
旧中村家住宅 しゅおく 主屋・土蔵 H9. 12. 3	重文	2棟	大町市 美麻17668 （青具）	主屋は桁行14間、梁行6間、建坪84坪 （約278㎡）の木造平屋・茅葺・寄棟造で、 元禄11年（1698）建立と建築年代が明らかな 民家として県内最古。 土蔵は桁行6間、梁行4間の切妻造で、 安永9年（1780）と建築年代が判明するもの としては県下で古い例に属す。

イ 国登録有形文化財

注：登有＝登録有形文化財（令和6年3月31日現在）

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
平林家住宅 主屋 H29. 10. 27	登有	1棟	個人 大町2572-1 (八日町)	間口7間の土蔵造2階建て、式台玄関や座敷棟を構えた上層町家の典型を示す。明治22年（1889）の大火後の再建で、立石清重の設計により、防火や耐火の対策が講じられた大町初の土蔵造町家として貴重。
平林家住宅 文庫蔵・塩蔵・漬物蔵 H29. 10. 27	登有	1棟	個人 大町2572-1 (八日町)	梁間3間、桁行5間の文庫蔵に、桁行4間の漬物蔵と塩蔵を増築し、置屋根形式で切妻造の屋根を架け、東正面には下屋庇をつけている。文庫蔵は中心に9寸角の棟持柱を立て、内壁を縦板張りとした堅牢な蔵で、漬物蔵、塩蔵とともに平林家の繁栄を伝えている。
東京藝術大学山岳部 黒沢ヒュッテ H30. 11. 2	登有	1棟	個人 平4976-3 (黒沢高原)	昭和35年（1960）に東京藝術大学山岳部によって建設された山小屋で、標高1,200mの尾根上に建つ。1階はコンクリートブロック造、2階は木造。折板状の片流れ屋根の軒を張出し、南西面に広く開口する斬新なデザインの山小屋で、テラスからは後立山連峰を望む。戦後の登山ブームの一端を示す山岳施設。
旧北澤家住宅 主屋 R元. 9. 10	登有	1棟	個人 八坂908 (大平)	嘉永2年（1849）頃に建設（明治後期・昭和50年代改修）された、山間にある集落の庄屋宅で、間口の広い寄棟造茅葺（鉄板葺）の2階建て、軒出桁造。山村景観の核をなす豪壮な民家として貴重。
栗林家住宅 (創舎わちがい) 店舗 R4. 10. 31	登有	1棟	個人 大町4084-1ほか (上仲町)	大正後期建設。木造2階建て、瓦葺、建築面積108㎡。栗林家は大町組大庄屋を務めた旧家。近代以降も戸長、運送業、医院を営む。屋号は「輪違(わちがい)」。店舗は切妻造・平入・棧瓦葺で通りに面し、2階に床付座敷を配する。
栗林家住宅 (創舎わちがい) 主屋 R4. 10. 31	登有	1棟	個人 大町4084-1ほか (上仲町)	江戸末期建設。木造平屋・一部2階建て、瓦葺及び鉄板葺、建築面積119㎡。主屋は通りから門、庭を前面に介して位置し、南側の店舗側面後方と接続する。切妻造・平入で、元は板葺。
栗林家住宅 (創舎わちがい) 門及び塀 R4. 10. 31	登有	1棟	個人 大町4084-1ほか (上仲町)	明治前期建設。木造、瓦葺、間口3.6m、板塀付、総延長8.9m。門は店舗の北に並んで通りに開く切妻造・棧瓦葺の薬医門。北側袖壁に潜り戸を設け、格式ある構えで歴史的景観を伝える。

ウ 県指定文化財 注：無民＝無形民俗文化財 天記＝天然記念物 (令和6年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備考
若一王子神社三重塔 S41. 1. 27	県宝	1基	若一王子神社 大町2097 (俵町)	木食故信法阿の発願で宝永8年(1711)に造営。松本平で唯一の木造の塔。棟札4枚が附属指定。
木造観音菩薩立像 S40. 1. 14	県宝	1躯	弾誓寺観世音保存会 大町4188 (九日町)	平安初期の貞観様式を多分にもつ平安中期の作。櫨材の一木造。像高約161.5cm。
天正寺三重小塔 S41. 1. 27	県宝	1基	天正寺 大町4729-4 (十日町)	若一王子神社三重塔の原型とも伝えられる。江戸中期の作。
仁科神明宮の神楽 S44. 7. 3	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1159(宮本)	9月15日の例祭に奉納される、能を取り入れた荘重典雅な神楽。
上原遺跡 S35. 2. 11	史跡	地域指定	大町市ほか 平1955-355ほか (上原)	昭和25年(1950)から数次にわたる発掘調査で、2群の配石遺構と竪穴等の遺構、遺物が発見された。
居谷里湿原 S46. 8. 23	天記	地域指定	個人(複数) 大町8279-10ほか (居谷里)	多種の食虫植物のほか、湿原特有の木本・草本等がみられる。特にハナノキの隔離分布地、暖地性のハッチョウトンボの生息地として貴重。指定面積約21,000㎡。
若一王子神社社叢 S40. 4. 30	天記	地域指定	若一王子神社 大町2097ほか (俵町)	指定面積約17,000㎡。300本に及ぶスギと、130本程のヒノキを主体にし、生育する。
仁科神明宮の社叢 S44. 3. 17	天記	地域指定	仁科神明宮 社1159 (宮本)	指定面積約19,000㎡。スギ、ヒノキが主で、他にアカマツ、クリ、コナラ、ツガ、モミなどがあり、いずれも巨木。
大黒町舞台 S62. 8. 17	県宝	1基	大黒町自治会 大町2199 (大黒町)	諏訪の宮大工、立川富棟・富昌父子によって江戸後期の製造とされる。2層構造、切妻起屋根、三輪形式の可動舞台。
仁科神明宮・作始め神事 H2. 2. 19	無民		仁科神明宮神楽保存会 社1159(宮本)	毎年3月15日に行われる神事。一連の水田耕作の所作をユーモラスに演じ、その年の作況を占う。
霊松寺山門 H5. 8. 12	県宝	1棟	霊松寺 大町6665-イ (山田町)	入母屋造、桁行3間、梁間2間の楼門形式の八脚門。各所に建築彫刻が施される。名工、藤森広八の代表作であり、幕末期の信州を代表する社寺建築の一つ。
大町市のカワシ ンジュガイ生息地 H19. 1. 11	天記	2箇所 地域指定	国(国土交通省)	カワシンジュガイは、北緯40～55度の範囲に分布する純北方系の淡水産二枚貝。氷河期には多く生息していたが、その終わりとともに高冷地の溪流にのみ姿を残すようになった「生きた化石」とも言える貴重な生物。生息地2箇所を地域指定。
銅造十一面観音坐像 御正体残闕 H11. 3. 18	県宝	1躯	若一王子神社 大町2097 (俵町)	同社観音堂の本尊。本来は懸仏であったが、鏡板を失い仏体のみとなっている。铸造。像高19cm。
山寺廃寺跡出土品 H11. 9. 16	県宝	6点	大町市教育委員会 社3945-2 大町市民俗資料館 (閨田)	四耳壺1、瓶子2、土師器1、青白磁水注1、墨書写経石1。古瀬戸の四耳壺、瓶子は鎌倉期の国産。水注は中国の景德鎮での製造と見られる。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
流鏑馬の神事 H13. 9. 20	無民		若一王子神社 流鏑馬保存会 大町2097 (俵町)	7月29日に若一王子神社で行われる神事。 7～8歳の男子が化粧し、狩衣の装束をつけ、馬に乗り、神社参道奥の馬場で弓に矢を番えて射る。
大塩のイヌザクラ S37. 7. 12	天記	1本	個人(複数) 美麻3342 (大塩)	静御前がこの地を通ったときに持っていた杖をさしたのが根付いて大きくなったという伝承から「静の桜」と呼ばれる。目通り幹囲は8.45m、枝は四方に良く伸びており、樹姿が雄大である。
若一王子神社観音堂 及び宮殿 H23. 9. 29	県宝	1棟及び 1基	若一王子神社 大町2097 (俵町)	観音堂は江戸中期の宝永3年(1706)に建立された寄棟造、茅葺、三間四面の和様建築。 宮殿(厨子)は豪華な和唐折衷様式。棟札が附属指定。
山の神遺跡出土品 R4. 4. 13	県宝	45点	大町市 大町4700 大町市 文化財センター	山の神遺跡は、大町市常盤にあり、縄文時代早期中葉(今から約9,000年前)を中心とした遺跡。本遺跡から発見された出土品のうち、とくに学術的に価値が高く、県内の縄文文化の一端を知ることができる貴重な資料として、押型文土器ほか4点(押型文土器3点、縄文土器1点)と異形部分磨製石器41点の計45点を指定。

エ 市指定文化財

注：有文＝有形文化財 天記＝天然記念物 民資＝民俗資料 (令和6年3月31日現在)

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
広形銅戈 (海ノ口上諏訪社) S46. 12. 10	有文	1点	海ノ口上諏訪社 平14505(海ノ口) 保管は大町市 文化財センター	全長24.5m。弥生時代後期初頭。弥生文化の伝播のありさまを物語る貴重な資料。 糸魚川地方か小谷村の出土と推定されるが、出土地・伝世地が不明なのがおしまれる。
オオヤマザクラ S46. 12. 10	天記	20本	個人・団体(複数) 平22419-3ほか (青木)	国内でも北部の地方で自生するサクラで、群生地としては本州の南限。淡紅色のはなやかな色彩をもち、北アルプス山麓の景観構成要素となっている。
宮本・松崎紙紙すき 用具コレクション S50. 4. 15	民資	1式	大町市教育委員会 社3945-2(閨田) 大町市民俗資料館	江戸時代から使われていた和紙製造用具。 この地方の紙すき業の全容を知る上で貴重な資料。
山寺廃寺跡出土遺物 H18. 3. 25	有文	2点	大町市教育委員会 社3945-2(閨田) 大町市民俗資料館	墨書による写経石1、灰釉小皿1。県宝指定 「山寺廃寺跡出土品」に付随すると考えられる出土遺物。
盛蓮寺木造不動明王 立像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2937-1 (曾根原)	仏丈65cm、総丈98cm。鎌倉末期の製作。
盛蓮寺木造薬師如来 坐像 S57. 3. 3	有文	1躯	盛蓮寺 社2937-1 (曾根原)	檜材、寄木造。胎内に「文安第四丁卯三月廿四日願主喜香叟」の墨書銘あり。文安4年(1447)の製作。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
天正寺仁科氏居館跡 S59. 10. 6	史跡	地域 指定	天正寺ほか 大町4729-4ほか (十日町)	仁科氏が館之内から居館をこの地に移したと考えられる鎌倉末期から、室町末期に滅亡するまでの居館跡。外堀・内堀の二重の堀や土居を囲わせた居館。
大町市のヌマカイ メン S62. 3. 2	天記	種指定		県下では当市のみで生息するといわれる淡水海綿。「種」の指定。
大町市のカワシン ジュガイ S62. 3. 2	天記	種指定		県下では当市と戸隠に生息する淡水産二枚貝。約3万年前から存在している「生きた化石」。「種」の指定。
大沢寺木造阿弥陀 如来立像 S62. 3. 23	有文	1軀	大沢寺 大町4156 (堀六日町)	像高49cm、総高78cm。檜材、寄木造。頭部は藤原様に近い。
西正院木造大姥尊 坐像 S63. 1. 14	有文	1軀	大姥堂世話人会 平1298 (野口)	像高39.5cm。檜材、寄木造。室町中期の作。大姥尊は立山信仰の本尊。裏参道の入口にあたるこの地に、本像を請来したか。
霊松寺のおハツキ イチョウ S63. 1. 14	天記	1本	霊松寺 大町6665-イ (山田町)	おハツキイチョウとは「お葉付銀杏」の意で、ギンナンが葉の上に結実する先祖返り的な珍奇な現象をもっている。全体の約1割にこの現象が見られる。
天正寺山門 S63. 1. 14	有文	1棟	天正寺 大町4730-1 (十日町)	和様の薬医門。元禄元年（1688）の建立。棟札あり。
長性院木造聖観世音 菩薩立像 H1. 3. 28	有文	1軀	長性院 大町3682-4 (南原町)	像高107cm、総高184.3cm。檜材、寄木造。江戸中期、木食山居の作。
高瀬川の基盤岩 H2. 10. 23	天記	地点 指定	国（国土交通省） (青島 近藤紡東南)	松本盆地内部で確認された唯一の岩盤。この存在によって松本盆地の地下の様子やでき方が知れ、また、糸静線の通過位置を知る手がかりが得られる。
盛蓮寺木造如意輪 観音坐像 H3. 5. 31	有文	1軀	盛蓮寺 社2937-1 (曾根原)	像高77.6cm。檜材、寄木造。後補個所が多いが、造像年代は鎌倉時代後期。
木舟薬師堂木造 薬師如来立像 H3. 5. 31	有文	1軀	木舟地区 社4886-2 (木舟)	像高113.0cm。総高122.8cm。檜材、寄木造。後補個所が多いが、造像年代は鎌倉時代後期。
市立大町山岳博物館 のトキ標本 H4. 5. 19	天記	1体	市立大町山岳 博物館 大町8056-1 (神栄町)	トキは天然記念物であり、国際保護鳥として保護されてきた。しかし国内の野生種は絶滅してしており、現在国内で飼育されているトキは、中国に生息していたものを人工繁殖させている。このような事情から、国内での生息を知ることのできる標本は大変貴重なものとなっている。
長野県大町岳陽高等 学校のトキの標本 H4. 5. 19	天記	1体	長野県大町岳陽 高等学校 大町3691-2 (南原町)	大町山岳博物館のトキは大正8年（1919）に、大町岳陽高等学校のトキは大正6年（1917）に、それぞれ美麻村で捕獲されたものである。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
一本木神社のカシワ H3. 5. 31	天記	1本	一本木神社 常盤4733-1 (上一本木)	目通り周囲3.35m、樹高25.5m。推定樹齢300年。二次林の構成種としては稀にみる大木。
弾誓寺観音堂木造 伝弾誓上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存 会 大町4188 (九日町)	像高75cm。檜材、寄木造。17世紀中頃の作。彫りは丁寧で写実性に富み、完成度の高い作品である。
弾誓寺観音堂木造 伝長音上人坐像 H4. 5. 19	有文	1軀	弾誓寺観世音保存 会 大町4188 (九日町)	像高78cm。檜材、寄木造。元禄13年(1700)の作。弾誓寺4世「願誉岳空寂阿」によって造像された。
海ノ口のアカマツ (カサマツ) H5. 6. 25	天記	1本	海ノ口・一津・ 崩沢共有 平13109-1 (東海ノ口)	目通り周囲4.17m、樹高18m。樹齢推定300年以上。樹形は単幹で傘型をしており、別称「カサマツ」と呼ばれ親しまれている。稀に見る大木である。
中シマのモリアオ ガエル繁殖地 H6. 4. 28	天記	地域 指定	個人 平 (築場 中綱湖東)	指定地面積1,543㎡。モリアオガエルは樹上に泡状の卵を産む特異な生態をもつカエル。
須沼薬師堂のカツラ H6. 4. 28	天記	2本	清水仲間 常盤4203 (須沼)	東幹の樹高20.5m、目通り周囲3.5m。西幹の樹高25.5m、目通り周囲4.1m。薬師堂の門木の位置にある。
盛蓮寺木造虚空蔵 菩薩坐像 H6. 4. 28	有文	1軀	盛蓮寺 社2937 (曾根原)	像高24.1cm。桂材の寄木造。室町時代前半の作。光背、台座などは江戸時代後期に補われている。
天正寺木造薬師如来 立像 H7. 4. 26	有文	1軀	天正寺 大町4729 (十日町)	像高261cm。檜材、寄木造。体内木札より延宝5年(1677)「生誉蓮入比丘」の作と判明している。かなりの巨像で、しかも丁寧に仕上げられている。
西山西原のイチイ H7. 4. 26	天記	1本	個人 常盤8063-5 (西山)	目通り周囲2.95m、樹高12.5m。稀に見る巨木で樹形も美しく、ひときわ目立つ。
大黒町追分のシダレ ザクラ H7. 4. 26	天記	1本	大黒町自治会 大町1514-1 (大黒町)	目通り周囲3.05m、樹高8.5m。推定樹齢150年で市内最大のものと思われる。大黒天石像の脇に生息しており「大黒様のシダレザクラ」と呼ばれている。
大黒町追分の 石造大黒天像 H8. 3. 25	有文	1基	大黒町自治会 大町1514-1 (大黒町)	嘉永5年(1852)に、高遠町の石工によって彫られた像。現在のところ松本平では最大(全高約2m)にして最古のもので、彫刻技術も秀れている。版木が附属指定。
新郷1号古墳及び 副葬品一括 H8. 3. 25	史跡 有文	1基 出土品 等	大町市教育委員会 平8040-443 (新郷)	南北10m×東西9mの円形の積石塚で、内部の埋葬状態もよく、副葬品も多数出土している。
若一王子神社木造伝 十一面観音菩薩立像 H9. 3. 24	有文	1軀	若一王子神社 大町2097 (俵町)	推定像高180cm。檜材、寄木造。11世紀の作。明治初年に燃やされ、軀部に焼損をうけているが、神社の本地仏と伝えられ、最古の社宝である。
仏崎観音寺の 千有一馬集絵馬 H9. 3. 24	民資 (有形)	1面	仏崎観音寺 常盤6966 (泉)	安政2年(1855)に製作された縦210cm、横475cmの大型の絵馬。村ごとに寄進者名が記され、当時の庶民信仰の在り方などがうかがえる貴重な資料である。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
三日町若宮八幡宮の ヒノキ H9. 3. 24	天記	1本	個人（複数） 大町8254 （三日町）	目通り周囲5.1m、樹高29m。三日町分水集落の氏神、若宮八幡宮の御神木で、全国的にも稀な大径木である。
西山城山の エドヒガン H9. 3. 24	天記	1本	個人 常盤8099-1 （西山）	根回り周囲5.33m、樹高29mの二幹に分かれた大木。西山城址の急峻な北斜面に生育し、谷側に大きく枝を張っている。
仁科神明宮 銅製日岐盛貞奉納鏡 H10. 3. 25	有文	1面	仁科神明宮 社1159 （宮本）	鏡の直径は約27cmを計る。鏡背には大日如来等の梵字と奉納者名、紀年銘、製作の趣意が陽鑄されている。
仁科神明宮 木造棟札 H10. 3. 25	有文	6枚	仁科神明宮 社1159 （宮本）	重要文化財に指定されている棟札以外の明治から昭和にかけての棟札で、明治維新から昭和の大戦をも乗り越えて伝統を守ってきた、式年造営の証として貴重である。
仁科神明宮木造 小笠原秀政禁制札 H10. 3. 25	有文	1枚	仁科神明宮 社1159 （宮本）	檜板に書かれた高札で縦34cm、横61.3cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、市内における最も古いもののひとつである。
高根町曾根田の エドヒガン H10. 3. 25	天記	1本	高根町自治会 大町7174-1 （高根）	単幹で、目通り周囲465cm、樹高12mを計り、傘型のエドヒガン特有の樹冠を呈する。昭和初期以前には、このサクラの東側にお堂があり、その堂守との関係から植栽されたものと考えられる。
山下神社木造 小笠原秀政禁制札 H11. 2. 26	有文	1枚	山下神社 社6097 （北野）	檜板に書かれた高札で縦33.8cm、横59cmを計る。松本領主小笠原秀政が領内社寺の主要な所へ交付した内の1枚で、年号を記した高札としては、仁科神明宮の高札同様に古いもののひとつである。
大町市のキザキコ ミズシタダミ H13. 6. 27	天記	種指定		日本産ミズシタダミ科の希少種の一つ。カワシンジュガイとともに氷河期の遺存種ともいえる貝。「種」の指定。
八坂神社の旧神輿 H14. 2. 22	有文	1具	若一王子神社 大町2097 （俵町）	一間社（124cm四方）、高さ155cmを計る。大町の人々から「天王様の神輿」と慕われていた。江戸時代中期の作。
飯嶋家所有「信越 連帯新道」関係史料 及び飯嶋家文書一括 附 その他史料 H15. 2. 26	有文	1式 (712点)	個人 平 （野口） 保管は大町市 文化財センター	飯嶋家文書一括指定ほか、関連する歴史史料。その内最も注目されるのが表題に掲げられる「信越連帯新道」関係の文書及び旅宿看板などの歴史史料である。明治初年、信州一越中間の最短の交易路として整備された「信越連帯新道」の開発経緯を記した文書記録である。
八日町毘沙門堂の 木造毘沙門天立像 H16. 2. 19	有文	1軀	八日町自治会 大町1134-9 （八日町）	像高114cm、総高168cm。檜材、寄木造。頭部は鎌倉時代製作当時のものであるが、軀部以下は江戸時代に補われたものである。
姿見池のマメシジミ H16. 2. 19	天記		個人（複数） 平 （海ノ口）	マメシジミは、二枚貝綱マルスダレガイ目マメシジミ科に属し、これが生息する姿見池は、平西海ノ口地籍にある。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
西澤家所有 文書一括 附 その他の史料 H16. 2. 19	有文	1式 (259点)	個人 平 (野口) 保管は大町市 文化財センター	西沢家は、江戸時代初期には野口村庄屋を勤め、江戸時代末の文政2年(1819)から明治までの半世紀は大町5か村を束ねる大庄屋役を勤めており、この関係文書が貴重である。
栗林家所有 文書一括 H17. 3. 25	有文	1式 (2,581点)	個人 大町 (上仲町) 保管は大町市 文化財センター	栗林家は、江戸時代初期から村役を勤め、少なくとも享保年間から大町組の庄屋・大庄屋を勤めた家である。この役目上から残された文書は、分野が多彩で数多く、貴重なものである。
生婦平出土 銅造端花双鳥八稜鏡 H18. 3. 27	有文	1点	大町市 八坂1108-1 八坂支所 (大平)	八坂大平生婦平で昭和40年代に出土。直径11.7cm、縁高0.7cm、鏡厚0.3cmを計る。制作年代は平安時代後期と考えられる。
大平地蔵堂の 木造地藏菩薩立像 H18. 3. 27	有文	1軀	大平自治会 八坂1298 (大平)	像の制作年代は南北朝時代(14世紀前半)檜材、寄木造で玉眼を嵌入する。全身に彩色を施しており、像高は36.5cm、頭長は7.1cmを計る。中央の仏師の造りと考えられる像。
小松尾諏訪神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	小松尾諏訪神社 八坂5693 (小松尾)	江戸時代後期の文化13年(1816)の建造。一間社・流造りで、向拝軒唐破風付、柿葺、総檜造りである。大工は大町組の金原周蔵で、彫刻は浅川豊八(大隅流)により、彫刻は優れ、丸彫りの唐獅子、象鼻や雲に麒麟の透彫りが残される。
医王谷飯綱神社 筒粥占い神事 H18. 3. 27	民資 (無形)		飯綱神社 八坂25794 (梨平)	もと医王谷飯綱神社は八坂北桑梨・西の窪地に所属し、この神事はそこで行われていた。毎小正月の1月15日、神社に集まり、小豆粥を炊き、世の中、気象関係、農作物関係、天皇家など40項目の占いを行う神事。
野平神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	野平神社 八坂14695 (野平)	本殿は、三間社・流造り・柿葺き、総檜造りである。現社殿は江戸後期の再建であり、白木彫刻に優れている。大町の曾根原甚五郎、越後石地宿又四郎、仁熊村(麻績組)大工。
矢田川磨崖仏 H18. 3. 27	有文	1基	八坂医王会・ 大日講中 八坂9641-1 (矢田川)	高さ約6m、幅約4mの砂岩製岩塊に、年代の古いものから①青面金剛像(庚申像)が元禄から享保年間。②地藏菩薩像が江戸中期の享保3年(1718)。③庚申塔が江戸後期の文化14年(1807)。④徳本上人合碑が19世紀前半。⑤大日如来像が幕末の嘉永3年(1850)となる。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
北条峰の徳本上人 追善供養塔 H18. 3. 27	有文	1基	個人（複数） 八坂13609-ロ-1 （北条）	砂岩製で残存する石碑高が108cmを計る。碑文には「念仏供養 名蓮社号誉上人 称阿弥陀陀佛徳本文政元年寅年十月六日 徳本行者云々」とある。製作年代は江戸後期の文政元年（1818）。
曾山の善光寺 千人参り名号塔 H18. 3. 27	有文	1基	如来様講中 八坂9179-4 （曾山）	江戸時代後期の弘化2年（1845）の製作。材質は砂岩製。総高は322cm、そのうち塔身高は253cmを計る。「南無阿弥陀佛」と大書する。筆當大勸進権僧正願拜。石工は大平村石原の若林嘉久治勝重と高遠清水八五良安信による。平成6年（1994）、道路工事で現在地に移転されたが、もとは美麻地籍に所在した。
富士浅間神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2708 （大塩）	一間社・流造。規模は間口1間2尺、奥行1間5尺。現社殿は江戸時代後期の文化12年（1815）9月12日に再建されたもので、立川豊八（安曇郡長尾組岩原住）による建築。附属指定として棟札3枚がある。
富士浅間神社神楽殿 H18. 3. 27	有文	1棟	富士浅間神社 美麻2708 （大塩）	江戸時代後期の建立。木造茅葺き、6間四方で三面が板壁。舞台中央には直径4.6mの廻り舞台を持つ。明治中頃まで歌舞伎を奉納していたという。
富士浅間神社絵額 H18. 3. 27	有文	1式 （16面）	富士浅間神社 美麻2708 （大塩）	16面を指定。江戸時代幕末の嘉永から安政年間のものが多い。大型のものも多く、製作年間は安永6年（1777）年から昭和14年（1939）のもの。
千見神明宮本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	千見神明宮 美麻25878 （千見）	現在の本殿は、江戸時代末期の天保12年（1841）9月の造営建築である。一間社、神明造。大工棟梁は大町の曾根原甚五郎、曾根原謙蔵。最も古い慶長17年（1617）の棟札と、藩奉行6名の連署が見られる幕末、万延元年（1860）の禁制札の2点が附属指定。
千見神明宮 絵額と句額 H18. 3. 27	有文	1式 （14面）	千見神明宮 美麻25878 （千見）	千見神明宮に奉納される絵額（絵馬）のうち6面、句額のうち8面が指定。絵額の制作年代は、天明7年（1787）～安政2年（1855）。また、句額の制作年代は、文化5年（1808）～明治33年（1900）のもの。
水上神社本殿 H18. 3. 27	有文	1棟	水上神社 美麻9152 （二重）	一間社、流造り。彫刻が優れる。現在の社殿は、文政8年（1825）建立で、大工棟梁は越後市振の片桐利七とその一門によるもので、装飾彫刻に優れている。
下條家関守門 H18. 3. 27	有文	1棟	個人 美麻26036 （千見）	旧千見村に建てられた、関守の地位と格式を象徴する門である。建築年代不明。松本藩水野氏（1656～1735）の代に関守を置き下條家はその任をまかされ、警備にあたった。門正面は3間、奥行2間の門に、切妻屋根。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
下條家所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 (169点)	個人 美麻 (千見)	江戸時代初期元和年間(1615)から明治時代初期の武家・松本藩の記録、関守関係文書を中心とする藩政の一端を担った在地の記録として貴重な文書。
水上神社の神輿巡幸 H18. 3. 27	民資 (無形)		水上神社 美麻9152 (二重)	現在は神殿部分が欠失し、代わって神体御幣と木製の四本鉾を神輿に立てて用いている。裱に帯刀姿の警護4人により巡幸の神事。
中村家所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 (616点)	個人 保管は旧中村家 住宅土蔵 美麻17668(青具)	江戸時代初期の寛永21年(1644)から明治初期にかけての文書。青具村庄屋。藩政及び村政の実情をたどる上で貴重な史料である。
大塩高札場の高札 H18. 3. 27 H19. 3. 26 ④追加指定	有文	4点	個人(複数) 保管は旧中村家 住宅土蔵 美麻17668 (青具)	指定された4点はいずれも江戸時代、大塩の高札場に掲げられていたものである。 ①「キリシタン禁制」正徳元年(1711)。②「毒薬禁制」正徳元年(1711)。③「にせ銭禁制」天保10年(1839)。④「親子・博奕・忠孝等の定め」正徳元年(1711)。
権現山堂屋敷跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	戴神社 美麻 権現山南東 (新行)	権現山の山麓に堂屋敷と言いつた伝えられてきた碑文が残る屋敷跡。附属指定として、ウラジロモミ(2本)、クロベ(2本)、カラマツ(1本)の計5本。
千見山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	千見神明宮ほか 個人(複数) 美麻25450-ロ-3ほか (千見 山城)	伝承では、城主は上杉方の大日方源吾長辰氏と言われる。また、武田方の山県昌影により、弘治2年(1566)に火攻めにされ、落城したと伝えられる。一の郭東西50m×南北20m、二の郭東西40m×南北30m、三の郭東西20m、南北15mを計る。
大塩山城跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	個人(複数) 美麻855ほか (大塩)	一の郭(12×27m)、二の郭、一の曲輪、二の曲輪跡を具える複郭式山跡。兵糧倉、水槽、城内、攻城門跡、物見櫓跡等の施設が伝わる。山上に仁科氏を祀る祠あり。
堀の内遺跡 H18. 3. 27	史跡	地域 指定	個人(複数) 美麻938ほか (大塩)	遺跡内では平成5年(1993)と平成13年(2000)における2回の発掘調査を実施。縄文時代早期から中世にかけての複合遺跡。中世の遺構としては、居館が確認されている。
向生仏屋敷出土 灰釉陶器広口瓶 H18. 3. 27	有文	1点	個人 保管は大町市 文化財センター	昭和初期に耕作中発見されたもので、器高19.7cm。産地は、岐阜県多治見市周辺の東濃地方産で、時期は10世紀前半。
横川家所有 木造阿弥陀如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	個人 常盤 (須沼)	総高48.5cm、像高28cm、台座11cm。木食山居作と推定される江戸時代中期の木像。

名称及び指定日	区分	員数	所有者及び所在地	備 考
千見細貝薬師堂の 木造薬師如来立像 H18. 3. 27	有文	1軀	個人 常盤 (須沼)	薬師如来像は木食山居作と推定され、 総高45cm、像高36.5cm。同じ堂にあった 木食山居作と推定される江戸中期の 木造聖観音立像が附属指定。
大倉のイチイ H18. 3. 27	天記	1本	個人 美麻21770 (青具)	坪庭に鉢植えしたのが大木になったと 伝えられ、伝承では樹齢約1,000年と いわれている。目通り4.73m、根回り4.7m、 高さ21.3m。
水上神社の大杉 H18. 3. 27	天記	1本	水上神社 美麻9152 (二重)	水上神社の御神木。目通り6.3m、根回り 7.67m、高さ53.1m。伝承では樹齢750年 余りと推定されている。
若栗のアオナシ H18. 3. 27	天記	1本	個人(複数) 美麻34161-ロ 若栗峠 (高地)	目通り周囲4.31m、樹高16.8m。県内屈指の アオナシの巨木で、樹齢約500年と 伝承されている。成長に伴う融合性の 幹枝。
高橋家所有 文書一括 H18. 3. 27	有文	1式 (379点)	個人 社 (松崎) 保管は大町市 文化財センター	高橋家は、江戸期を通じて松崎村庄屋、 閩田村庄屋を兼務した。所蔵文書は、村方 文書を主とする文書がある。文政8年に 当地で発生した赤蓑騒動の見聞を 記した六角鬼洞による『赤蓑騒動』 は唯一の現存本として大変貴重。
中村孝三述 『学びの糸口』 H19. 3. 27	有文	1冊	大町市立 大町西小学校 大町4733-3 (北原町)	この手記は、明治維新の学制発布当時の 大町の人々の動きを記録し、単なる制度の 解説書ではなく、唐突な制度改正に戸惑う 地方の人々の気持ちを活写し、民衆の気持ち も察せられる重要な文献史料である。
^{はちまる} 八〇栗林家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 (2,425点)	個人 保管は大町市 文化財センター	江戸中期以降大町組の大庄屋を勤め、 明治時代においても大町の要職にあった 八〇栗林家に残された古文書類で、江戸・ 明治時代の大町の様子を知ることの できる文書。
^{やません} 山千永田家文書一括 H28. 3. 24	有文	1式 (585点)	個人 常盤 (上一) 保管は大町市 文化財センター	美麻千見において江戸時代、大町組千見村の 庄屋、一時期に大町組の大庄屋、明治初期 に千見の戸長を勤め、旧美麻村の合併 など新しい時代の村づくりに尽くした 永田家に残された古文書類。江戸・明治 時代の山間地域の様子を知ることの できる文書として貴重。

4 人権教育

基本的な考え方

大町市では、国際社会全体であらゆる人権問題を解決していこうとする気運の高まりに合わせ、平成15年3月、「人権の世紀」と言われる21世紀の大町市における人権教育・啓発の指針となる「人権教育のための大町市行動計画」を策定しました。

また、平成20年には、先の「行動計画」を基にした人権諸施策を継続して推進するため、「大町市人権教育及び人権啓発に関する基本方針」を定めています。

さらに、平成21年度から23年度は、文部科学省人権教育総合推進地域事業の指定を受けて、学校・家庭・地域社会が一体となった人権教育の総合的な取り組みを行いました。

市民一人ひとりが人権教育を通じて、人権問題を自分自身の課題として捉え、同和問題をはじめとする、外国人、女性、子ども、高齢者、障がい者、インターネット、感染症、性的少数者等に係る様々な人権課題に対する深い理解と認識により、人権を尊重し、明るく差別のない、市民参加と協働のまちづくりを進めています。

- ・あらゆる機会を通じた人権教育の推進
- ・市民の主体的な参加の促進
- ・人権の理解から人権尊重へと意識の高揚を図り、自らの尊厳を認識する場の提供
- ・異なる文化や考え方等、多様性を互いに尊重し合う「共生の心」の醸成

地域全体で人権意識を培い、人権尊重の精神を高め、一人ひとりを大切にす人権教育の推進を図るため、学校、家庭・地域、企業、県の機関・組織、市の関係課等と連携・協力しながら人権教育の総合的な取り組みを進めます。

(1) 重点課題

- 1 人権教育推進体制の充実と連携の強化
家庭、地域、企業等、推進組織の充実と幼稚園・保育園を含む学校教育、PTAとの連携
- 2 人権教育指導者層の充実と資質の向上
人権関係団体、人権教育推進協議会委員、企業人権教育推進協議会委員、社会教育関係者等への研修機会の提供
- 3 教育・啓発活動の推進
人権尊重に向けた取組の広報、啓発資料の配布と映像教材の貸し出し
- 4 学校、地域、企業、行政の人権学習活動の充実
各機関におけるあらゆる機会を捉えた人権教育の推進・啓発の促進

(2) 令和5年度人権教育推進事業

ア 就学前教育関係

(ア) 市立保育園・私立幼稚園・認定こども園に人権教育の推進を呼びかける。

(イ) 幼児教育・保育関係職員の講座・研修会等への積極的参加を呼びかけ、また資料を提供する。

イ 学校教育関係

(ア) すべての教職員が人権問題について正しい認識をもち、児童・生徒に対し差別の不当性を理解させ、差別のない社会をつくる人間の育成を目指す。

- ① 市内小中学校より2校を人権教育推進校として指定し、年に1回(秋)、人権教育授業を広く学社に公開し、学校人権教育に対する理解を拡げる。
- ② 「学校人権教育研究委員会」を継続し、人権教育を推進するための研究協議を行い、市内幼保小中高等学校の人権教育の一貫した実践を図る。
- ③ 市内幼保小中高等学校教職員を対象とし、人権教育研修会と授業公開・懇談会の開催や実践のまとめを行う。
- ④ 助成希望を通して、市内幼保小中高等学校における人権教育に係わる講演会ほかの開催に協力・支援を行う。

(イ) 解放子ども会の運営

- ① 差別を見抜く力、差別に立ちむかい解決していく力の基盤となる学力保障を重点に運営していく。(平成17年度より休会)

(ウ) 人権教育の資料収集と整備、活用

- ① 小学校低中高学年用「あけぼの」・中学校用「あけぼの 人間に光あれ」の配布と活用の呼びかけ、「人権教育作品集(ヒューマンライツ)」および「大町市学校人権教育実践録」の作成と配布
- ② その他、資料の収集

(エ) 人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会等との連携

- ① 各推進協議会を通じて、学社一体の人権教育の推進を図る。

(オ) 人権教育関係ポスター・作文の募集、ポスター展や有線放送を通して学校人権教育を進める。

ウ 社会教育関係

(ア) 社会人権教育関係機関・団体における人権教育・啓発活動を推進する。

- ① 公民館・公民館分室
- ② 連合自治会
- ③ 人権教育推進協議会
- ④ 企業人権教育推進協議会
- ⑤ 人権擁護委員・人権擁護審議会・社会福祉協議会・民生児童委員協議会
- ⑥ 女性団体・シニアクラブ・補導員・子ども会育成会・その他諸団体
- ⑦ PTA連合会・各学校PTA
- ⑧ 部落解放運動各種団体

(イ) 人権・同和教育推進懇談会事業の推進。

- ① 研修会、人権教育講演会を実施し、人権・同和問題に対する理解と認識を深め、地域での教育を推進する。

(ウ) 社会人権教育指導者を養成し確保する。

- ① 人権教育指導者養成のための研修への参加案内・呼びかけ

- ② 市役所職員の研修会への参加
- ③ 人権教育指導者による地域内外における人権教育の推進
- (エ) 社会人権教育設備及び教材の整備
 - ① 啓発DVD等の視聴覚教材等の充実整備
 - ② 人権関係資料・教材の整備（常盤公民館 同和教育資料室を含め）

エ 社会人権教育活動の推進

- (ア) 人権を考える市民の集い
 - ① 市内6地区の学校を会場に開催
- (イ) 市内全地域、市民対象の人権教育
 - ① 各種団体の自主的な人権教育講座開設への協力
 - ② 広報活動の拡充 「広報おおまち」に人権啓発記事を掲載、有線放送・ケーブルテレビの活用、資料の配布等
 - ③ 公民館が開設する講座等に人権教育学習を組み込む場合の協力
- (ウ) 企業人権教育の推進
 - ① 企業人権教育推進協議会への加入と協力の推進
 - ② 大北地区企業人権教育推進連絡協議会への協力
 - ③ 企業人権教育推進協議会研修の実施
 - ④ 企業独自の人権教育の推進への協力と啓発
- (エ) 同和問題に対する教育の推進
 - ① 大町市人権・同和教育推進懇談会、事業計画の策定と学習の促進
 - ② 部落解放運動各種団体の自主的計画による学習会に協力
- (オ) 市内の人権擁護委員及び関係機関との協力
 - ① 各種人権啓発事業、研修参加での連携
 - ② 人権週間及び旬間の活用、人権問題の啓発、作文・ポスター募集などの協力

オ 人権教育の一層の推進に向けての今後の方針

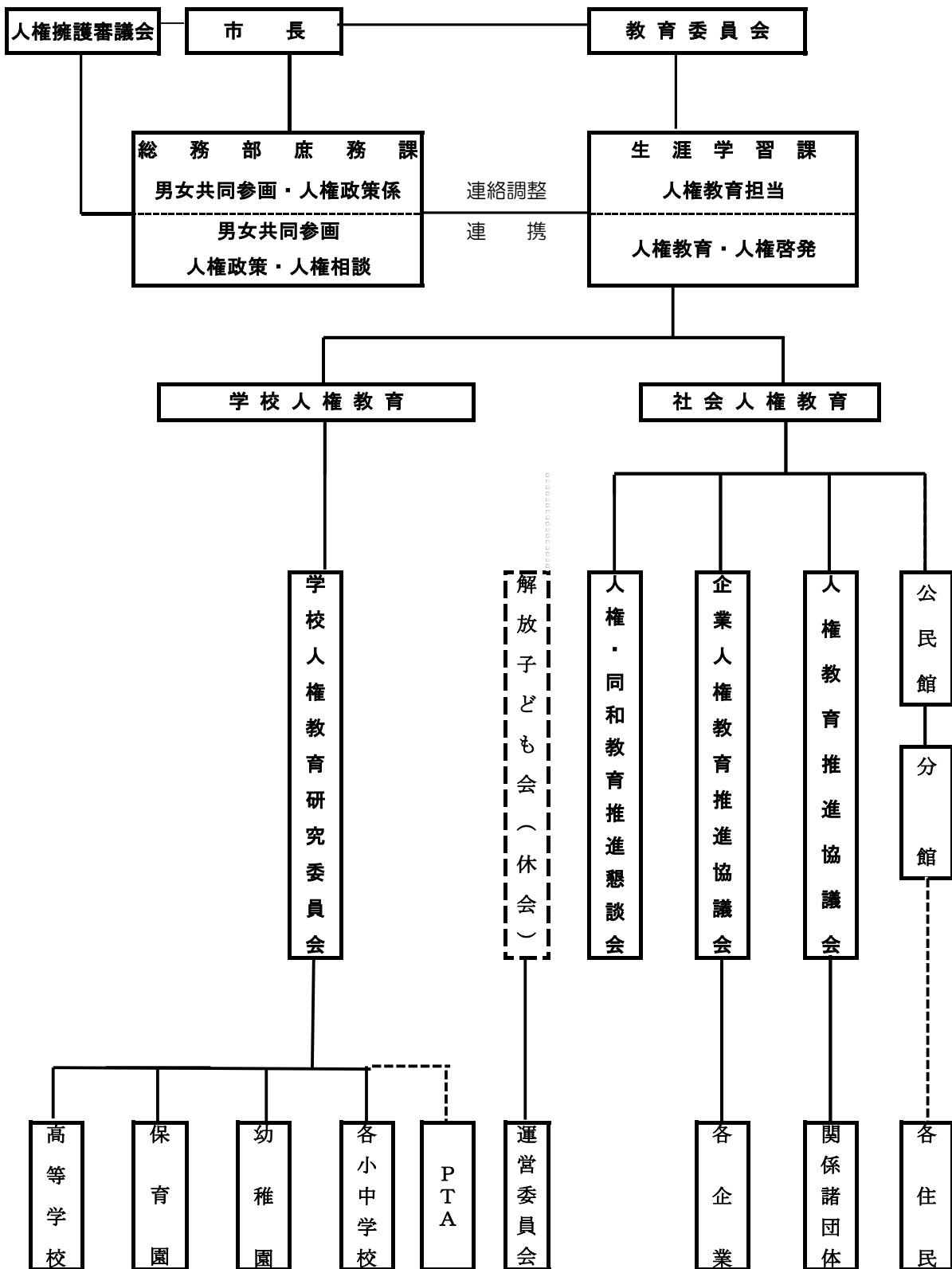
- (ア) 人権教育の学社連携の拡充
 - ① 幼保小中高の一貫した人権教育の推進と授業公開への地域・企業人権教育関係者への参加呼びかけ
 - ② 地域社会の一員として「人権を考える市民の集い」へのPTA参加の呼びかけ
- (イ) リーダー養成・意識改革につながる研修・啓発の推進
 - ① 「集い」の案内、チラシ、パンフレット、資料、広報紙による啓発活動
 - ② 各教育機関が人権教育を推進できるような情報・映像教材等の提供
 - ③ 対外的な各種研修会の案内及び担当者の参加、随行、オンライン研修
 - ④ 各種機関・団体の人権問題への自主的な取り組みの促進
 - ⑤ 人権週間及び県民運動強調旬間に合わせての人権啓発事業の協力・資料の配付

(3) 令和5年度実施事業

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
人権教育・啓発事業	人権を考える市民の集い	市民一人一人が人権問題を自分自身の問題として捉え、互いの人権を尊重する意識や態度を身につけ、人権尊重を当たり前のこととして行動できるよう地区ごとに、学校を会場として、児童生徒と地域住民が一堂に会し、児童生徒の意見発表と講演を通じて人権学習を進める集いを開催する。	6月21日 平地区 大町中学校	「いつかの言葉が希望になる」 ～母の臓器提供とその家族～ 遠藤麻衣	524 (一般) 24
			7月3日 大町地区 大町西小学校	「人権・同和教育はやっぱり大切に ～副読本『あけぼの』の活用に向けて～ 長野県同和教育推進協議会事務局長 清水 稔	96 (一般) 14
			8月24日 八坂地区 八坂小中学校	「共生社会に向けてできること」 ～筋ジストロフィー当事者～ 井出 今日我	126 (一般) 42
			9月14日 美麻地区 美麻小中学校	「LGBTQの勉強」 ～きみは一人じゃないから～ 長岡 春奈	113 (一般) 32
			10月18日 常盤地区 大町南小学校	「多様性と助け合いの社会を知ろう」 ～きみはきみのままでいいんだよ 猪又 竜	216 (一般) 31
			11月2日 社地区 大町東小学校	「ネットここが心配」 ～SNSの危険性と留意点～ 南澤 信之	169 (一般) 18
	授業公開・懇談会	授業参観及び懇談会を通して、人権教育における学校と地域との連携を深め、一層の進展に資する。	11月8日 大町中学校	授業学級 2年 助言者 中信教育事務所指導主事 佐々木 洋一	61 (一般) 5
			八坂小中学校	授業学級 2年 助言者 中信教育事務所指導主事 荻原 忍	34 (一般) 3
	ポスター、作文募集、作品集発行	児童生徒に人権学習の一環として人権に関する作文・ポスター制作を依頼し、作品集を編集して配布する。	11月募集 2月発刊	「ヒューマンライツ」第46号	74
	ポスター展示	作品集に集録した作品を一般市民に公開する。	1月17日～26日 庁舎展示コーナー		42
作文の有線放送	集録作品から選定した作品を有線放送農業協同組合が放送する	3月初旬 朝、昼、夜	旧市内小中学校 大町岳陽高校	5 1	
幼、保園、小学校、中学校、高等学校が実施する講演会等へ助成	学校等で計画する人権に関する講演会等に対して講師謝礼などを補助。	対象なし			

区分	事業名	目的・内容	期日・会場等	演題・講師等	参加者
	人権・同和教育推進懇談会事業の開催	人権・同和教育推進懇談会の開催と、交流研修会及び講演会の開催	11月27日 常盤公民館	啓発DVD「江戸時代の身分制度と差別された人々」の視聴 長野県同和教育推進協議会事務局次長 講話 清水 稔	33
			1月20日 常盤公民館	講演「生きる権利を主張した歴史」 安曇野貞享義民記念館館長 寺島 俊郎	20
	啓発DVD貸し出し	一覧作成、人権啓発	随時		
研修会の開催	人権教育推進協議会研修会	人権教育推進協議会主催	5月11日 市役所	啓発映画会(DVD) 感染症による差別のない長野県をめざして ～ただいま、おかえり～	20
	企業人権教育推進協議会研修会	企業人権教育推進協議会主催	6月7日 市役所	研修会 講演 「公正な採用選考の理解と認識をめざして」 ハローワーク大町統括職業指導官 比田井 貴史	23
	学校人権教育研究委員会研修会	学校人権教育研究委員会主催	5月16日 市役所	講演「今知っておきたい人権課題」 ～学校人権教育の推進～ 中信教育事務所 佐々木 洋一	25
	人権教育推進協議会、企業人権教育推進協議会、人権擁護審議会の合同視察研修		10月12日	「貞享義民記念館」 「松本市歴史の里」見学	10
	対外的な研修会への参加及び随行、オンライン研修		約10回	中信教育事務所・大北企業人権 主催等	

(4) 人権教育・啓発推進体制



5 公民館

公民館は、市民の自主的な学習活動を奨励し、援助することにより豊かな人間性を培うとともに、心豊かでより良い地域社会を生み出すことにある。多様化する社会にあって市民の要望を把握しながら、生涯学習時代に対応する公民館活動を推進します。

(1) 施設と機構

昭和29年の市制施行に伴い、大町市公民館を設置し、大町・平・常盤・社の4支館体制で運営してきましたが、昭和58年から大町・平・常盤・社の4公民館を独立並列とし、平成18年の市村合併により、美麻・八坂の公民館が追加、6公民館となりました。

館名	所在地	対象地域	施設の概要
大町市 大町公民館	大町市大町1601-2 電話 0261-22-9988	大町地区 36分館	会議室 2 視聴覚室 料理実習室 講習室 学習室 実習室 児童室 延べ床面積681.67㎡ (昭和61年新築 文化会館併設)
大町市大町 公民館分室	大町市大町1058-13 電話 0261-22-0352		会議室 2 講堂 研修室 2 学習室 4 視聴覚室 栄養指導室 延べ床面積1,226.02㎡ (平成3年新築 中央保健センター併設)
大町市 平公民館	大町市平10352-1 電話 0261-22-0694	平地区 21分館	講堂 学習室 会議室 視聴覚室 実習室 延べ床面積996.63㎡ (昭和59年新築 女性未来館ピュア併設)
大町市 常盤公民館	大町市常盤3601-18 電話 0261-22-0321	常盤地区 8分館	学習室 3 研修室 2 視聴覚室 図書室 料理実習室 講堂 延べ床面積1,265㎡ (平成4年新築)
大町市 社公民館	大町市社3945-2 電話 0261-22-0378	社地区 7分館	会議室 作業室 大研修室 研修室 資料室 大展示室 延べ床面積891㎡ (昭和60年新築)
大町市 美麻公民館	大町市美麻11810-イ 電話 0261-29-2311	美麻地区 5分館	小会議室 中会議室 講堂1・2 読書ストリート 延べ床面積545㎡ (平成19年新築 美麻支所併設)
大町市 八坂公民館	大町市八坂1133-1 電話 0261-26-2380	八坂地区 6分館	八坂情報コミュニティセンターアキツ併設 ホール 会議室 展示ホール 郷土資料室 図書コーナー 延べ床面積859.88㎡ (平成7年新築)

(2) 令和5年度実施事業

大町公民館	平公民館	常盤公民館	社公民館	美麻公民館	八坂公民館
大町地区文化祭 各種講座の開設 大町地区球技大会 大町地区 市民運動会 北アルプス 囲碁将棋大会	各種講座の開設 平地区球技大会 平地区少年少女 球技大会 文化祭（ピュア フェスタ） 平地区市民ゴル フ大会 平地区スマイル ボウリング大会 平地区敬老会 豊かな老後のため の平地区市民の集 い	常盤地区球技大会 常盤地区子ども 球技大会 常盤地区子ども会 リーダー研修会 常盤少年駅伝競走 ゲートボール大会 サークル活動作品 展示会 常盤卓球・ソフト バレーボール大会 常盤囲碁・将棋・ マージャン大会 各種講座の開設	社地区球技大会 社地区親睦運動会 社地区文化祭・ 民俗資料館特別展 友好会ゲート ボール大会 元旦マラソン	美麻小中学校・ 美麻地区運動会 美麻地区夏季 球技大会 美麻地区文化祭 各種講座の開設 美麻地区子ども 会 育成協議会各種 活動	公民館長杯マレッ トゴルフ大会 ふれあい運動会 八坂地区文化祭 レクリエーション スポーツ大会 各種講座の開設

(3) 講座・学級の開設状況

大町公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
外国人のための日本語講座	4/5～3/27	42	420	すくすく広場	6/8～3/7	16	576
菊づくり講座	4/29～9/9	6	60	楽しい陶芸講座	6/24～1/28	10	60
文学紀行講座	7/23～10/1	5	270	初心者のためのデジタル 一眼レフカメラ講座	10/13～11/8	4	20
楽しい木彫講座	8/17～10/26	5	30	スマホ初めて講座	11/22～12/20	5	65

平公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室ひよこクラブ	5/23～3/5	20	400	家庭でできる珈琲のいれかた 講座	1/24 2/22	2	11
初心者のためのスマホ講座	5/24～6/21	5	64	初めての尺八講座	1/25～3/7	6	24
睡眠と健康の知恵袋講座	9/20、27	2	11	シニアのためのウォーキング 教室	3/1～3/29	5	92
初めての大人のバレエレ ッスン講座	10/5～10/26	4	40				
そば打ち講座	11/22～12/13	4	20				

常盤公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
鯉の峰へのぼろう	5/20	1	14	親子教室ともだち広場	6/14~2/28	16	400
そば打ち教室	10/12~11/2	4	30	インスタ映えする簡単写真講座	11/21~12/19	5	30
簡単、楽ちん、誰でもできる「ゆる体操」	11/24~12/8	3	24	初心者のためのスマートフォン講座	1/25~2/15	4	51
腰痛予防改善エクササイズ	2/26~3/18	4	98	常盤地区ポッチャ体験講習会	3/9	1	28

社公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
親子教室なかよし広場	6/7~2/21	16	320	そば打ち講座	12/17・24	2	9
体力Upエクササイズ講座	10/13~11/24	6	132				
手づくりクリスマスリース講座	11/14	1	17				

大町公民館分室 対象講座なし

美麻公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
元気アップ運動教室	4/30、5/1	2	125	木彫り教室	11/20~12/21	6	40
高齢者・熟年学級	7/27~12/20	6	79	山留センター・八坂公民館・美麻公民館合同スキー活動	1/14、2/5	2	15
イワナつかみ体験	8/4	1	43	子育て応援カフェ	5/9~12/15	4	43

八坂公民館

(令和5年度)

講座名	期間	回数	人数	講座名	期間	回数	人数
高砂大 学	6/8~3/7	10	295	文化財巡り「城峰山城と雷電城を探る」	11/11	1	30
すこやか広場	6/23~3/8	9	85	そば打ち講習会	11/17~12/15	5	35
竹細工講習会	5/27~7/24	5	40	体操教室(元笑気クラブ)	10/18~11/15	5	35
コケ玉づくり講習会	8/18	1	10	郷土ふれあい体験学習	12/2	1	200

大町公民館分室サークル一日体験開催状況(令和5年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
大町短歌会	10/17	13:30~15:00	早春賦を愛唱する市民の会	7/9	10:00~12:00
書草会	10/26	9:00~11:00	エゴスキューグループワーク	11/19	10:00~11:30
日本空手道剛柔流剛誠館	7/14	19:00~21:00			

大町公民館サークルー日体験開催状況(令和5年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
スポーツ吹矢 北あづみの大町支部	7/30	10:00~12:00			

平公民館サークルー日体験開催状況(令和5年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
朗 読 は づ き	5/28 9/30	13:30~16:00	大 町 太 極 拳 ク ラ ブ	11/15~12/6	19:00~21:00

常盤公民館サークル体験開催状況(令和5年度)

サークル名(内容)	開催日	開催時間	サークル名(内容)	開催日	開催時間
太 極 拳 常 盤 教 室	10/17 10/24	13:00~15:00			

(4) 利用状況

(令和5年度)

館 名	利用件数	利用延べ人数	館 名	利用件数	利用延べ人数
大 町 公 民 館	1,964	10,696	大 町 公 民 館 分 室	1,472	14,628
平公民館(女性未来館との合計)	1,821	17,915	美 麻 公 民 館	330	3,739
常 盤 公 民 館	1,156	18,658	八 坂 公 民 館	183	2,256
社 公 民 館	236	4,161	蔵 の 音 楽 館	89	223

6 図書館

(1) 基本方針

乳幼児期の絵本とのふれあいや、市民の読書と学習に役立つことができ、「暮らしの中に生きる図書館」として、利用拡大を図りながら「豊かな心を育む読書」の推進や、さまざまな学習に対する的確な情報提供を行います。また、市民のニーズに十分応えられるよう図書館資料の収集と充実を図り、生涯学習の拠点として「誰もが安心して利用」でき、魅力的で「親しまれる図書館」を目指して、積極的に図書館サービスを行います。

さらに「子どもの読書活動の推進」を重点施策と位置づけ、乳幼児期から本に親しみ、成長段階に応じた読書ができる環境を提供するよう努めます。

(2) 重点目標

- ・ 生涯学習、情報時代にふさわしい図書館を目指し、資料の整備、資料情報の質の向上を図ります。
- ・ おはなし会やブックリストなど乳幼児期から積極的に読書活動を行う意欲を高めるための方策を講じます。
- ・ 小中学校と連携・協力し、子どもの読書活動の推進を図るとともに、調べ学習に役立つ図書館を目指します。
- ・ 高齢者、障害者が利用しやすい施設とサービスの提供を進めます。
- ・ レファレンス（調査相談業務）の充実と、その対応のための資料整備を図ります。
- ・ 県立図書館や関係諸機関との連携を密にして、広範囲な資料要求に応えます。
- ・ インターネットのホームページや Facebook を利用した情報提供を推進します。
- ・ 読書ボランティアの育成と図書館活動の推進を図ります。
- ・ 利用の拡大を図るため、広報活動の充実に努めます。
- ・ 第2次子ども読書活動推進計画の周知と実践

(3) 施設

名 称	市立大町図書館		
所 在 地	大町市大町 4710 番地 6		
建 物	R C 造 2 階建		
	床面積	1 階	1,181.83 m ² 2 階 545.11 m ²
開館時間	火・水・木・金	午前 9 時 30 分～午後 7 時 00 分	
	土・日・祝日	午前 9 時 30 分～午後 5 時 00 分	
休 館	○毎週月曜日	○館内整理日（毎月最終の火曜日）	○年末年始
	○資料整理点検期間		

(4) 令和5年度図書館事業実施状況

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	備 考
子どもの読書推進	おはなしの森	月1回	幼児～大人	ボランティア
	おいでえほんのおへや	月1回	乳児～大人	ボランティア
	子ども朗読道場	月1回	小学生	ボランティア 朗読指導
	ブックスタート	月2回	4ヶ月・1歳6ヶ月児健診	読みきかせ・ブックトーク
	セカンドブック	年6回	4歳児	絵本のプレゼント
大人の読書推進	万葉集・古文書読書会	月1回	一般	サークル
	おとなのための「朗読会」	4.6.8.10.12.2月	一般	講座受講生
展示コーナーの充実	新刊本の展示	随時	一般	館内の書架やブックラックを活用し、利用しやすく魅力的展示に努める
	話題本の展示	随時	一般	
	季節・行事に応じた図書の展示	随時	一般	
	えほん等のおすすめ本の展示	随時	乳幼児から一般	
	ヤングアダルト向け図書	随時	中学生・高校生	
	ボードゲームの展示	常時	利用者全般	
体験コーナーの設置	おりがみ教室	毎月第3土曜日	幼児～大人	職員
視聴覚障がい者サービス	視覚障がい者の方に 図書録音テープ 点字図書の貸出	随時	視聴覚障がい者	ボランティア 「かつこう」の会 「ほたる」の会
くまの子文庫	園文庫の配本と巡回	年2回巡回	市内7保育園 市内3幼稚園 子育て支援センター 中央保健センター	4月 配本 9月 入れ替え(幼稚園) 2月 回収
高齢者施設読書推進	施設訪問による読み聞かせ	随時	施設入所者	職員
シルバールン	高齢者施設への本の配本	随時	施設入所者	随時配本
託児サービス	保護者が安心して図書館を利用できる無料サービス	月1回	生後6ヵ月から就学前まで	ファミリーサポートバンビ
図書館相互利用促進事業	大北5市町村の図書館の相互利用と図書の輸送システムの運用・新聞データベースの閲覧	輸送：週2回	利用者全般	シルバー人材センター
市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」	県と県内77市町村が費用を出し合い、パソコンやスマートフォンで読める電子書籍を貸し出すサービス		利用者全般	
読書活動推進イベント	秋の読書週間イベント			10月上旬
松本山雅読書週間協力事業	松本山雅のテーマ展示及び選手の葉配布			10月下旬から11月上旬
郷土の歴史と古文書入門講座	郷土の歴史と古文書読み方を学ぶ	月1回	利用者全般	ボランティア講師
もんぺのおばちゃんお話し会	大町の民話お話し会	奇数月	利用者全般	ボランティア
蔵書点検	図書の整理	5月30日～6月9日		休館/職員・ボランティア
こいのぼり掲揚	こいのぼりの掲揚	4月25日～6月4日		ボランティア・職員
読書マラソン	期間内に決められた貸出数を超えた利用者に抽選で賞品をプレゼント	10月7日～12月28日	一般	職員
図書館寄席	地元の落語家による寄席	8月11日・1月20日	一般	ボランティア噺家
ボードゲーム大会	ボードゲームの体験	5月3日・8月13日・1月13日	利用者全般	ボランティア・職員

事業名	内 容	実施時期	参加対象者・数	備 考
図書館ギャラリー	市にゆかりある芸術家の作品や児童生徒の作品を展示	随時	利用者全般	
大北図書館の集い	理科読 科学の本の読み聞かせ	9月9日	利用者全般	
季節のイベント	天体望遠鏡を使ってみよう	7月9日	利用者全般	一研究の題材用
	夏休みこども工作	8月6日	小中学生	簡単モータをつくろう
	ハロウィン工作	10月29日	幼児～小学生	へんしんおめんをつくろう
	クリスマス会	12月16日	利用者全般	ボランティア・職員
	クリスマス工作	12月16日	利用者全般	サンタのベルをつくろう
	本の福袋	1月上旬	利用者全般	児童向け
	お正月飾り作り	11月25日	利用者全般	古布ちりめん細工
リサイクル本	リサイクル本の配布	年2回	利用者全般	
大活字本紹介	高齢者学級や高齢者施設に出向き読み聞かせと大活字本を紹介し、来館促進する。			
新刊本お勧め本紹介	新刊本の中で図書館が特に薦める資料を紹介			
所蔵本お勧め本紹介	館内所蔵の中で職員が特に進める資料の紹介			

(5) 令和5年度 子どもの読書活動推進

事業	内 容	対象・回数
① 乳児から未就学児親子に対する絵本とのふれあい		
ブックスタート	保健センターの健診時を利用し、読みきかせボランティアの協力により絵本の読みきかせ、相談、読書の楽しさと大切さを知っていただく啓発活動を行う。	4ヶ月児と1歳6ヶ月児親子 (月1回ずつ)
セカンドブック	自分でも本を読む意欲を持ち始める時期の4歳児に本を贈ることにより、親子での読書を通じて読書習慣をつけることを目的とする。	年6回
親子読書の推進・啓発	○年齢に応じた絵本リスト紹介 ○児童図書 of 充実 ○親子折り紙教室・ブックトーク・絵本の読み聞かせの開催	乳幼児から保護者まで (通年)
おはなしの会	○乳幼児から未就学児を対象としたおはなし会の開催 「おいでえほんのおへや」	乳幼児から保護者まで
くまの子文庫	○園文庫の配本と巡回	市内の幼稚園、保育園に配置

② 児童・生徒の読書活動の推進		
おはなし会等 *おはなしの森 *子ども朗読道場 *ブックトーク	○図書館と連携したボランティアによる読みきかせや語り ○小学生を対象とした朗読練習 ○児童支援施設等でブックトークを実施	市民全般（毎月） 小学生（毎月） 施設利用者（隔月）
図書館利用の促進	○児童向け図書案内及び新刊コーナーの充実等 ○季節にちなんだ行事の開催（子ども読書の日、折り紙教室、七夕、夏休み特集、クリスマス、正月、節分、春休み特集等） ○読みきかせや交流の場の提供 ○学校司書との連絡会の開催 ○図書館見学、職場体験の受け入れ ○大町西小学校へ本の配本	児童・生徒
図書館協議会の促進	○学校図書館司書、司書教諭も含め市図書館との連絡（図書館運営・蔵書・選書などの意見交換） ○読みきかせボランティアを導入した「朝の読みきかせ」の推進・協力 ○小中学生へ「朝読書」の推進・協力	小中学校、図書館 市民代表（協議会委員）
中高生への読書推進 《読書に対する意欲の向上》	○ヤングアダルトコーナーの充実 ○読書推進の啓発	中・高生

③ 市民による子どもへの読書活動の推進		
ボランティア養成講座及び活動ボランティアとの連携	○読みきかせボランティアの養成と拡大 ○読みきかせボランティア養成講座 ○活動サークルとの連絡会、支援、協力 ○「手づくり絵本」展示会場の提供等	市民全般 登録ボランティア
イベントの開催	○ボランティア連絡会による活動発表会及び情報交換会	会員及び市民全般
公民館図書室の充実と連携	○公民館蔵書の配置 ○公民館図書室の実情の把握、改善 ○公民館活動との連携 ○子ども会育成会等との連携	地区公民館 地域市民
障がい者サービスの充実	○テープ図書の作成 ○電子図書館「デジとしょ信州」の障がい者向けコンテンツの	市民全般
④ 広報活動		
	○広報、新聞、有線で新着図書紹介やイベント案内 ○図書館カレンダーに行事案内を掲載し配布 ○図書館ホームページ、Facebookの活用 ○各種の催しを、市内幼稚園、保育園、小学校にチラシ配布	市民全般

(6) 蔵書構成

(令和6年3月31日現在)

分 類			分 類			
	蔵書冊数	構 成 比		蔵書冊数	構 成 比	
一 般 図 書	N 郷土資料	8,427 冊	5.3 %	児 童 図 書	38,835 冊	24.3 %
	0 総 記	4,405	2.8	紙 芝 居	1,161	—
	1 哲 学	4,608	2.9	合 計	159,748	100.0
	2 歴史・地理	10,071	6.3	園 文 庫	3,328 点	—
	3 社会科学	16,218	10.2	雑 誌	4,903	—
	4 自然科学	9,126	5.7	視 聴 覚 資 料		
	5 工業・工学	8,762	5.5	C D	1,846 点	—
	6 産 業	4,429	2.8	ビ デ オ	1,568	—
	7 芸 術	12,784	8.0	D V D	754	—
	8 語 学	2,074	1.3	テ ー プ 図 書	1,781 本	—
	9 文 学	39,353	24.6	総 合 計	173,928	—
	小計	120,257	—			
	文 庫	7,474	—			
	大 活 字 本	1,872	—			
参 考 図 書	486	—				
新 書	14,655	—				
点 字 図 書	656	—				

(7) 利用状況

ア 分類別貸出冊数

(令和5年度)

分類		児童	一般	合計	構成比
一般 図書	0 総記	96	547	643 冊	0.97 %
	1 哲学	166	1,345	1,511	2.28
	2 歴史・地理	292	4,274	4,566	6.90
	3 社会科学	347	2,924	3,271	4.95
	4 自然科学	366	3,120	3,486	5.27
	5 工業・工学	1,033	8,421	9,454	14.30
	6 産業	350	2,425	2,775	4.20
	7 芸術	1,170	4,774	5,944	8.99
	8 語学	15	417	432	0.65
	9 文学	1,093	23,563	24,656	37.28
	E 絵本	13	28	41	0.06
	B 文庫	295	5,261	5,556	8.40
	D 大活字本	94	1,238	1,332	2.01
	R 参考図書	1	20	21	0.03
	S 新書	102	2,339	2,441	3.69
小計		5,433	60,696	66,129	100.00
児童 図書	0 総記	326	286	612	1.15
	1 哲学	337	202	539	1.01
	2 歴史・地理	342	456	798	1.50
	3 社会科学	531	489	1,020	1.92
	4 自然科学	1,962	1,582	3,544	6.67
	5 工業・工学	891	824	1,715	3.23
	6 産業	393	280	673	1.27
	7 芸術	1,510	1,227	2,737	5.15
	8 語学	119	103	222	0.42
	9 文学	4,512	4,046	8,558	16.10
	E 絵本	12,136	19,626	31,762	59.75
	K 紙芝居	342	592	934	1.76
D 大活字本	0	21	21	0.04	
S 新書	5	14	19	0.04	
小計		23,406	29,748	53,154	100.00
郷土資料		100	359	459	—
雑誌		546	4,517	5,063	—
視聴覚資料					
C D		56	873	929 点	—
ビ デ オ		0	9	9	—
D V D		657	1,192	1,849	—
テープ 図書		0	390	390	—
合計		30,198	97,784	127,982	—

イ 月別貸出数と登録者数

(令和5年度)

月	開館日数	貸出数	一日平均	学習室利用者数	一日平均	登録者数
4	25	14,573	583 冊	139	6 人	34
5	24	9,440	393	128	5	38
6	17	7,995	470	104	6	21
7	25	10,297	412	161	6	138
8	26	10,780	415	220	8	50
9	25	10,550	422	176	7	22
10	24	9,542	398	114	5	23
11	25	10,148	406	167	7	32
12	23	11,753	511	141	6	18
1	23	9,487	412	147	6	16
2	24	11,748	490	221	9	24
3	26	11,669	449	113	4	29
計	287	127,982	446	1,831	6	445

7 山岳博物館

地域の総合博物館という基本的な性格をもち、観光施設として山岳及び地域の自然を紹介し、教養・文化創造・憩いの場を提供するとともに、資料の収集・保管・展示、調査研究、教育普及活動を進める。

(1) 施設概要

名称 市立大町山岳博物館
 所在地 大町市大町8056-1
 電話 0261-22-0211 F A X 0261-21-2133
 敷地面積 41,575.69㎡
 建物構造 鉄筋コンクリート造〔地上3階・地下1階〕
 床面積 1階：1,177.4㎡ 2階：686.1㎡ 3階：116.7㎡ 地階：159.2㎡
 付属施設 付属園・山岳図書資料館

(2) 令和5年度 資料収集・保管管理事業〔実績〕

ア 収集資料

〔令和6年3月31日現在〕

人文科学系資料		自然科学系資料			
区分	数量	区分	数量	区分	数量
山岳	11,896	蘚苔類(乾燥標本)	674	哺乳類(剥製等標本)	249
山岳・美術寄託	409	維管束植物(液浸標本)	7	鳥類(剥製標本)	699
歴史	12	維管束植物(さく葉標本)	12,300	昆虫(標本ドイツ箱)	258
民俗	959	魚類(液浸標本)	72	昆虫(未標本作製)	4,600
美術	450	両性爬虫類(液浸標本等)	72	昆虫(液浸標本)	27
考古	0	貝・甲殻類(液浸標本)	13	その他液浸標本	103
図書・AV	39,452	地質標本(岩石、化石、鉱物)	3,070+197 ケース	図書・AV	7,014
計	53,178			計	29,158
総計 82,336点+197ケース					

イ 資料収集

・動物資料2件22点 ・植物資料4件440点 ・山岳資料3件22点 ・美術資料1件2点
 ・山岳図書資料8件122点 計608点を収集

ウ 飼育動物・栽培植物

〔令和6年3月31日現在〕

種名	雄	雌	不明	計	種名	雄	雌	不明	計
ハクビシン *	1	1		2	トビ *		2	6	8
ニホンカモシカ *	2	1		3	チョウゲンボウ *	1			1
タヌキ	1			1	キジバト *		1		1
					フクロウ *		1		1
					スバルバルライチョウ	1			1
					ニホンライチョウ	4	3		7
計	4	2		6	計	6	7	6	19

*保護動物を含む

栽培植物70種

(3) 令和5年度 調査研究事業〔実績〕

ア 主な調査研究事業

- ① 高山植物の生活史に関する研究
- ② 大北地域の植物分布調査
- ③ 企画展に関する調査
- ④ ライチョウの飼育・増殖技術を目指した研究
- ⑤ 北アルプス地域の気象に関する調査・研究
- ⑥ 大町市周辺の火山灰に関する調査

(4) 令和6年度 教育普及事業【計画】

ア 企画展・特別展

名 称	期 間
企画展「大町の少年が世界を駆ける～山岳ランナー上田瑠偉10年の軌跡～」	8月10日～10月14日
企画展「日本人とエベレスト～その聖性から大衆化まで～」	10月19日～12月1日
企画展「学校の生きもの探索記」	3月9日～5月10日

イ 常設展示

展示資料点数1,027点（自然科学系453点、人文科学系574点）

ウ 移動展示

名 称	期 間	場 所
「さんばく研究最前線」出張展示	4月～、7月～、10月～、2月～	大町市八坂公民館
安曇野アートライン推進協議会「アートライン展」	11月23日～12月15日	アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）

エ 主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会総会記念講演会「長野県におけるイワナとその増殖について」	4月21日
付属園まつり	5月1日～5日
自然ふれあい講座「みんなで温暖化ウォッチ～セミの抜け殻を探せ」	8月3日
わくわく自然講座「水辺の生き物」	8月4日
企画展「大町の少年が世界を駆ける」オープニング講演会	8月10日
上田瑠偉トレーニングキャンプ・トークイベント	8月11日～12日
上田瑠偉トレラン体験会	9月15日
上田瑠偉鷹狩山トレッキング	9月16日
大町自然探検隊「河原の石ころをさがそう」	10月13日
上田瑠偉・藤巻翔ミュージアムトーク	10月14日
講演会「写真で見るエベレスト日本隊」・シンポジウム「エベレスト 聖性からその喪失まで」	11月17日
信州自然講座「北アルプスのライチョウをとりまく今を知る」	2月8日
山のサイエンスカフェ in さんばく2025	3月8日
企画展「学校の生きもの探索記」ミュージアムガイド	3月9日

オ その他の主な教育普及活動

名 称	期 間
友の会活動への支援・協力	4月～3月
学校との連携授業(市内小学校の博物館活用事業)	4月～3月
博物館実習の受入	7月30日～8月4日（6日間）
学習会等への協力(出張講座等)	4月～3月
雪形まつりへの協力	5月～6月
博物館資料の貸出(特別利用)	4月～3月
山岳図書資料館の利用(事前予約者)	4月～3月
観覧者への展示解説(事前依頼者)	4月～3月

カ 主な情報発信

『山と博物館』の発行 季刊（春、夏、秋、冬） 市内全戸配布など各号10,000部発行
『山岳博物館研究紀要』の発行（第10号）
『山岳博物館年報』の発行（令和5年度版）
インターネット・ウェブサイト、SNSの運用

キ 他団体との主な連携

大町博物館連絡会
安曇野アートライン推進協議会・博物館美術館部会
大町山岳博物館友の会
長野県山岳総合センター
ライチョウ会議
信州大学山岳科学研究所との研究協力協定
長野県環境保全研究所との連携・協力に関する協定
全国山岳博物館等連絡会議
（公財）富山市ファミリーパーク公社とのライチョウ類の飼育技術提携に関する協定
（公社）日本動物園水族館協会
オーストリア・インスブルック市との友好提携協定、アルプス動物園との友好提携協定

ク ミュージアムカフェ・ショップの営業(caf6かもしか)

(5) 令和6年度 動植物飼育栽培繁殖事業

ア 動物飼育繁殖

動物の生体展示
教育普及への活用
傷病鳥獣の救護
希少種の保護・繁殖
施設整備

イ 植物栽培繁殖

高山植物・湿地植物の栽培展示
調査研究・教育普及への活用
希少種の繁殖



火山灰調査



小学生の露頭見学学習



付属園を活用した学習授業

(6) 利用状況

ア 入館者

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
26	489人	291人		100人	21人		77人	
27	5,147	2,425		1,022	186		1,514	
28	13,092	8,922		2,229	725		1,216	
29	11,424	7,779		1,831	625		1,189	
30	10,885	6,831		1,664	1,445		945	
31	4,930	2,148		888	1,036		858	
32	5,298	1,934		658	826		1,880	
33	7,897	2,979		1,032	1,469		2,417	
34	7,113	2,972		626	1,727		1,788	
35	8,599	3,635		878	1,943		2,143	
36	10,163	4,181		1,329	2,132		2,521	
37	14,243	5,313		1,633	4,549		2,748	
38	15,893	6,394		1,854	4,727		2,918	
39	26,242	10,464		1,658	12,600		1,520	
40	25,560	14,214		1,696	8,050		1,600	
41	26,680	10,399		1,711	13,070		1,500	
42	25,900	12,891		1,649	8,301		3,059	
43	41,538	18,458		2,071	17,769		3,240	
44	32,967	16,273		2,100	10,845		3,749	
45	30,929	13,405		1,941	11,623		3,960	
46	39,326	18,414		3,001	14,718		3,193	
47	40,670	17,500		3,025	13,268		6,877	
48	58,373	25,809		4,178	22,612		5,774	
49	62,254	28,702		4,277	23,432		5,843	
50	67,692	32,345		4,896	23,616		6,835	
51	70,603	32,111		5,142	25,150		8,200	
52	54,700	26,155		4,311	18,907		5,327	
53	64,129	26,346		4,158	24,903		8,722	
54	63,943	27,769		4,485	25,089		6,600	
55	57,038	25,743		4,414	19,909		6,972	
56	65,132	31,697		7,558	16,182		9,695	
57	70,215	31,894	809	6,400	10,391	5,827	6,929	7,965
58	86,413	33,590	988	6,632	15,885	7,992	12,303	9,026
59	82,384	30,335	816	5,905	12,969	9,172	15,070	8,117
60	99,866	36,686	1,142	8,025	22,782	8,559	15,902	6,770
61	86,678	34,797	1,086	6,109	16,001	8,107	16,069	4,509
62	86,238	33,132	918	5,581	18,751	7,065	17,186	3,605
63	84,925	36,116	841	5,932	14,947	6,085	14,735	6,269
元	80,744	41,018	1,199	6,450	13,191	4,650	10,527	3,709
2	82,798	43,444	1,108	6,752	16,486	3,045	7,119	4,844
3	86,477	47,004	1,276	7,313	13,817	4,212	8,278	4,577
4	73,824	42,197	725	5,719	13,068	1,687	7,015	3,413
5	75,766	45,182	809	5,807	12,249	2,807	5,325	3,587
6	64,939	38,354	933	4,809	10,561	1,932	4,974	3,376
7	63,860	37,356	981	4,650	9,493	1,840	4,164	5,376
8	53,984	36,002	869	4,189	6,601	1,905	2,244	2,174
9	47,562	31,119	626	3,417	7,626	1,245	2,100	1,429
10	42,440	28,219	637	3,105	6,023	764	2,006	1,686
11	34,618	24,220	482	2,200	4,766	561	1,183	1,206

年度	総数	一般個人			団体			無料減免
		大人	高校生	小中生	大人	高校生	小中生	
12	34,059 人	23,082 人	501 人	2,273 人	5,344 人	648 人	1,024 人	1,187 人
13	35,013	24,064	439	2,163	3,389	671	1,577	2,710
14	28,399	20,527	472	1,744	2,518	675	808	1,655
15	28,322	19,693	535	2,152	2,184	785	1,082	1,891
16	21,551	14,664	376	1,073	2,875	602	644	1,317
17	19,265	12,065	213	630	3,138	692	928	1,599
18	23,363	14,056	135	996	3,120	545	1,836	2,675
19	17,572	10,991	120	742	2,401	407	1,037	1,874
20	18,515	11,532	130	803	2,766	381	578	2,325
21	17,942	11,269	100	704	3,055	61	1,098	1,655
22	15,147	9,578	103	594	2,665	466	467	1,274
23	21,020	12,363	127	855	2,963	328	1,396	2,988
24	16,133	9,818	114	640	2,344	498	587	2,132
25	12,237	7,550	97	522	2,008	142	353	1,565
26	20,919	12,249	119	893	3,146	655	370	3,487
27	18,294	10,427	101	795	2,782	440	613	3,136
28	16,890	9,774	98	709	2,442	433	540	2,894
29	18,692	10,210	77	735	3,084	230	1,176	3,180
30	19,097	10,795	79	840	2,895	245	826	3,417
1	19,881	11,459	115	1,070	3,305	247	391	3,294
2	12,195	4,734	74	508	3,670	58	599	2,552
3	14,072	6,247	73	735	2,817	126	801	3,273
4	21,307	9,762	114	1,004	5,253	528	1,136	3,510
5	20,760	10,377	115	866	5,137	143	794	3,328

8 民俗資料館

民俗資料館は、社地区に残された文化財をはじめ、仁科文化や、社地区に関係ある資料を中心に展示し、文化向上に寄与するとともに、地域のコミュニティーセンターとしての機能を持つものとします。

(1) 施設

名 称	大町市民俗資料館
所 在 地	大町市社 3945-2
電 話	0261-22-0378
床 面 積	891 m ²
開 設	昭和 60 年 4 月 1 日
開 館	月曜日（祝日の場合は翌日）を除く日 冬期（12月から3月まで）は、土曜日・日曜日・祝日、年末年始を除く日 時間 午前 8 時 30 分～午後 5 時

(2) 展示室

ア 特別展示室

考古資料として、当資料館裏山に広がる山寺廃寺跡から出土した長野県宝の四耳壺・青白磁水注・写経石等を展示。当時の中国から輸入した陶器などがお墓の骨壺に使われていて、大きな寺があったことを物語っています。

また、民俗資料として、明治時代のひな人形・五月人形・七夕人形等を展示し、歴史資料として、地区内の歴史的建造物を写真パネルで紹介しています。

イ 小展示室

江戸から昭和 30 年代に入るまで、社地区の主要産業として地域経済を支えてきた、松崎紙および宮本紙の資料（昭和 50 年市指定文化財〈民俗資料〉に指定）を展示。

釜・簀（す）・すき舟・馬鋏（ませ）などの紙すき用具のほか、紙すきの模様を説明した写真などを交え、歴史・工程両面から紹介しています。

ウ 企画展示室

旧社小学校に所蔵されていた、明治から現在に至るまでの教科書資料を中心に、市内の学校の移り変わりを年表にまとめています。

(3) 利用状況

入館者状況

年度	総数	年度	総数
S62	1,859 人	R元	472 人
63	1,856	2	320
H元	2,169	3	424
2	1,992	4	411
3	2,064	5	339
4	1,723		
5	1,284		
6	1,434		
7	1,048		
8	1,104		
9	845		
10	1,139		
11	676		
12	690		
13	634		
14	492		
15	427		
16	253		
17	534		
18	227		
19	367		
20	355		
21	468		
22	527		
23	623		
24	681		
25	588		
26	635		
27	537		
28	600		
29	560		
30	511		

9 文化会館

文化都市おおまの創造と心豊かなまちづくり・ひとづくりを推進する拠点文化施設として、計画的な施設の改善を図りながら、市民要望に応じた優れた舞台芸術の鑑賞機会を充実させるとともに、市民の自主的な文化活動を支援し、地域文化の振興を図ります。

1 鑑賞を通じて芸術文化に触れる機会の提供

市民の皆様に、ポピュラーコンサートなど優れた幅広いジャンルの舞台芸術を鑑賞する機会を確保するため、市民のニーズに沿って事業を展開します。また、舞台芸術を身近に感じられるように小規模な観客設定での鑑賞事業も企画します。

2 特色ある文化の創造

(1) 身体で遊ぶダンスワークショップ

踊る楽しさを身体で感じるワークショップと成果発表コンサートを6月上旬に開催。

(2) アンサンブルコンサート

小編成による演奏を行い、気軽に行ってみたくなるコンサートを目指す。

3 市民の参加と交流

(1) 「市民芸術祭」の開催

市民の芸術文化活動の発表と交流の場として、市民芸術祭を開催します。

(2) 「ミュージックサマー」の開催

市内を活動拠点にしている音楽団体をはじめ、市内在住・在勤者が発表と交流のできる音楽イベントを開催します。

4 人材育成

(1) 芸術文化活動の支援

大町市少年少女合唱団の団員増加や大町市芸術文化協会への加盟促進を図り、市内芸術文化団体のリーダーとなる人材を育成し、自主的な芸術文化活動の促進を図ります。

(2) 合同発表会等の開催支援

市民芸術祭から独立して自主公演を行っている芸術団体の発表など、市民参加による地域に根ざした特色ある芸術文化活動を支援し、市民との協働の事業を実施します。

5 文化施設の整備

特定天井のLED化事業をはじめ、施設の計画的な改修に努め市民の芸術文化活動の拠点となる施設の整備・充実を図ります。

①施設

名 称	大町市文化会館
ホールの愛称	エコホール
所 在 地	大町市大町1601-2
電 話	T E L 0261-22-9988 F A X 0261-22-9849
設備概要	大町公民館、文化会館棟 大ホール1,144席（親子室、車椅子席あり）、練習室3室、 リハーサル室、楽屋4室、展示室 サン・アルプス大町棟 大会議室（200人）、和室研修室（20人）、小会議室（25人）、 中会議室（50人）、研修室（75人）
施設延べ面積	6,478.03㎡
開 設	昭和61年5月28日

②令和5年度実施事業

事業名	期 日	内 容
なつかシネマ「青い山脈」	5月13日	「なつかシネマ」は、懐かしい映画を大スクリーンで楽しんでいただくため、令和4年度から始まったイベント。
バックヤード寄席	6月4日	大町市出身の落語家、柳家圭花さんによる落語を普段見ることのできない文化会館のバックヤードで開催した。
叙情を歌う～日本が見えてくる～	6月18日	民族・日本思想史家の田中欣一さんの語りに加え5人のメンバーによる歌、朗読、演奏を交えたコンサート。
ワンコインコンサート「中村倫子」	7月2日	大町市出身のピアニスト中村倫子さんとバリトン歌手羽瀧浩紀さんのコンサートをワンコインで楽しめるイベント。
ミュージックサマー(大町市民芸術祭)	7月9日	夏の音楽イベントとして3回目となる今回は市内で活動する音楽団体14チームによるステージ発表を行った。
ふぁみりーシネマ 「怪盗グルーのミニオン大脱走」	7月22日	親子で楽しめる映画上映会として今年度新たに企画した。「なつかシネマ」と共に「シネマウィーク」として開催。
なつかシネマ「いつでも夢を」	7月23日	第一回目に実施した来場者アンケートを基に、より上映を希望する声の多かった「いつでも夢を」を上映した。
ワンコインコンサート「佐藤健作」	7月30日	ワンコインで楽しめるコンサート。和太鼓奏者の佐藤健作さんによる演奏を行い、多くのお客様からご好評を頂いた。
チュイチュイ～左手のバイオリン弾き～	8月11日	劇空間夢幻工房との共催により実施。左手にハンディを抱えるバイオリニストの半生を描くミュージカルを開催した。
北アルプス秋の音楽祭	9月10日	早春賦誕生110周年、吉丸一昌氏生誕150周年である記念の年に吉丸一昌作詞のうたを大ホールで披露した。
ゴスフェスおおまち2023大復活祭	12月4日	VOJA結成30周年を記念して10年ぶりに開催。市民参加型クワイアでは100名の大合唱団でステージを盛り上げた。
大町市民芸術祭 「ハーモニーコンサート」	10月21日	反響版セットによる生音を基本としたステージで市内で活動する音楽団体6チームが日頃の練習の成果を発表した。
大町市文化祭「アンパンマンショー」	11月3日	大町市文化祭タイアップ事業として開催。人数制限を設けずに開催したことにより多くのお客様にご来場いただいた。
大町市民芸術祭 「市民芸能SHOW」	11月5日	大町市文化祭3日目に合わせて開催。基本的な舞台で様々なジャンルの9団体によるステージショーを行った。
大町市民芸術祭 「ダンスライブ2023」	11月12日	市内で活動する4団体が出演。バレエ、ジャズ、ヒップホップ、コンテンポラリーと様々なダンスステージを披露した。
大町市少年少女定期演奏会	12月10日	大町市少年少女合唱団との共催により実施。長年、合唱団を支えてきた卒団生3名の最後のステージを披露した。
大町市芸術文化協会 はばたきの集い「春の舞台」	3月10日	合唱やダンス、和太鼓に器楽など様々なジャンルの発表を一度に行うため、特殊な舞台セットを組み11団体が発表。
劇団四季ファミリーミュージカル 「ジョン万次郎の夢」	3月19日	劇団四季によるファミリー向けミュージカル。大町図書館での企画展示や市内小学生による塗り絵展も併せて実施した。

③エコーホール利用状況

(令和5年度)

利用件数 111件

利用者数 29,315人

ホールオープンからの延べ利用者数 1,382,641人

④サン・アルプス大町利用状況

(令和5年度)

利用件数 442件

利用者数 14,280人

10 女性未来館ピュア

女性労働者や勤労者家庭の女性などを対象に、職業生活や家庭生活に必要な相談、指導、講習等を行います。また、レクリエーションなど余暇活動の場所と機会を提供し、女性の福祉を総合的に増進するよう努めます。

(1) 施設

名称	大町市女性未来館ピュア
所在地	大町市平10352-1
電話	0261-22-0694
建物	鉄骨耐火被覆構造 平屋建て 床面積 614.46㎡
各室	第1講習室、第2講習室、茶室、料理講習室、音楽室、 軽運動室、図書室、託児室、相談室、談話室、事務室
開設	昭和59年4月1日
開館	開館時間 午前8時30分～午後9時30分

(2) 令和5年度実施事業

	名称	実施月	回数	受講者数・延人数
講 座 の 開 設	R5 ピュアに輝く女性講座	4～11月	6回	12人延76人
	アレンジメントで暮らしの記念日を飾る	4・8・10月	3回	15人延36人
	大人の脳トレリトミック	8月～9月	5回	7人延32人
	クラフトバンド講座 初心者コース	4月～6月	5回	10人延42人
	クラフトバンド講座 経験者コース	4月～6月	5回	10人延45人
そ の 他	運営委員会	10月・3月	2回	委員6名 会議出席各回10名
	利用者の会総会	8月	1回	20人
	仁科の里 ピュアフェスタ	11月	1回	180人
	地域子育てセミナー・ピュアコンサート(講演会)	11月	1回	50人
	サークル1日体験 朗読はづき	5月・9月	2回	延50人
	サークル体験会(4日間) 大町太極拳クラブ	11月	4回	延20人

(3) 令和5年度施設利用状況(平公民館との合計)

ア 利用者数

利用者の区分 利用方法	総数	女性労働者	家庭主婦等	その他	備考
個別利用	83	0	20	63	その他は会社・男性
グループ活動等 による団体利用	1,821	250	1,221	350	
その他	0	0	0	0	
総数	1,904	360	17,413	180	

イ 年齢階層別利用者数

総数	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50歳以上
17,915	450	250	460	16,755

1 1 大町市文化財センター

(1) 施設

名 称	大町市文化財センター
所 在 地	大町市大町 4700 番地
電 話	0261-23-4760
施 設	鉄骨 2 階建て、1 階総面積 460.68 m ² 、2 階総面積 247.98 m ² 、 総床面積 738.66 m ² 1 階…展示室 219 m ² のほか、事務室・研究室、収納室 1・2、収蔵庫 1、 保存作業室 2 階…学習室 94 m ² のほか、資料室、収蔵庫 2 学習室は、市民に開放し、講座などをおこない、資料室は市民の方々の 知りたい郷土の歴史等、情報資料の提供をする。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時 休館日 毎週土・日曜日、国民の祝日、年末年始
おもな収蔵品	市内各地の遺跡出土品（常盤山の神遺跡、常盤大崎遺跡、平一津遺跡、平上原遺跡など） 加藤朝鳥（文筆家）資料<加藤寿々子寄贈品>、市所蔵・寄託古文書、市所蔵絵画など

(2) 利用状況（令和 5 年度）

講座受講者、資料見学・閲覧者 360 人

1 2 重要文化財旧中村家住宅

(1) 施設

名 称	重要文化財旧中村家住宅
所 在 地	大町市美麻 17668
電 話	0261-29-2580
施 設	主屋…木造平屋茅葺、総床面積 298 m ² 土蔵…木造二階建茅葺、総床面積 159 m ² 、展示施設、収蔵庫 管理棟…木造平屋建トタン葺、総床面積 33.924 m ² 、事務室、トイレ 重要文化財の民家を公開。土蔵には、旧中村家及び美麻に関する歴史的 資料を展示・公開。
開 館	開館時間 午前 9 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで） 休館日 毎週月曜日・火曜日（月曜日・火曜日が休日の場合は翌日及び 翌々日）、12 月 1 日～3 月 31 日

(2) 利用状況（令和 5 年度）

開館日数 174 日 入館者数 462 人

13 社会教育施設一覽表

令和5年10月1日現在

名称	所在地 電話番号	建築面積 (㎡)	休館日 開館時間	利用できる施設・設備	使用料・入館料 併設施
大町公民館	大町1601-2 0261-22-9988	681.67	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	第1会議室(14人) 第2会議室(25人) 学習室(24人) 視聴覚室(25人) 料理実習室(20人) 実習室(24人) 児童室(和室:15人) 講習室(和室:10人)	使用料金表による ◇文化会館 ◇勤労者福祉施設
文化会館 サン・アル プラス大町	大町1601-2 0261-22-9988	6,478.03	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 大ホール 9:00~22:00 大ホール以外 8:30~21:30	ホール(1,144席) 楽屋(4室/33㎡~82㎡) 練習室(3室/15㎡~38㎡) リハーサル室(94㎡) 展示室(90㎡) ほかに 大会議室(200人) 研修室(75人) 中会議室(50人) 小会議室(25人) 和室研修室(20人) 軽食喫茶室(40人)	使用料金表による ◇大町公民館 ◇スケートボードパーク
平公民館	平10352-1 0261-22-0694	996.63	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	講堂(300人) 実習室(16人) 会議室(15人) 視聴覚室(30人) 学習室(30人)	使用料金表による ◇女性未来館デュア
女性未来館デュア	平10352-1 0261-22-0694	614.46	火曜・祝日の翌日 ・年末年始 10:00~21:30	軽運動室(104㎡) 音楽室(20人) 講習室(2室/60人) 料理講習室(25人) 相談室・託児室・図書室・茶室	使用料金表による ◇平公民館
常盤公民館	常盤3601-18 0261-22-0321	1,264.70	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	学習室1(20人)学習室2(20人)学習室3(20人) 研修室1(30人) 研修室2(15人) 視聴覚室・同和教育資料室(20人) 図書室 料理実習室(20人) 講堂(200人)	使用料金表による
社公民館	社3945-2 0261-22-0378	891.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	大研修室(300人) 研修室(50人) 会議室(15人) 作業室(20人)	使用料金表による ◇民俗資料館
民俗資料館	社3945-2 0261-22-0378		月曜・年末年始 8:30~17:00	展示室(4室) 資料室(20人)	使用料金表による
大町公民館分室	大町1058-13 0261-22-0352	1,226.02	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	視聴覚室 講堂 研修室(2室) 学習室(4室) 栄養指導室	使用料金表による ◇中央保健センター
蔵の音楽館	大町2542-1 0261-22-0420	79.30	月曜・祝日の翌日 ・年末年始 8:30~21:30	1 F 演奏室 2 F 倉庫	施設利用料 1時間200円 冷暖房使用料 1時間100円
図書館	大町4710-6 0261-21-1616	1,181.83	毎週月曜日・毎月最終火曜日 ・蔵書点検期間 (毎年6月中旬の10日間程度) ・年末年始 火・水・木・金(通年) 9:30~18:30 土・日・祝日 (4月~11月) 9:30~18:00 (12月~3月) 9:30~17:00	1階 一般コーナー、児童コーナー 新聞・雑誌コーナー、AVコーナー 2階 視聴覚室(兼学習室50人)、会議室 地域資料室、保存図書コーナー	
文化財センター	大町4700 0261-23-4760	738.66	土曜・日曜・祝日 ・年末年始 9:00~17:00	展示室(1室) 学習室(40人) 資料室(1室)	無料
山岳博物館	大町8056-1 0261-22-0211	2,683.95	月曜・年末年始 但し7月・8月は無休 9:00~17:00	エントランスホール・展示室(5室) 講堂(80人) ミュージアムカフェ・ショップ 付属園(付属動植物園) 山岳図書資料館	大人 400円 高校生 300円 小・中学生 200円 ◆30名以上の団体 大人 350円 高校生 250円 小・中学生 150円
ギャラリー・ いーざら	大町3300-1 0261-22-0420	120.00	不定期(展示期間外) 10:00~18:00	展示室1(88㎡) 展示室2(32㎡)	展示室1 7,000円 展示室2 3,000円
八坂公民館	八坂1133-1 0261-26-2380	859.88	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30 土曜・日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	交流ホール(約100人) 会議室(2室) 展示フロア 図書コーナー	使用料金表による ◇コミュニケーションセンターアキツ
美麻公民館	美麻11810-1 0261-29-2311	545.00	日曜・祝日 ・年末年始 8:30~21:30	小会議室(6人) 中会議室(24人) 講堂(108人) 読書ストリート(1,400冊)	使用料金表による ◇美麻支所
旧中村家住宅	美麻17668-1 0261-29-2580	480.00	月曜・火曜 12月~3月 9:00~17:00	主屋、土蔵(見学・展示) (重要文化財指定施設)	大人 310円、子ども 150円 一般団体 200円、小人団体 100円

IV 社 会 体 育



1 社会体育

社会体育基本方針

近年の高度情報化や少子高齢化の進展等、社会情勢の変化によりライフスタイルや価値観が多様化する中、スポーツに対する意識や取組方も多様化しています。

また、スポーツ種目の多様化や地域におけるスポーツを通じたコミュニケーションの拡大の他、新型コロナウイルス感染症の影響による市民の運動機会の減少に伴い、スポーツ活動の重要性が高まっています。

こうした環境の変化により、スポーツや健康、体力づくりへの市民の関心が高くなる一方で、実際の活動に、なかなか参加できない市民も多く、環境も十分とはいえない状況です。

市民ひとり一人が、年齢や体力に応じて気軽にスポーツに親しみ、いきいきと健康で元気に過ごすことができるよう、スポーツ教室や健康教室、各種スポーツ大会の開催など、スポーツを通じた市民の健康増進と競技力の向上等により「生涯スポーツ」を推進します。

(1) 重点目標

ア 生涯スポーツの推進

- (ア) 各年代に対応した多様なスポーツ教室の充実、スポーツクラブ活動の促進
- (イ) 体力や年齢、興味、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりの推進
- (ウ) 生涯スポーツ推進のための情報発信
- (エ) 誰もが気軽に参加できるニュースポーツの導入と普及、指導者の育成

イ 競技スポーツの推進と指導者の育成

- (ア) スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツクラブ、スポーツ指導員会等各種スポーツ団体との連携による組織強化と人材育成等
- (イ) 学校体育・部活との連携、地域指導者の発掘

ウ スポーツを通じたコミュニティづくり

- (ア) 総合型地域スポーツクラブの育成、支援等
- (イ) 各地域で実施するスポーツ大会や教室、健康づくり等による地域コミュニティの再生、支援
- (ウ) 地域特性を生かしたスポーツ振興

エ スポーツ施設の整備と有効活用

- (ア) 市民のスポーツ活動や健康づくり、交流の場等の拠点としての体育施設の整備、充実
- (イ) 市民のスポーツの推進や競技水準の向上のため、レベルの高い大会やイベント等が可能な施設、環境整備

(2) 事業計画 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止にした事業も記載しています。)

ア 各種スポーツ大会等の開催 (主催大会)

開催月	大会名
7月	・市民スポーツ祭 (夏季)
8月	・木崎湖カップカヌー大会
9月	・大北駅伝大会 ・大北スポーツ競技会
10月	・大町アルプスマラソンの協力
1月	・市民スケート大会
2月	・市民スキー・スノーボード大会

イ 各種スポーツ教室の開催

年代別対象教室	教室名
幼児期	・運動あそび教室 (年長児クラス) ・保育園・幼稚園巡回運動あそび (年中・長児クラス)
児童・青少年期	・親子ふれあいスポーツ教室 ・小学生スキー体験会 ・少年少女海洋教室 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」
成年期	・ママさんフリータイム広場 (夏季・冬季) ・トレーニング講座 ・体力測定会
実年期	(運動の習慣づけのための教室) ・気軽に取り組めるニュースポーツ教室 ・ボディーバランス教室 ・体力測定会

ウ 姉妹都市スポーツ交流の開催

スポーツ協会等と連携し立川市、氷見市とのスポーツ交流を行うなど

エ スポーツ協会等スポーツ団体との連携

- (ア) スポーツ協会事業全般にわたる支援
- (イ) 「大町スポーツクラブ」への支援
- (ウ) スポーツ少年団への支援、指導者の育成

オ 小中学校及び地域と連携したスポーツ活動の推進

- (ア) 学校授業、PTA及び地域のスポーツレクリエーション活動の受け入れと指導協力 (海洋センターを利用したカヌー・ヨット体験活動、冬季の運動公園を利用した歩くスキーの貸し出し、ニュースポーツ用品の貸し出し及びスポーツ推進委員による指導など)
- (イ) 中学校部活動地域移行 (地域展開) への支援 (指導者の発掘、確保など)

- カ 体育施設利用調整会議の開催
 - (ア) 体育施設の有効利用と利用者のニーズの把握
 - (イ) 大会行事等主幹団体の利用調整（年1回）
 - (ウ) スポーツ合宿等のための市内旅館、民宿利用調整（年1回）
 - (エ) スポーツ活動通年利用団体の利用調整（年2回）

- キ 体育施設の整備充実、保守管理
 - (ア) 運動公園及び市内体育施設の保守管理、清掃の徹底
 - (イ) 体育施設管理員及び学校施設開放と連携のとれた保守管理の実施
 - (ウ) 運動公園テニスコート人工芝修繕
 - (エ) 運動公園陸上競技場トラック修繕

- ク 各種スポーツ大会の後援及び支援協力
 - (ア) 大町アルプスマラソン
 - (イ) おおまびょんカップサッカー大会
 - (ウ) スポーツ振興事業補助金の活用促進

- ケ 各種スポーツ指導者の育成
 - (ア) スポーツ振興事業補助金（指導者育成）の活用促進

- コ その他の施策
 - (ア) 総合体育館の有効活用の推進
 - ① トレーニングルーム利用講習会の開催（毎月2回）
 - ② 大町市公共施設予約システムの運用

 - (イ) 北アルプス北部地区山岳遭難対策協会との連携
 - ① 遭難防止夏山常駐隊活動への協力
 - ② 人命救助用ヘリポートの管理（消防防災課や警察等関係機関との調整）

(3) 体育施設
(社会体育施設)

NO	名称	位置	開設年	面積	利用競技種目
1	西公園 運動場	大町市大町4687	S42年	12,198.02㎡	野球(2面)・ソフトボール(2面)・ゲートボール(2面) スケートリンク(冬季のみ1面)・ナイター照明
2	体育館	〃 4710	S42年	966.24㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・空手道 バスケットボール(1面)・剣道
3	陸上競技場		S53年	21,755㎡	フィールド内(ゲートボール16面)・サッカー(1面)
4	メインスタンド棟		S52年	1,097㎡	収容メインスタンド1,400人、芝スタンド4,000人
5	サッカー場			12,401㎡	更衣室(2)・倉庫(3)・役員室(1)・事務室(1)・便所ほか
6	メインスタンド棟		S52年	739㎡	収容メインスタンド743人、芝スタンド2,000人
7	総合体育館		S63年	4,863.01㎡	大アリーナ(1,627㎡)、小アリーナ(558㎡)、ランニングコース(170m)、 バレーボール(4面)、バドミントン(13面)、バスケットボール(3面)、卓球(20台)、 体力測定室ほか
8	マレットゴルフ場		S57年	36ホール	キャラリー(固定席544)・収容人数2,500人
9	子ども広場		S63年	18ホール	北コース 18ホール(パ-72)
10	弓道場		S62年	900㎡	南コース 18ホール(パ-72)
11	多目的広場		S62年	609.22㎡	遠的(1面)・近的(1面)
12	庭球場		S62年	255.57㎡	射場129.6㎡、的場44.82㎡、6人立、更衣室81.15㎡
13	野球場		S62年	10,005㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(2面分)
14	メインスタンド棟		S56年	2,815.74㎡	全天候(4面)・ナイター照明 ※R元年度全面改修
15	第一屋内運動場		S58年	2,908.8㎡	全天候(4面)・ナイター照明 ※R元年度一部改修
16	第二屋内運動場			12,677.232㎡	野球(1面)
17	多目的芝生広場		S61年	704.09㎡	収容人数 スタンド562人、内野階段スタンド352人、内野芝生スタンド1,070人、 外野スタンド2,616人、更衣室(2)・事務室(1)・本部席(1)・放送室(1)・便所ほか
18	野球場		H6年	987.13㎡	運動場(925.44㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(1面)・ミニサッカー(1面)
19	メインスタンド棟		H29年	1,977.58㎡	運動場(1,738.39㎡)・ゲートボール(2面)・テニス(2面)・ミニサッカー(2面)
20	第一屋内運動場		H25年	2,700㎡	ゲートボール(2面)・グラウンドゴルフ(1面)
21	第二屋内運動場		S35年	10,550㎡	野球(1面)
22	多目的芝生広場		S52年	12,071㎡	ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・ナイター照明(ソフトボール1面分)
23	野球場		S57年	1,550㎡	ゲートボール(2面)
24	体 育 館		S54年	1,627.8㎡	第1体育館(747.3㎡)・バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3 面)・テニス(1面)・卓球(4台)、第2体育館(524.7㎡)・柔道(50畳)・空手道・剣道
25	艇 庫		S54年	450㎡	カヌー(27)・OPヨット(14)・12ftヨット(2)・カッター(2)・ボードセール(9)ほか
26	多目的広場		S57年	11,279㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
27	運 動 場		S42年	9,845.41㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・ナイター照明
28	公園運動広場		H8年	5,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
29	運 動 場		H29年	495㎡	バレーボール(1面)・バドミントン(1面) ※H6年建築
30	体 育 館		S50年	11,000㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・ナイター照明
31	運 動 場		S50年	1,636㎡	人工芝(2面)・ナイター照明
32	バスケットボール場		S58年	1,703㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(2面)・バドミントン(4面)・卓球室
33	ソフトボール場		S60年	6,000㎡	ソフトボール(1面)・ナイター照明
34	屋内ゲートボール場		H5年	1,467㎡	屋内ゲートボール(1面)
35	マレットゴルフ場		H5年	9,600㎡	18ホール
36	運 動 場		S48年	6,492㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・各種スポーツ
37	山 運 動 場		H4年	28,873㎡	ネットなし：野球(2面)・ソフトボール(2面)・サッカー・ラグビー(1面)
38	ス ー ト ー ト		H3年	5,857㎡	人工芝(6面)
39	大 塩		S62年	1,171㎡	屋外(1面)
40	千 見		S57年	2,531㎡	屋外(2面)・ナイター照明
41	二重屋内		H5年	1,411㎡	屋内(1面)
42	センター		S56年	650㎡	バスケットボール(1面)・バレーボール(1面)・バドミントン(3面)

(学校施設)

名称	位置	面積	利用競技種目
大町東小学校	社6700	12,067㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)
大町西小学校	大町4773-3	1,002㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)・バドミントン(2面)
大町南小学校	常盤3543-1	13,169㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
大町北小学校	大町5806-8	1,486㎡	バレーボール(2面)・剣道・空手道
八坂小学校	八坂1090	16,275㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)・テニス(1面)
美麻小学校	美麻27503	1,247㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
旧第一中学校	大町4528	10,215㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
大町中学校	大町3759	982㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(3面)
八坂中学校	八坂11648	8,190㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
		1,027㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
		12,878㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
		1,227㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(2面)
		12,455㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
		4,073㎡	バレーボール(4面)・バスケットボール(3面)・卓球(10台)
		14,198㎡	野球(1面)・ソフトボール(2面)・サッカー(1面)
		1,487㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(2面)
		9,388㎡	野球(1面)・ソフトボール(1面)・サッカー(1面)
		1,198㎡	バレーボール(2面)・バスケットボール(1面)・バドミントン(4面)

※東小体育館では、バスケットボールとバレーボールは女子と中学生以下の男子に限り使用できる。

体育施設の利用状況

(人)

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大アリーナ	18,179	20,379	23,740	27,946
小アリーナ	10,560	12,592	13,046	17,188
トレーニングルーム	2,550	2,482	2,194	2,402
総合体育館会議室	696	614	1,167	1,524
陸上競技場	4,606	7,060	11,920	12,424
サッカー場	1,980	5,415	6,314	9,242
クレー庭球場				
全天候庭球場	13,556	14,342	10,754	12,552
野球場	1,240	2,846	3,081	3,416
マレットゴルフ場	4,221	5,964	4,224	3,239
弓道場	1,865	2,689	2,997	3,636
多目的広場	2,594	10,128	11,797	9,093
第一屋内運動場	8,377	8,152	8,921	9,614
第二屋内運動場	23,256	25,914	24,630	26,619
第二屋内運動場会議室	717	1,200	872	1,145
多目的芝生広場	1,440	2,620	3,296	2,834
体育研修センター	821	790	1,246	636
B & G 第一体育室	7,070	6,162	7,882	6,725
B & G 第二体育室	2,485	3,321	5,941	4,015
B & G 多目的広場	1,025	873	2,818	1,582
B & G 艇庫	231	665	651	936
平野球場	505	2,537	1,438	2,640
平運動場	825	4,949	5,191	6,534
西公園体育館	11,318	8,793	9,522	10,912
西公園運動場	3,615	2,574	2,068	2,988
常盤運動場	2,419	10,548	7,203	4,021
社公園運動広場	5,708	7,761	11,638	7,082
社体育館	3,593	4,398	2,527	2,524
東小体育館	5,769	6,843	5,547	3,785
西小大アリーナ	5,721	7,497	7,488	7,176
西小小アリーナ	40	113	332	358
南小体育館	3,651	3,761	4,056	3,355
北小体育館	1,803	1,641	1,373	1,418
旧一中大アリーナ	5,302	5,459	5,650	7,048
旧一中小アリーナ	1,028	360	200	713
大町中体育館	4,216	5,201	6,149	5,928
大町柔剣道室	470	712	691	170
東小グラウンド	711	594	484	455
西小グラウンド	0	0	0	0
南小グラウンド	0	0	81	233
北小グラウンド	103	280	550	520
旧一中グラウンド	20	65	30	38
大町中グラウンド	0	0	200	1,153
八坂運動場	0	0	0	40
八坂テニスコート	0	0	115	25
八坂マレットゴルフ場	0	60	64	46
八坂トレーニングセンター	1,959	1,837	2,069	898
八坂山村広場	0	0	180	30
八坂ゲートボール場	980	727	48	80
八坂小学校グラウンド	200	400	450	0

施設名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
八坂小学校体育館	557	440	800	0
八坂中学校グラウンド	0	0	0	0
八坂中学校体育館	0	0	0	0
美麻運動場	0	60	0	0
美麻丸山公園運動場	72	8	96	0
美麻テニスコート	1,225	924	1,356	1,322
美麻トレーニングセンター	614	1,022	851	1,169
大塩屋外ゲートボール場	0	0	0	0
二重屋内ゲートボール場	0	0	118	245
千見屋外ゲートボール場	10	0	0	0
美麻小中学校校庭	0	0	0	0
美麻小中学校体育館	10	0	252	0
合計	169,913	213,772	226,308	229,674

スポーツ大会等開催状況

(令和5年度)

スポーツ大会等名	実施日	実施場所・内容	参加者数
チャレンジデー	5月31日	運動公園ほか	4,699人
令和5年度 市民スポーツ祭夏季大会	7月2日他	開会式 運動公園陸上競技場 16競技	1,185人
木崎湖カップカヌー大会	8月6日	本部 木崎湖B&G艇庫	26人
第1回 大北駅伝大会	9月4日	会場 小谷村～池田町	2チーム 出場
第73回 大町市民登山	9月9日 9月10日	針ノ木岳	7人
第22回 大北スポーツ競技会	9月24日	開会式 運動公園陸上競技場 10競技	700人
第40回大町 アルプスマラソン	10月15日	主催 アルプスマラソン実行委員会	2,618人
令和5年度 市民スケート大会	令和6年 2月4日	西公園スケート場	10人
令和5年度 市民スキー大会	令和6年 1月28日	鹿島槍スキー場	84人

スポーツ教室の開催状況

(令和5年度)

教室名	実施期間 (回数)	実施場所・内容	参加者数
ママさん フリータイム広場	6月26日～3月 13日(全11回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 ニュースポーツ等 指導者 スポーツ推進委員他	142人
運動遊び教室 (年長児2クラス)	5月1日～10月 23日(2クラス 全20回)	会場 総合体育館、サッカー場他 内容 運動あそび 指導者 運動あそび講師	528人
少年少女海洋教室	7月17日～8月1 日(2クラス 全 6回)	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーほか 指導員 B&G海洋クラブ員他	57人
ウォータースポーツ 体験教室	8月27日 9月7日	会場 B&G海洋センター艇庫 内容 カヌーほか 指導員 B&G海洋クラブ員他	6人
ボディバランス教室	6月23日～9月 15日(全6回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 トランポリン・ヨガ・ヤマホッケー リングほか 指導者 スポーツ推進委員ほか	123人
小学生スキー体験会	1月13日 1月20日	会場 爺ガ岳スキー場 内容 小学生対象スキー教室 指導者 スポーツ推進委員	76人
パーソナルトレーナ ーによるトレーニング 講座	4月18日～3月 26日(全26回)	会場 総合体育館大アリーナ 内容 トレーニング 指導者 長谷川 幸	424人

令和6年度 教 育 要 覧

令和7年3月発行

発 行 大町市教育委員会

TEL 0261-22-0420

FAX 0261-23-7001
